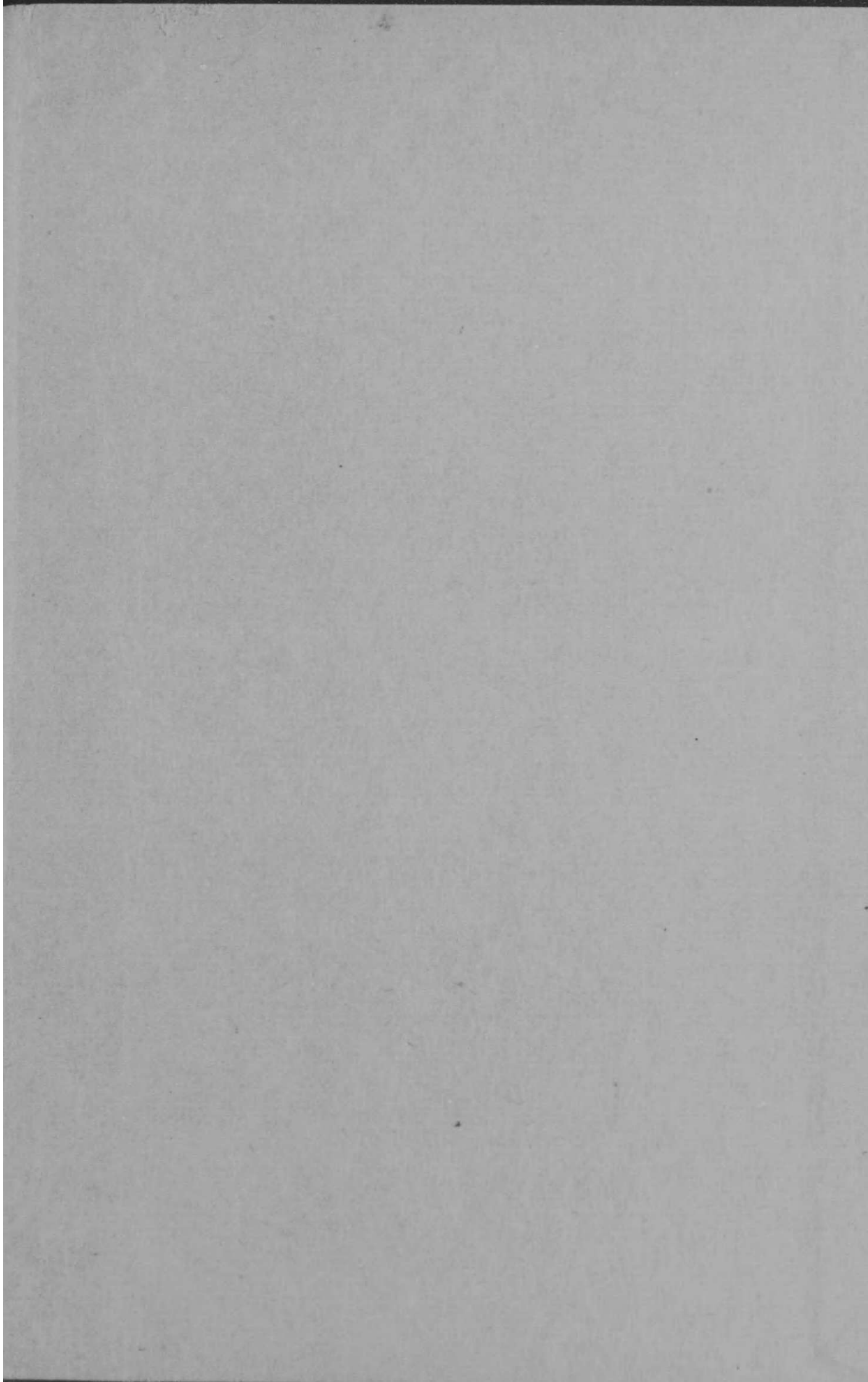
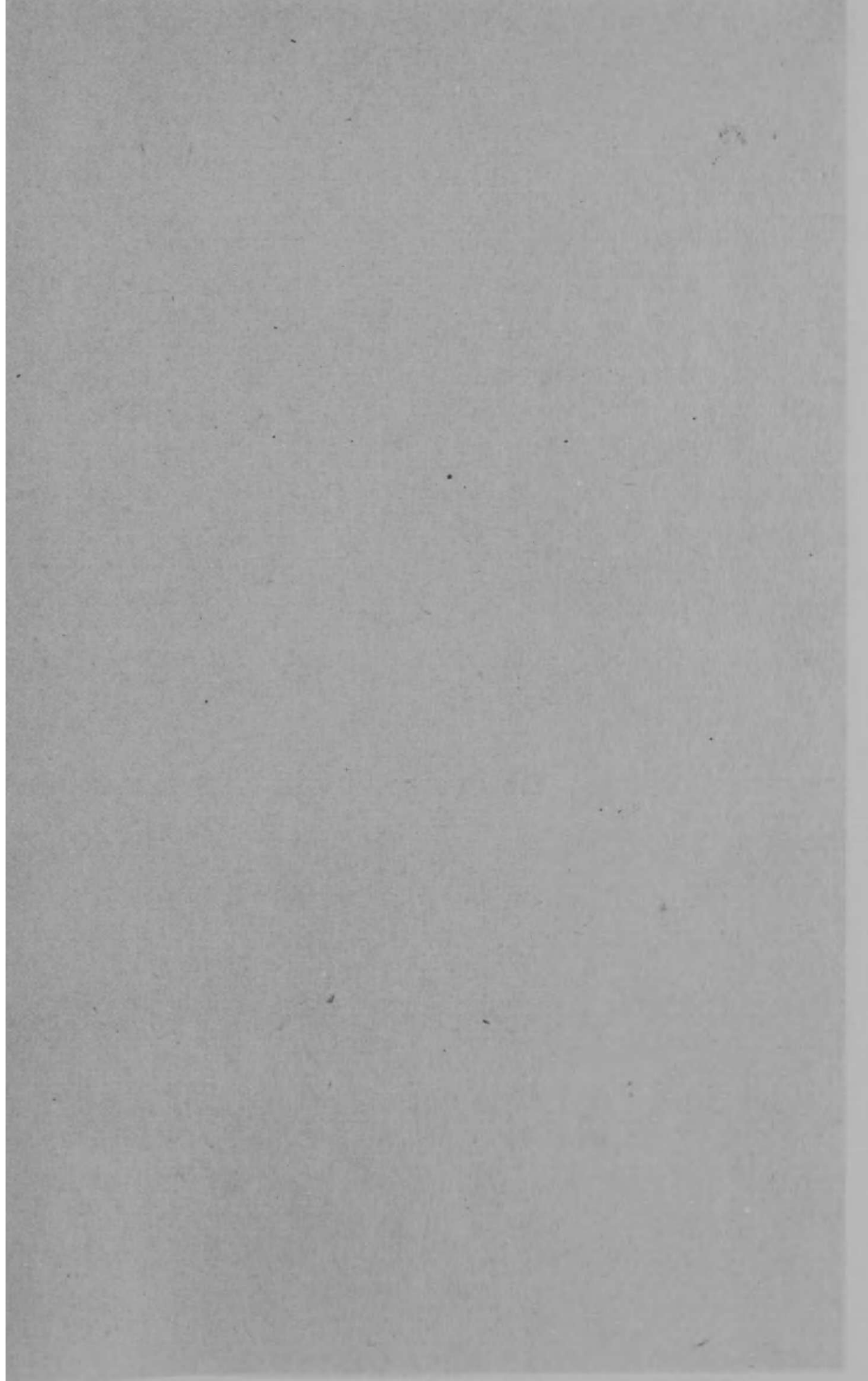


384

212



36.3.28



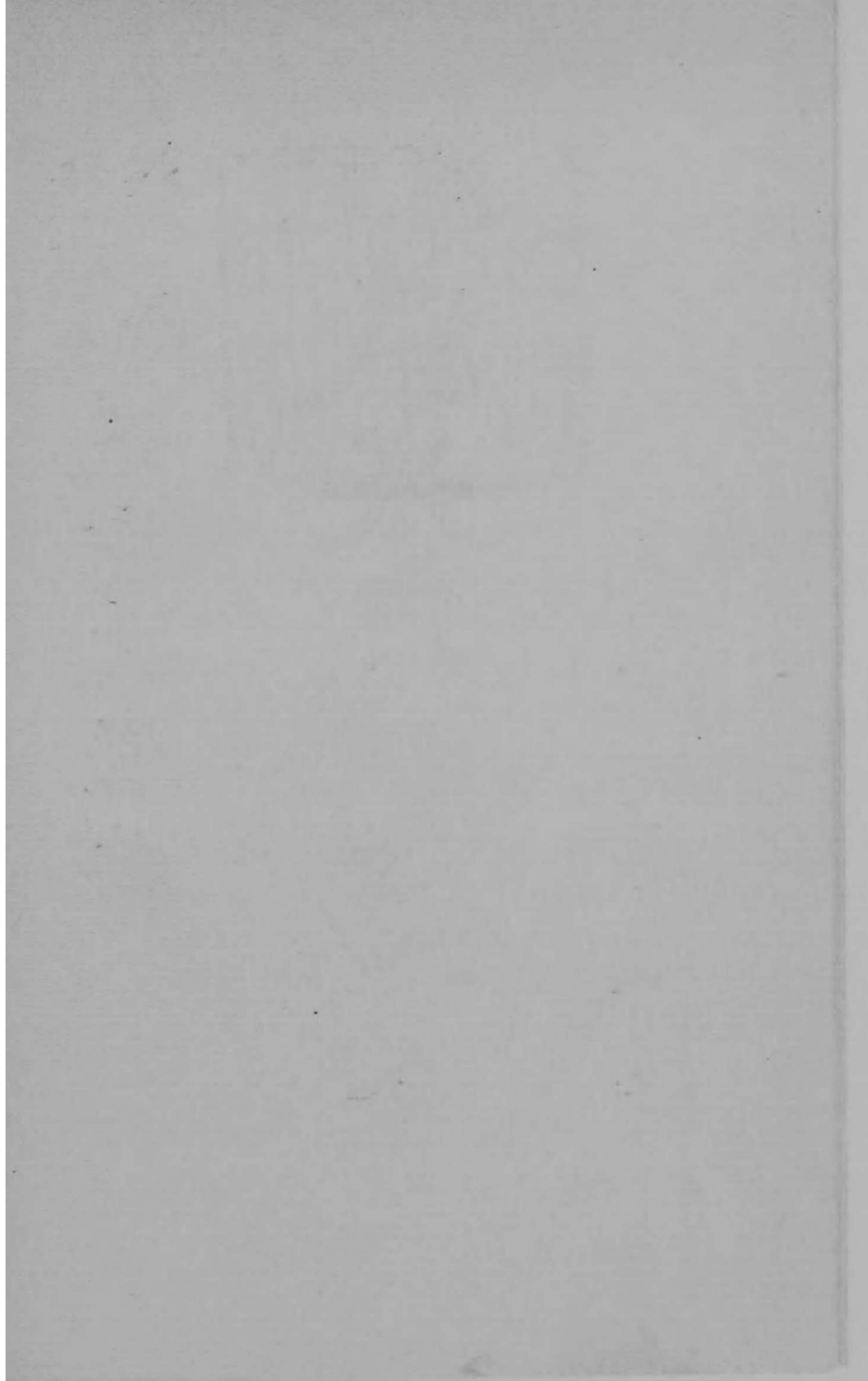
384-2/2

法學士
公爵
近衛文麿著

戰後
歐米見聞錄
全

外交時報社出版部發行

大正
9. 6. 29
内交



序

余は昨年一月西園寺講和特使に隨ひて佛國に赴き七月特使一行と別れてライン占領地方を旅行し八月英國に渡り十一月米國を経て歸朝したり、本書は右外遊中折に觸れて執筆したる記事論説を集輯せるもの也、

余は英米の地に尙二三年留まりて見學をなすべき豫定なりしが家事の都合上一旦歸國するの止むを得ざるに至りしを以て精細なる研

究は凡て之を再遊の機會に譲りたり、随つて本書に收むる所の諸篇の如きも只單に備忘の手録たるに過ぎず其觀察の皮相淺薄なりと云ふ譏は素より甘んじて受くる所り、

大正九年三月

湘南にて

近衛文麿

後戰 歐米見聞錄

目次

一	講和會議總會を見る……………	一
二	ランスの戦跡を訪ふ……………	三
三	伯都に於ける萬國議員商事會議の記……………	三
四	講和會議所感……………	四
五	講和條約調印式を見る……………	七一
六	巴里見聞……………	八
七	ラインの旅……………	一三
八	ライン共和國建設の趣旨……………	一四

歐米見聞錄

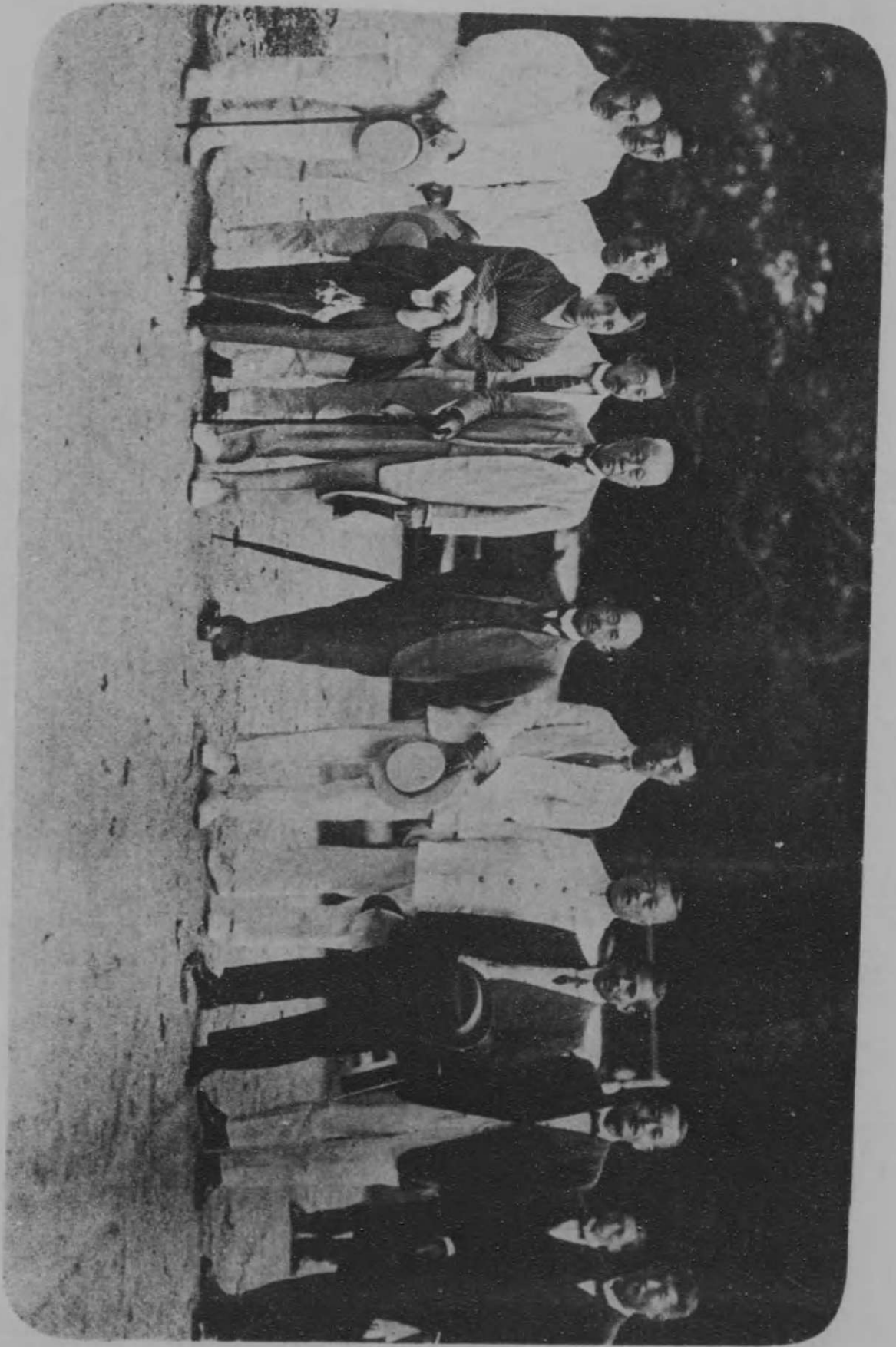
目次

目次

二

歐	九	英國議會傍聽の記	一六一
米	十	倫敦雜記	一七〇
見	十一	米國の印象	一九一
聞	十二	米國の排日	二二七
錄	十三	米國に於ける種々なる解放運動	二三一

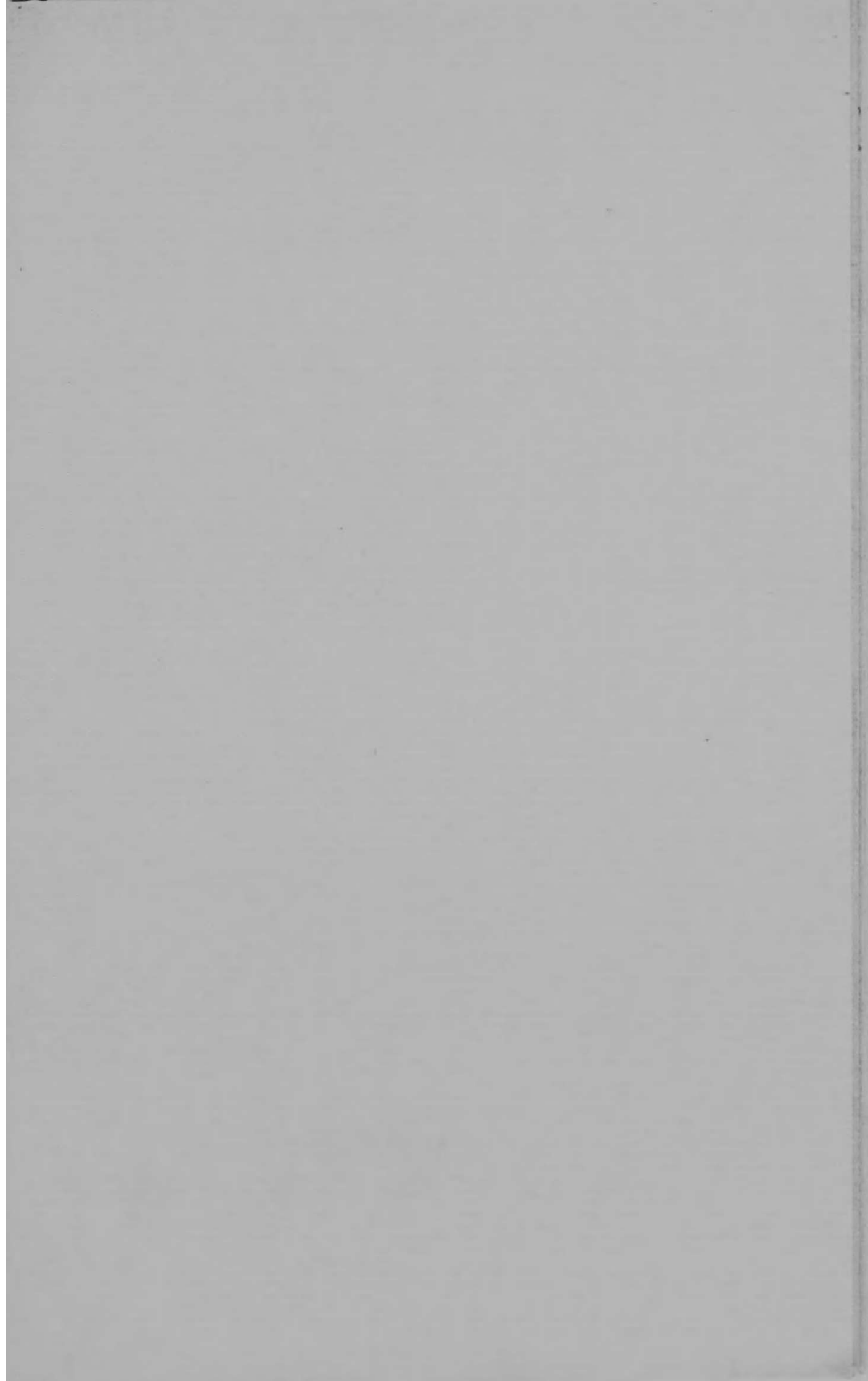
戰後歐米見聞錄目次終



行一・侯寺園西るけ於にソナペ

小
山
勝
松
心
心

園
池



戰後 歐米見聞錄

近衛文麿著

一、講和會議總會を見る

歐米見聞錄

昨日は講和會議第五回總會佛國外務省に開催國際聯盟修正案上程せられて愈々其成立を見るべしとの事に、余は午後二時半四月には珍らしき折柄の吹雪を冒してセーヌ河畔なる外務省に到りぬ。此日全權隨員としての資格にては人數に制限ありて到底入場するを得ずと聞き、余は豫め交渉の結果新聞記者

講和會議總會を見る

歌 米 見 聞 録

として入場するの許可を得たるなり。乃ち記者の昇降口よりして當日の會議室に宛てられたる大食堂へと入れば、各國全權の大多數は已に入場し居り新聞記者席亦滿員の姿なり。

見渡せば各國全權の席は恰も人種展覽會を見るが如く、白色あり、黄色あり、銅色あり、或は孜々として書類の閲讀に餘念なきもの、或は哄然として歡談笑語するもの、或は相寄りて何事か囁き合へるもの、彼處に一團此處に一團ありて實に雜然騷然たり。其間を瞳を凝らして物色するに向側の窓近く中央の椅子に深く腰を下ろして心持仰向になり乍ら、獨り默然として嘯ける老翁は正しく當日の議長クレマンソー氏なり。逞しき其骨格東洋人の如く淺黒き其顔色豐饒として壯者を凌がん許り、しかも

其風貌は豫て老虎の名を聞きて想像し居りしとは正反對に頗る温雅にして親しむべき好老爺と見受けられぬ。

更に瞳を轉じてクレマンソー氏の左を見ればそこには瀟洒たるモーニングコートを着けたる鼻眼鏡の老紳士あり。此れなむ米大統領ウキルソン氏其人にぞありける。氏は書類を手にしつゝ、傍なる國務卿ランシング氏並にハウス大佐等と頻りに何事か語らひつゝも其の時々洩らす微笑の陰には流石に包み切れぬ得意の色の漂へるを認めぬ。殊に此日は彼が年來の主張の骨子とも言ふべき國際聯盟が愈成立を告ぐべき日にして紐育ヘラルド紙の如きはかの埃及の政治家が四千年の昔ビラミツドの下に於て夢みたりし世界永遠の平和てふ理想が今

や一ウイルソンの手によりて此世に齎らされんとすと記せし程なれば、その得意や實に想察するに餘ありと云ふべし。

歐 米 見 聞 錄

次に我全權はと見れば西園寺侯以下四名の諸氏は最右側の卓子に支那全權と相對して坐せり。平和會議開催以來支那側の排日運動は頗猛烈且露骨を極め青島還附問題に至りて兩者の軋轢正に沸騰點に迄上りたりとも稱せらるゝ折柄兩國委員の座席が偶然にも相對し居りて圖らずも無言の睨み合をなさざる可らずとは天の配劑も亦皮肉ならずや。支那側委員中最活躍しつゝありとの評判の例のウエリントンクー氏も陸徵祥氏の隣に着席し居りしが、年齢僅かに三十二とかにて打見たる所東京邊の留學生と毫も異らず、之を我全權諸公と比ぶれば親

と子程の相違にして亦好個のコントラストなり。

此の日我牧野男が人種的差別撤廢に關し最後の演説をさるると云ふ事は豫て呼物になり居りしと見え隣近所の記者連余に向ひて何れがバロンマキノなりやと問ひかけ應接の煩しきに困りしも亦聊か肩身の廣き心持もせり。余等は尙諸方に眼を配りて『ロイドジョージ氏の見えざるは如何にせしものぞ』希臘の英雄ヴェネゼロスは何處にありや』かの髪の毛を長く垂らせるがピアノリストにして波蘭首相となりしバデレウスキーよ』等と語らひ居る内、開議定刻の午後三時となり議長クレマンソー氏中央の椅子よりつと起ち上りて開會を宣すれば、滿場の動揺めき一時に鎮まりて水を打ちたる如き靜肅に還りぬ。

歐 米 見 聞 錄

講利會議總會を見る

歐米見聞錄

かくて議長の第一に指名したるはウキルソン氏なりき。氏は國際聯盟委員會の報告者として聯盟規約修正案の草稿を片手に徐ろに起ち上りつゝ先づ此修正が單に字句の修正にして本質には何等の變更も加へられざりし旨を述べたる後、個條を逐うて説明に取りかゝれり。その諄々として説き來り説き去る所、恰も法學教授の講義を聞く如し。大統領の演説半ばにして余等の待ち構へたるロイドジョージ君は急ぎ足に鬨を排して入り來り其精悍溢るゝ許りなる體軀を運びて滿面に微笑を湛へつゝ議長の向つて右なる席に着けり。これにて役者も揃ひたり、中央にクレマンソー、左右にウキルソン、ロイドジョージを始めとして世界各國の政治家が星の如く居並びたる光景壯

觀の極みなり。思ふに是丈の役者が一堂の下に會したる丈にても歴史上稀有の事なるべし、況んや彼等の此處に演じつゝあるものは古今未曾有の大戦亂の跡始末の爲に世界の改造をなさんとする古今未曾有の大芝居なり、余は今圖らずも此千載一遇の機に會し得て衷心の愉快を禁する能はず。さて大統領が最後にサー、ジェームス、ドラモンド氏を以て聯盟第一次の書記官長たらしむる事、及聯盟規約第四條により聯盟會議を組織すべきものは五大國の外、白耳義、伯刺西爾、西班牙、希臘の四箇國たるべき事を提言して座に復するや、右演說全部は再び佛語に翻譯の上満場に紹介せられたり。

次に議長は我牧野男を呼べり。満場の視線は期せずして男

歐 米 見 聞 錄

の身邊に集中せり男は英語にて認めたる草稿を手にして起ち上り議長の方に向ひて之を朗讀し始めたり。男は先づ國際聯盟規約中に人種の相異に本く差別的待遇を撤廢すべしとの條項を包含せしめんとする日本の修正案が前後三回委員會に提出せられて遂に其承認を得る事能はざりし顛末に付縷述せり、男の聲は稍低き憾あしも問題が問題なりし上に最近伊太利委員の歸國に次ぎて日本委員も亦最後の決心の臍を堅めたり等云ふ浮説の行はれし際なりしかば、滿場は片唾を吞んで男の一言一句も聞き洩らさじと許りに傾聽せしが終に男の口より『吾人は此提案が今日此處にて直に採用せらるべき事を強ひて求めざるべし』の語を聞くに及び始めて安堵の胸をさすりし如か

りき。又かの全力を傾けて人種案の粉碎に力めたる濠州首相ヒューズ氏の面上には此時得意の色の輝けるを見逃がす能はざりき。男は尙ほ最後に左の如く言へり『吾人は此際に於て次の如く宣言するを以て吾人の義務なりと思考す、即ち日本の政府及人民は彼等の正當なる要求が遂に委員會の容るゝ所とならざりし事を以て深く遺憾とし今後尙此提案が國際聯盟によりて採用せらるゝに至る迄之を主張して止まざるべし』と男の演説も亦佛語に翻譯せられたり。

牧野男の後にはウルグワイ、パナマ其他小國の委員代るゝ起ちて英語又は佛語にて演説をなせしが、是等の演説も亦一一佛語又は英語に翻譯せらるゝ事なれば滿場漸く惰氣を生じ私

語頻りに起り來る。余の隣席にありし一記者余の耳に囁きて

曰く *The smaller the nation is, the more prone it is to excessive discuss-*

歐米見聞録

tion とウキルソン氏は流石に眞摯なる學者的態度を失はず終始手を拱いて傾聽せり。ロイドジョージ氏に至りては或は起ちて窓際に行き或は卓子の上に置かれたる炭酸水をコップに注ぎて飲み或は隣席なるバルフォア氏と笑ひ興するなど盛に茶目振を發揮せしが遂に會議半ばにして歸り去れり。全權委員中最行儀よきは我西園寺侯なりしなるべし。端然として座し一微動だにせず。本日のデーリーメール紙侯を評して曰く

The face of Marquis, Saionzi, like the mask of a carved image, remained set without expression 云々。

かゝる間に時計は容赦なく進みて早や午後六時を指せり。各國委員の演説も一通り済みたり、此時議長はやをら身を起して尙他に修正の意見なきや否やを問ふ、満場寂として聲なし。爰に於てクレマンソー氏は起ちて簡單にしかも明快に宣告して曰く『國際聯盟修正案は満場一致を以て可決せられたり』と。嗚呼國際聯盟はかくの如くにして遂に此世に現れたり。會議果て、人波に押されつゝ外務省の門を出づれば先程の吹雪は已に收まりて西に沈み行く太陽は凱旋門の空を眞紅に染めなせり。余は門前に群れる無數の自動車の總て散じ去る迄黄昏のセーヌ河畔に佇みて獨り世界平和の將來を想ひぬ。

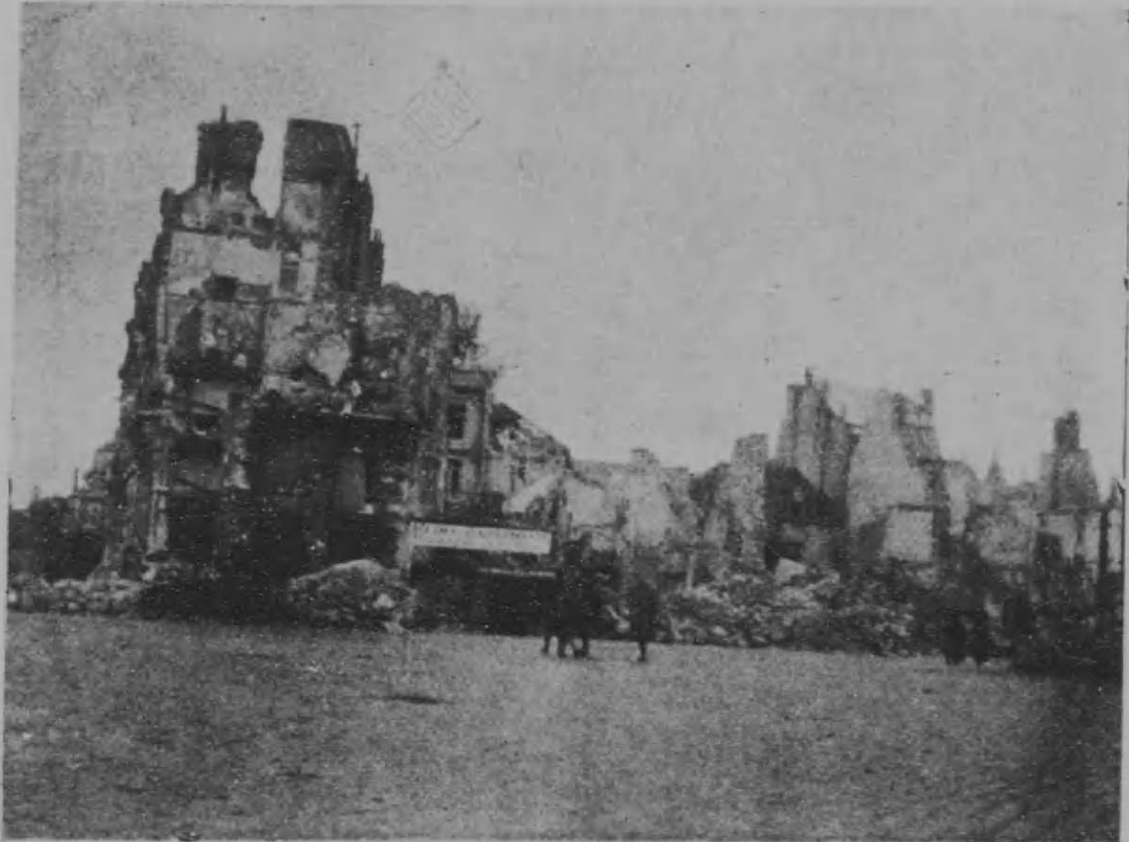
四月二十九日誌す

ニ、フランスの戦跡を訪ふ

歐 米 見 聞 録

西園寺侯は本日雨を冒してフランスの戦跡を訪はれたり、陸軍の小林少佐案内役を承り八郎氏夫妻三浦博士及余の外に一名の佛國護衛巡查隨行せり、午前八時巴里東停車場を發し十一時ランスに着く、車中小林少佐の戦争談あり、同少佐は今も尙佛國大本營附にして嘗ては聯合軍の帷幄に參したる人なるだけ今度の戦争に就きては最該博且詳密なる智識を有し、又頗る話上手の人なりければ一同其談話に聞惚れつゝ、時の移るも覺えざりき。

春雨濛々たるランスの驛頭に立ちて眼前に市街荒廢の狀を



部一の街市スツラ



前院寺大スツラ

(者著、士博浦三、人夫子新、侯寺園西)



UNIVERSITY OF TORONTO
(UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY)

目撃せる余等は今更ながら近代戦争の惨禍の餘りに甚しきに一驚を喫したり、ランスと言へばとも角も最近迄有名なるシヤンパン産地として人口十五萬を有する北部佛蘭西屈指の都會なれば今も尙多少は當年の傷を留むるならむと想像し居たりしに凡そ家と云ふ家は悉く破壊し盡されて一面見渡す限り磊塊たる瓦石の海と變じ居る也。

驛前には佛國陸軍省より特に差廻されたる自動車二臺待ち受けたり、一行之に分乗して市街の址を巡視す、辻々に^{ドモ}。何々と記せる札の残れるが僅に昔日の繁榮と隆昌とを偲ばしむるのみにして全市荒壞の狀慘憺真に見るに堪えざる也、途上獨軍俘虜の一群が佛國將校に督せられつゝ復舊工事に従事するを

歐米見聞録

見る、疲勞困憊の狀歷然として色に形はれいかにも憫然なりき。
 市街の中央に蜂の巢をつゝきたるが如き無数の彈痕を残して其形骸のみを留めつゝある一大建築あり、これをランスの大寺院とす、此寺院は佛國歷代の諸王が洗禮を受けし所にして佛人に取りては恰も我伊勢大廟にも比すべき神聖なる靈場なる由、されば獨軍が此地を攻撃するに當り此寺院の高き塔を好箇の目標として砲火を浴びせかけし事は佛軍の敵愾心を甚しく振起せしめたりと云ふ、かくて佛軍は死すとも退かざるの覺悟をなし獨軍も亦意地になりて飽く迄之を陥れむとしたる結果ランス附近の戦闘は猛烈を極むるに至りたる也、然して此寺院は其建築精巧なるより美術史上の一典型なりし由なるが今や

兵禍に罹りて偉觀再び見る可くもあらず眞に惜むべきの限り。

リスは千九百十四年八月開戦の劈頭獨逸軍の佛領侵入に際して一時獨軍の手に歸せしが翌九月聯合軍マルヌの攻勢に出で、大勝を博するや再佛軍に回復せられ爾來屢々獨軍砲火の下に立ちしも遂に最後迄其攻畧を免れたる所なり、就中千九百十八年七月十五日獨軍第五次の攻撃開始せらるゝや此地は恰も、戦線廣袤二十五哩の中央に當りしを以て攻撃激戦の焦點となり著しく獨軍の砲火を浴びしが辛じて喰ひ止めたりと云ふ、リスが今日の如き目も當てられぬ慘狀を呈するに至りしは右の如く數次に亘りて兩軍が競奪爭取の要衝となりしが爲に

歐 米 見 聞 錄

リスの戦跡を訪ふ

外ならず。

歐米見聞録

町外れなるアレー、ノアールにて自動車を下り、戦線を視察す、此處は兩軍陣地の距離最近き所にして僅に二三町に過ぎず、佛獨兩國の兵は實に此短距離を挟むで四年の久しき間相對峙し居たる也、されば兩陣地の間には塹壕幾重にも掘られ鐵條網縱横に走りて之を越えて進む事容易ならず、小林少佐老侯の手を執りて先登に立つ、諸處に彈丸の破片やら甲冑やらの散在せるを好個の記念なりとて争ふて拾ひ集めむとすれば小林少佐の曰く好く氣を付けられよ彈丸には火薬を裝填したる儘爆發せずして遺棄せられたるものあり、先に米國の一婦人の戦跡見物に來り彈丸を拾ひて之を掌中に弄び居る内轟然として爆發し

五臟六腑を曝け出して慘憺たる最後を遂げたりと、余等は此話を聞きて俄に怖氣付き夫よりは蒐集方を護衛巡査に一任して戰々競々として進む、果然後方に當りて一大爆音あり、一同愕然として、願れば一行の乗り捨てたる自動車の邊に白煙の高く騰れるを見る、何事の起りしぞと早速護衛巡査を走らせたるに暫らくして笑ひながら歸り來りて報告して曰く自動車の運轉手に戰爭の經驗ある者あり偶其處に投彈のありしを幸ひ同僚に示さむ爲に惡戯半分投げ付けたるが爆發したるなりと、余等はやつと之で胸撫で下せしが戰跡の今も尙危險なる事慨ね此の如きものあり。

小林少佐は頻りと雜草を踏分けて何物か搜し居りしがやが

フランスの戰跡を訪ふ

歐 米 見 聞 録

て、杖を擧げて一同を塵き此處に獨逸兵の屍體あり、來り見られよと云ふ、八郎氏夫人は流石に氣味悪く感せられけむ獨り残らむと云ひ給ふ、乃ち余等五人恐るゝ近付き見れば無慘やな肉は己に落ちて今は骨のみとなれる三個の屍の仰向けになりて仆れつゝあり、その纏へる衣服と靴とは、戦死の當時其儘にして傍には亡き人の遺品なるべし手帳財布等四散せり、あゝこれ獨人何某と謂ふものぞ、定めし其故郷には歸りの遲きを待ち詫び居る父老もあらむ妻子もあるべし、彼等は其子其夫が此の如き憐なる骸を敵地に曝して空しく風伯雨師の蹂躪するに委ね遂に再び歸らざる事を知るや知らずや、余等は春雨のしどくと降る中に立ち盡しつゝ、深き哀愁に胸鎖されて暫しの程は言葉

も出でざりしがやがて老侯は可哀想にと感慨深き一語を残して静に此場を立ち去られしかば余等も亦續いて之に随ひぬ、去るに臨むで三浦博士は御職掌柄早速半巾を取り出して頭蓋骨の一部を土産に包まれたりき。

アレー、ノアールの附近に全山一木一草をも留めざる赤裸々の一丘あり、之をポムペイ堡壘の址となす、此堡壘は以前蕪藪たる森林に包まれてありしが千九百十四年八月獨軍第一次の攻撃に際し三萬發の砲彈を受け僅一夜にして現在の如き禿山に化したるなりとは當時此地にありて親しく其急激なる變化を眼のあたりにせし小林少佐の談なり以て近世砲彈の威力のいかに怖るべきものあるかを窺ひ知るべし、余等は老侯と八郎氏

歌 米 見 聞 録

夫人とを殘して此丘に登攀を試みたりしが何しろ雨に濡れたる粘土質の禿山の事なれば足元滑りて容易に上るを得ず、僅に小林少佐の杖に縋り四人珠數繋ぎになりて辛じて引張り上げられし奇態に老侯と八郎氏夫人とは下より仰ぎ見つゝ手を拍ちて笑ひ興せられたり。

夫より一行は更に自動車を驅りてフランスの郊外をあちこちと巡視せるが何處へ行くも沿道は只鐵條網と塹壕とのみにして絶えて人家無く適々これ有るも人の住める様子なければ满目荒寥として恰も死の國を逍遙ふが如き感ありし、かくて日暮も近くなりたれば一行は再汽車に乗りて火點しの頃巴里に歸れり。

歸り來りて獨り燈火に對すれば一日の見聞髣髴として眼底に在り、思へらく國際聯盟の實現したる眞に偶然に非ざるなり、かの聯盟を以て單純なる學者的興味の問題に過ぎずとなすの士は乞ふ先づ往いて佛國戰場を訪へ、そこに残れる限りなき疲弊と窮りなき破壊とは國際聯盟が人類至深の要求に根ざせる事を最雄辯に最適切に説明するなるべし、戰慄すべき流血と犠牲との彼が如き慘禍は只々國際聯盟てふ一嬰兒を産み落さむが爲の産みの苦しみとしてのみ始めて容認せらるゝなり、不幸にして其生れたる嬰兒が欠陥多き虛弱なる身體の持主なるにせよ吾人は之を哺み之を育て、精力と健康と生の歡喜とに充ち溢れたる偉大なる丈夫に仕立て上げざる可らず、四箇年に亘

フランスの戦跡を訪ふ

れる生命財寶の驚くべき消盡と慘虐殺戮の大悲劇とはかくの如くにして始めて其意義を生じ來るべき也。

五月十二日夜 ホテル、コンチネンタルにて

三、白都に於ける萬國議員商事會議の記

○

五月二十日より白耳義首都ブラッセルにて萬國議員商事會議開かれ余も日本の一代表者として出席したり、此會議は商事に關する各國の法律をなるべく統一的のものたらしむべく各國立法府の議員相集りて協議するものにして其決議は何等法上の拘束あるものに非ず、只希望として各自其政府に建議するに止まり比較的無責任の會合なれば余も亦見物旁參加したる次第也、本會議の第一回は昨年羅馬に開かれ我國よりは貴族院の大河内正敏子及加藤恒忠氏出席され第二回は昨年倫敦

歐米見聞錄

に開かれ我國よりは貴族院の吉井幸藏伯及石黒五十二博士出席せられたり然るに本年は我國より貴族院議員諸氏の出席も例年より頗多きのみならず衆議院よりも始めて出席者あり加之講和會議の用務にて目下巴里に滞在せる近藤廉平男大久保利武氏加藤恒忠氏も列席せしかば日本代表者甚多數にて賑なる事なりき。

扱余は十九日午前六時巴里北停車場に至り近藤男大久保加藤兩氏及折柄巴里に來合せし衆議院の松永安左衛門氏と落合ひ特に我等商事會議員の爲に準備されたる列車に塔乘したるが本列車にはブラツセル會議に出席すべき佛國議員を始めチエツクスロバキヤ、葡萄牙、波蘭等の議員も乗込み居り午食の時

は一同打揃ひて食堂に出で或は握手をなし或は乾杯をなす等
初會にして已に十年の知己の如き感ありき。

白耳義國境に近き佛領地方に於ける戦争の慘禍は歷々とし
て車窓より指願し得られたり、殊にサンカンタンの如きは最近
迄獨逸大本營の置かれし處なれど昨來末の大退却の際に獨軍
は市街を自ら破壊して立退きたるが故に其荒廢の狀眼も當て
られず、鐵道も諸處に修繕を要する個所ありて徐行をなし爲に
平時ならば巴里よりブラツセル迄四時間にて到着し得るを只
今は朝七時に發して夕四時に非れば伯都に入るを得ざる始末
也。

佛白國境を越えて足一度白耳義に入れば其狀況余等の想像

歐 米 見 聞 錄

とは正反對なり、余等は白耳義が今次の戦争に於て殆國を擧げて敵手に委したりしより推して其國內の慘憺たる有様如何許りならむと想ひ居りしに村落家屋等殆破損の跡だに見えず、萎々たる草原には牧牛の群の長閑に遊べるなごこれが最近硝煙彈雨に包まれし戦亂の巷なりとはいかにしても思はれざりき、聞く所によれば獨軍は一九一四年開戦の劈頭リエージュを死守せし白軍を破りてよりは何等の抵抗にも會せず何等の砲撃をも用ゐずして恰も無人の野を行くが如く一瀉千里に佛白國境迄押し寄せたるものにして彼等は白耳義を以て將來永遠に自己の所有に歸したりしと思ひ込み何物をも大事に保存する事を心掛けたるが故にリエージュ、イーブル等を除く外はかの佛領

内に於けるが如き慘禍を免れたるなりと云ふ、然れども吾人は白耳義の有形的物質的災厄の割合に少かりしと云ふ故を以て彼國民に對する同情の念を割引すべき理由なく、彼等が其國土の殆凡てを擧げて暴戾なる獨軍政府の手に委ね四年の久しき間、其支配の下に屈服せざる可らざりし、彼等の精神的苦痛に對しては一層深厚なる同情を表せざる可らず。

歐米見聞錄
ブラツセルに到着するや、今度の會議の議長にして伯國議員なるデカン男を始め國務大臣諸氏出迎へ、軍樂隊は來着したる各國代表者の爲一々其國々の國歌を吹奏し、停車場には群集十重二十重に整列して盛なる歡迎をなせり、余等は日本代表者の宿と定まれるホテルアストリヤに至り、其處にて日本より直行

歐米見聞錄

し來りし先着の諸君と久し振りに温き手を握りたりき、即ち貴族院より服部一三前田正名兩翁斯波忠三郎坪井九八郎兩男爵今井五助氏、衆議院より林毅陸、齋藤隆夫、近藤達兒の諸氏外に長貴族院書記官同行せり、これに巴里より來りし我等五人を加へ日本代表者十四名にして服部一三氏團長たり林毅陸氏副團長たり、ホテルには他に泊り客なきものから此僅か十四名にて最近迄獨軍元帥の居りしと云ふ宏大なるホテルを獨占せり。

ブラッセル市街は流石に小巴里と云はるゝ丈ありて清楚にして心地よき所なり、ブルバード、ワートルローはシャンゼリゼーに譬ふべくボア、ド、ラ、カムブルはボア、ド、ブローニユに比ぶべし、市街も殆崩壞の跡なく永く當地に全權公使たりし加藤恒忠

歌 米 見 聞 錄

氏は毫も舊態を改め居らずそつくり其儘なりと言へり。

二十日には各國議員一同打揃ふて參内し白國國王に謁見せり、宮殿とは云ふものゝ極めて質素にして宮仕へせる人々も余り數多からぬ様子なり、一同は大廣間に導かれて各國別に各一團となりて待ち居る内國王臨御せられ先づ挨拶の御言葉あり、次で佛國議員團長シヨーム氏英國議員團長ランドルス氏答辭を述べ終りて國王は各團長の紹介にて各議員に一々握手を賜ひしのみか種々打ち解けて御物語さへありき、余は王が莞爾として微笑みつゝ余等の前に來りて手を差出し給へる時過去四年の間に於ける王の御心勞を懷ふて涙の下るを禁ずる能はざりき、思ふに其國は奪はれ其民は虐げられて僅にイーブル方面

歐米見聞錄

に尺寸の地を守り、惡戰苦闘を續けられたる王の事蹟は永く青史に輝くべく、世界各國が英雄國王ヒーローキングの稱號を捧げて王を讚美し、白耳義國民が無上の尊敬と信賴とを王に致せるは當然なりと云ふべし、しかも王は所謂勿體ぶる所毫も在はさず、舉措極めて單純にして戰亂收まりし今日と雖事苟も白耳義の利害休戚に關する場合には自ら飛行機に乗りて東奔西走せられ眞に白耳義國民の王たる實を示され居れり、但し王の飛行機に乗り給ふ事に就きては王の爲に心配する向もあり、現に一夜安達公使の宴會席上白耳義首相と會談せる時首相も亦王に對し飛行機に乗り給ふ事丈は思ひ止まられ度しと屢進言するも御採用なしとて苦笑し居たりき、承れば先王レオポルド陛下も亦極めて英

邁にして先見の明ある御方なりし由、かのアフリカなる金剛自由國は元は王の私有地にして最初の程は利益少しも擧らずして莫大の投資も結局失敗に了るべしとせられ爲に王も一時は非常の貧乏にて加藤氏の談によればいつも垢だらけの襯衣を纏ひ居られしと云ふ程なりしが其後次第に發展して遂に今日では白耳義の一大寶庫となりし也、しかも先王は之を私せず、前途の見込立つや其全部を白耳義國に捧げ又其崩するに際しては僅か一二の宮殿を残して凡ての私有財産を白耳義政府に譲られたりと云ふ實に以上の如き白耳義王室の措置並に王室と人民との親密なる關係は余等の欽羨に堪へざる所にして我皇室の如きも深く此邊に留意せられむ事切望の至なり、余は今日

も尙我國に皇室と人民とを引離す事を以て皇室の尊嚴を維持する所以なりとなす如き固陋の見解あるを遺憾とす、白國王の如きは同國社會黨の首領ヴァンデルベルト氏とは親交の間柄にして互に隔意なき交際をなしつゝある結果社會問題の解決も頗る圓滿に行はれつゝあるなり。

○

商事會議は二十一日より二十三日に至る迄白國上院議事堂に於て開かれたり、午前委員會を開き其結果を午後の本會議に持ち出して決議するものとす、而して本年決議せられたる事項は次の如きものなり。

第一、恒久的なる萬國商業會議所 Permanent International Insti-

tute of Commerce をブラッセルに設くる事、その目的とする所は通商に關する各國立法の統一と富力及貿易の一般的發達とに資すべき一切の情報を集輯し且之を公表するにあり。

第二、太西洋黒海連絡鐵道を完成する事、これ所謂ポルドーオデッサ鐵道計畫を實現せむとするものなるがポルドーを出發點とするに就きては英國並に白耳義より異議の申立あり、結局英國佛國白耳義葡萄牙の何れの港よりするも可なりと云ふ事に一致せり、然して特に注意すべきは此案が敵國を通過せずと云ふを條件とする事也、戰亂已に收まりて獨逸は再び起つ能はざる程の窮地に陥りつゝあるに拘らず聯合側の排獨的感情は依然熾烈を極め當分冷却する模様見えざる事之を以ても知る

べし。

歐 第三、歐洲縱斷鐵道を完成する事、前項計畫の鐵道が歐洲を東
米 より西に横斷せむとするに對し之はバルチック海沿岸のダン
見 チヒを基點として一方はアドリヤチック海に他方は黒海に至
聞 るの線を完成し以て歐洲を北より南に縦斷せんとするものな
録 り、然して此案も亦敵國を經由せずとの條件を附し居れり。

第四、西班牙モロッコ鐵道を完成する事、これ西班牙の鐵道と
モロッコのタンヂールより西アフリカの佛領殖民地ダカール
に至る鐵道とを連絡せしめ更にダカールより遙に海を隔て、
南米の鐵道と連絡せしめむとするもの也、蓋し太西洋を隔つる
兩大陸の距離はダカールよりするを最短とす、随つて此線は歐

洲より南米に達する最捷徑となるべし。

第五、ダニユープ河及ライン河を國際化する事は今次の講和會議に於ても問題となりし所にして已に溯航範圍は之を國際化する事に決定したる也。

第六、エスコー川及其兩岸の自由使用を白耳義に與ふる事これ講和會議に對して現に白耳義の要求しつゝある所にして目下頗る紛糾を重ねつゝある問題也。蓋エスコー河の下流は和蘭領を貫きて海に注ぐが故に沿岸に位する白耳義唯一の商港アントワープは和蘭によりて其海への出口を扼せられ其商業的死命を制せらるゝ形勢にあり、之に就きては一千八百三十一年の和白條約ありて白耳義は已に此地域に關し特殊の利益を與

歐米見聞録

へられ居れど尙夫丈では満足せず此度の戦勝を機會に今一層大なる軍事上經濟上の權利を得んとする也。

第七、商事會社に關する法規を國際化する事、即ち聯合各國の通商發展に資せんが爲相互に協商を結び各國民をして他の聯合國內に設立せられたる商事會社の經營に従事する便宜を圖らむとす、但或種の外國人の危險なる勢力の侵入に備へん爲聯合各國に於て同様なる法制的手段を採る事とす、然してこゝに所謂或種の外國人とは獨逸人を指す事勿論にして排獨的色彩は此決議にも表はれ居るを見るべし。

第八、燃料節約之事、即ち燃料に關する國際委員を催け其生産運輸消費の狀況を調査し且其統計を作製し節約を行ふに就き

必要なる處置を各自其政府に建議する事とせり。

第九、今日各國に於ける課稅法規は區々として統一なき爲個人又は會社にして二重課稅を受くる事あり、仍て列國協商の上此弊を防がんとす。

第十、劃一的方法の下に各國の富に關する調査をなす事、蓋し現今各國の富に關する調査は何れも其標準及方法を異にするが故に比較考量をなすに不便少からざればなり、此問題は今度の講和會議に於て各國の富力及損害賠償額等を査定するに當りて大に其必要を認めらるゝに至りしもの也。

第十一、國際聯盟に加入せる各國の商法を統一し各國間の通商上の故障となるべき一切の制限を撤去する事を圖るべし。

以上の如き決議事項の内最重要なるものは蓋し太西洋黒海連絡鐵道の完成なるべし、思ふにバルカン半島を手中に收め小亞細亞を貫通して波斯灣に達するの大帝國を建設する事は戦前に於ける獨逸が世界政策の一大理想にして所謂伯林バグダット鐵道なるものは實に此理想を實現せんとする骨子なりし也、今や此鐵道は獨逸が敗北の結果英國の掌裡に歸し伯林バグダットの計畫は政治的にも經濟的にも挫折したるの觀あれど尙獨逸がバルカン半島に優越の地位を占めむとするの危険は必しも除却せられたるに非ず、已に此危険にして存する以上歐洲の平和は未だ大磐石の基礎の上に築かれたりと云ふを得ざるが故に苟も永遠の平和を確立せむと欲せば獨逸の此地方に

對する野望を全然根絶する必要あり、而して獨逸がバルカンに延びんとするの禍心を防止するに最有效なる方法は佛蘭西巴爾幹及南露の間を横斷する最短距離の鐵道を敷設するにあり、これ曩にポルドーオデツサ鐵道の計畫ありし所以にして本會議に太西洋黒海連絡鐵道完成の決議を見たるも亦此趣意に外ならざる也。

歐 米 見 聞 錄

二十三日の本會議終りて各國議員一同は自動車數十臺を連ねルーバンに赴き議長デカン男の邸を訪問せり、デカン男は國際法の大家として世界的に著名の人現にルーバン大學に教授たり、又國際法の辯護士にして海牙仲裁々判の委員を兼ね、嘗て我國も家屋稅問題に付國際紛議を生せし際同氏に辯護を依頼

歐 米 見 聞 錄

せる事ありし由、白國に於ては所謂元老の一人にして現に國務大臣の禮遇を受く、同男は獨軍の白國侵入によりて恐らく最大の災厄を蒙りし一人なるべし即ち獨軍のルーバン市を占領するや同男の邸を襲ひ男夫人の父君にして齡九旬を超ゆる老翁と夫人の令弟とを男夫妻の面前に於て無慘にも銃殺し金銀財寶を悉ひ去りしのみか學者たる男の生命とも言ふべき書籍及原稿を寸斷して泥土の中に投じたる等あらゆる亂暴狼籍を盡したりと云ふ、温厚なる男も當時を語り出で、は切齒扼腕涙に雙頬を濕せり、尙男は最近に至りて又最愛の姪を失ひ深き憂愁に沈み居らるゝに一同は重ね々くの男の不幸に心からなる同情を捧げて同邸を辭し更に同男の案内にてルーバン大學の遺

址を弔へり、圖書館を始め重なる建物は獨軍砲火の紛粹する所となりて僅に瓦石の累々たるを見るのみ、余はかのクルツールを以て誇る獨逸カント、ゲーテを産める獨逸が如此所業を敢てしたるを怪しまざるを得ず、勿論戦争の事なれば自國の行動に障害となるべき人畜を殺傷し家屋を破壊するは止むを得ずと雖罪なき老翁の命を奪ひ學問文藝の寶庫を蹂躪するに至りては遂に其理由を解するを得ざる也。

會議は已に終れり、願ればブラツセルの五日間は全く御馳走攻演説攻なりき、何分各國雄辯家の揃ひし事とて機會ある毎に得意の長廣舌を振ふものから譯も分らずに長時間の傾聽を餘儀なくせられ加之連日連夜宴會ありて其席上亦テーブルスピ

一チの大流行を極め心身聊か疲勞せり、仍つて他の諸君は兩三日中に和蘭の旅に上ると云へど余は本日一日休養をなし明二十五日諸君より一足先に巴里に歸らむとする也。

(五月二十四日ブラッセル客舎にて)

四、講和會議所感

所感第一、講和會議地としての巴里に於て先づ第一に感ずる事は力の支配てふ鐵則の今も尙儼然として其存在を保ちつゝある事是なり、思ふに正義は力に代るべしとは今次戰爭中列國政治家によりて屢唱へられたる所なりしのみならず過去四箇年に亘れる生命と財貨との驚くべき絶大なる犠牲は戦後の今日に於て人心の一新を招來せるやの觀なきに非ずと雖世界が依然として力の支配を免る可らざるの事實は已に吾人の眼前に於て講和會議が最明白に之を立證しつゝあるを如何せむ、乞ふ先づ講和會議の組織に就て之を見よ。

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞錄

講和會議の組織は大國の橫暴を最好く表現せり、今其一例を
 擧げんか英國の如きは獨立したる國家と認めざる屬領並に
 殖民地の代表者を會議に列せしむるの違例を冒して平然たる
 のみならず將に生れむとする國際聯盟に於ては是等の代表者
 に獨立せる票決權を與へて毫も憚る所なき也、夫れ國際聯盟の
 票決權が各國平等たるべきは論を俟たざる所にして一國一票
 の原則は規約條文の上にも明に規定せられ居るに拘らず英國
 のみが併せて六個の票決權を占むるに至りしはいかに最負眼
 に見るも專横の譏を免れざる所にして米國が之に對して不服
 を申し立てつゝあるは誠に當然と云ふべし、然るに英國は尙之
 を以ても足れりとせず更にヘヂヤ國よりも二名の代表者を出

すべき事を提言し無理無體に其要求を貫徹したり、元來ヘヂヤは英國の援助によりて一九〇八年始めて土其古の羈絆を脱するを得爾來英國の保護の下に在りしアラビヤの一小國に過ぎず、かゝる獨立の體裁すらも具へざる小國をして國際聯盟の一員たらしむるが如きは其事已に一の問題なるに之をして堂々たる東洋の大國支那と同數なる二名の代表者を出さしむるに至りては斷じて公平の措置と稱するを得ざるなり。

次に講和會議の議事方法に就き之を見るも吾人は又大國の支配てふ事實を看過するを得ざる也、即ち講和會議に列すべく巴里に集りし聯合各國の數は二十餘國なりと雖その代表者が全部一堂に會して討議するの機會は只總會の場合に限らるゝ

なり、然して總會なるものは講和舞臺の幕明以來僅に五回しかも形式的に開かれたるに過ぎずして主要問題の殆凡ては五大國會議によりて決定せられ自餘の諸國は只其成案に對して同意を強ゐらるゝの姿なりし也。

以上の如き組織及方法に關する小國の不平は本年一月の第二次總會に於て早くも其最初の爆發を見たり、即ち支那、白耳義、希臘、羅馬尼等の委員は交々起ちて大國の横暴を諷するの演説をなしたりき、然るに虎のクレマンソーは最後に立上りつゝ大聲叱呼して「強者の權利」を主張し一蹴の下に小國の要求を粉碎し了りぬ、世人の多くが今度の會議に對して抱きし正義公道に本く世界の改造てふ期待は已に會議の劈頭に於て見事裏切ら

れたるを見るべし。

もし夫れ國際聯盟が人種平等案を排斥してモンロー主義を採用したるの事實に至りては力の支配てふ原則の最露骨なる表現と見るを得べし、思ふに人種平等案なるものは正義に本きて世界の平和を維持すると云ふ國際聯盟の精神より見て當然聯盟の基礎となるべき先決條件なり、何となれば正義に本く世界の平和は各國家各民族を不平等の基礎の上に置きては到底之を維持する事能はざれば也、反之モンロー主義は國際聯盟とは相容れざる性質を有するものなり、何となれば國際聯盟は凡ての國家を平等に拘束してこそ始めて其效用あるものなるに獨り米國のみがモンロー主義によりて米大陸の問題に對する

歐 米 見 聞 錄

歐 米 見 聞 錄

國際聯盟の干渉を許さざるのみならず、聯盟規約に本き締盟各國が活動の義務を生じたる場合にも何等の義務を負担せずと云ふが如きは明に聯盟其物の破壊を意味すればなり、如此は純理より之を見れば實に明々白々寸分の疑を容れざる所なれど、儲實際は如何に決定したりしやと云ふに道理ある人種平等案は力足らざる日本が之を提出したるが故に葬り去られ、反之不道理なるモンロー主義は方ある米國が之を主張したるが故に、大手を振つて聯盟規約の中に割り込むに至りしもの也。

如此觀來る時、今次の講和會議が力の原則によりて支配せられたるの事實は何人も否認するを得ざる所なりと雖、之を以て直に力が萬事を決定したりとなす一派の論議に對しては吾人

は之を首肯するに躊躇せざるを得ず、蓋しウキルソン氏が最初
 講和の基礎條件として掲げたる海洋の自由其他十四個條の原
 則は歐洲政治家の現實的利害主義によりて甚しき蹂躪を蒙り
 たりと雖しかも彼の理想が全然實行せられざりしとなすは餘
 りに酷評にして少くとも彼が主唱にかゝる民族自決主義の如
 きは或程度迄講和會議の中心精神となり多年壓制に苦しみた
 りし幾多の弱小民族に新なる希望と光明とを齎したりし也、殊
 に不完全の譏を免れずとは云へ國際聯盟なるものが兎にも角
 にも實現の運を見るに至りしは一に彼が努力と熱誠との賜な
 りと云ふを得べく余は此點丈にてもウキルソンの名が永へに
 人類史上に光輝を放つべきものなりと斷言するを憚らざる也、

要するに巴里會議の成績を見て理想主義の破滅を宣告するは早計なり、吾人は今日の時代が國際政治の發達に於ても亦正に過渡期に在るを忘る可らず。

歐 米 見 聞 錄

所感第二、第二に感ずる事は専門外交秘密外交が漸く過去の遺物となりて國民外交公開外交の時代將に來らむとするの兆ある事是なり、勿論ウキルソン氏が十四個條原則の第一に掲げたる「公開的に作られたる公開的の條約」てふ主義は大統領の他の多くの理想と同じく今度の講和會議に於て殆無視せらるゝの運命に陥りたるが故に今日秘密外交の時代全く去れりと速斷するは素より輕卒の譏を免れざる所なりと雖巴里會議を以て百年前の維納會議に比較する時は吾人はそこに顯著なる

差異の存する事を認めざるを得ず、然して維納時代の政治家が殆夢想だにせざりし大規模のプロバガンダが今次の講和會議に於て重大なる役目を演じたりし事實は偶以て此時代の推移を最能く説明するものたらずんばあらず。

余は外交史上に於て一八一五年維納會議の當時各國使臣の連夜大夜會を開きし由を讀みて此度も亦或は如此事のあるべしと豫期し居たりしに未だ一の宴會もなく一の夜會も開かれず、遙々持參の大禮服も燕尾服も結局持ち運び損に終るべき形勢なり、蓋し維納會議の當時は民權の發達今日の如くならずして戰爭は帝王の戰爭外交は外交家の外交なりし也、隨つて國交の問題は國民の毫も關する所に非ずして帝王外交家相互の個

歐米見聞錄

歐 米 見 聞 錄

人的干係個人的折衝により如何様にも決せられたるものなれば談笑乾杯の間に陰謀秘計の機微を促ふる方便として連日大夜會を催す必要もありしならむが今日の如く萬機公論に決するの世となりては權變機畧を弄し舞踏夜會を以て粉飾するの餘地愈少くして外交も亦自然と公開的性質を帯び來らざるを得ず、然してプロバガンダは實に此時代の必要に應じて生れ出でたる外交上の新武器に外ならざる也。

プロバガンダに就きては支那人の方遙に日本人よりも心掛がある様なり、かの袁世凱が河南の草廬より起ちて遂に天下を一統したりしは全く彼が巧妙なるプロバガンダの賜なりと云ふを得べく近くは山東問題の紛紜亦支那使節の猛烈なるプロ

バガンダが功を奏したりし結果なり、然るに日本人は反之甚しく此手段に拙劣なり夫れプロバカンダは自家廣告なるが故に個人としては斷じて敬意を拂ひ難き行爲なり、此點よりすれば日本人のプロバカンダに拙きは一個の美質として賞賛するを得べけむ、然れども今日の如く民衆の同意同情を集むる事なくしては何事もなし得ざる時代に於て圓滑無礙に所期の目的を達せむとするにはプロバカンダに由るの外なく若し此手段を欠く時は諸事澁滯頓挫するのみか時には失敗に終るを免る可らざるなり、或人曰く『青島處分が講和會議の問題となりし當時支那側のプロバカンダは最猛烈を極めたるに反し我國は沈黙を以て押し通せり、然して終局の勝利は遂に我等の上に來りし

歐 米 見 聞 錄

に非ずや、所謂プロバガンダの如きは愚民を瞞着するには有効なる手段ならむも識者を動かすには足らざるなり、何となれば各國全權諸公の手許にはプロバカンダとして坊間に流布せらるゝ新聞冊子の記事よりも遙かに精確にして豊富なる材料ありて諸公が判断の資に供せられつゝ、あればなり」と、然れども青島問題の如き事理明白なる問題すら彼が如き紛糾を見たりし所以のものは抑何ぞや、一に是れ支那側のプロバガンダが聯合諸國殊に米國の國論を動かしたりしに因る也、幸に同問題が我に満足なる解決を與へたりしの故を以てプロバガンダの價値を輕視するが如きは以ての外の次第なりと云はざる可らず。

今回の大戰爭中各國は何れもプロバガンダの爲に特殊の機

歐米見聞錄

關を設け數千萬の豫算と無數の人員とを使用して活動至らざるなく中には非常なる効果を收めたるものあり、かの露國の軍隊が過激派政府の成立と共に瓦解したるが如きイソソゾに於ける伊軍の大敗の如き一に獨逸のプロバガンダが禍したるに因ると稱せらる、又一九一八年埃國に於て戰爭に關し皇帝皇后間に意見の衝突ありとの風説起り獨逸に於てヒンデンプルグ、ルーデンドルフ兩將軍の不和説傳へられ何れも國內人心に尠からざる疑懼の念を起さしめたる如きはノースクリツフ新聞のプロバガンダの結果なりとせらる。

講和會議に對する各國のプロバガンダを見るに戰時中に於ける所謂反間苦肉の策の如き惡辣を極むるものはこれ無しと

歐米見聞錄

雖各國とも大規模に是れを行ひつゝあるは事實にして講和事務所の新聞課室の如き各國より送附し來る印刷物山積して課員は是が整理に忙殺せられつゝある有様なり、其他寫眞を配付し活動寫眞を利用し演說講演をなす等プロバガンダの方法は種々様々なるが就中最廣く最有效に用ゐられつゝあるは蓋し新聞なるべし、歐米の政治家はよく新聞操縦の妙諦を解し材料の如き我より進で彼に與ふるのみか時には自ら操觚者となりて執筆するなど其態度方針凡て積極的なり、一例を擧ぐれば佛國外務大臣ピシヨン氏の如きは毎日曜午前十一時より各國新聞記者を引見するを例とせり、此日外務省なる會見室の中央にピシヨン氏の席を占むるや待ち構へ居る五六十名の記者連中

は外相の周圍を十重二十重に取りまきて時局の經過に就き質問の一齊射撃を開始する次第なるが是に對する外相の答辯は實に親切懇到を極むると云ふ又佛國政府は昨今巴里に集へる列國新聞記者の爲に富豪ヅユフハイエール氏の家を徵發して之を俱樂部となし以て操觚者が會合娛樂の用に供せり此家は宏莊華麗近代稀に見るの大建築なるがシャンゼリゼー大通の中程に位してバツサノ街なる西園寺侯事務所とは距離甚だ近きが故に余も亦同事務所に通勤するの序を以て屢此俱樂部に出入し世界的知名の士と親しく面接するの便宜を得つゝあり思ふに戰後に於ける外交關係は従前に比し一層民本的公開的色彩を呈するに至るべく随つてプロバガンダの重要益其度

歐米見聞錄

を加ふべきは論を俟たざる所也、此時に方り苟も外に對して我國利民福の伸張を圖らむと欲せば大々の對外プロバガンダの舉に出でざるべからず、然して此目的の爲に最急要を感ずるもの、第一はプロバガンダ機關の設置也、今戰時中に於ける各國のプロバガンダ機關を見るにかのビーバブルック卿を長官としノースクリツフ卿を局長に有する英國のデバートメント、オプ、インフォメーション(獨立の一省)を始めとし佛國のメーゾンド、ラ、プレツス(外務省に屬す)獨逸のナハリヒテン、アブタイルング(外務省に屬す)米國のデバートメント、オブ、バブリックインフォメーション(獨立の一省)等何れも巨萬の經費を擁して目覺ましき効果を擧げつゝあり、殊に米國に於ける此機關は無線

電信の爲に日々起稿する通報數千枚各國官憲及び新聞への通
報十萬枚時々發行のプロバガンダ用小冊子數百萬部日々特種
の材料を供給し居る地方新聞數一萬六千に上ると云ふ、米國の
如斯活動を見顧みて我國の現状に及ばし誰か心中忸怩たらざ
るを得む、僅かに存する支那重要地の特種新聞に對してさへ保
護金を充分に投じ得ざるが如き有様にては今後益紛糾を重ぬ
べき支那外交の舞臺に於て我國がよくその權威ある地位を維
持し得べきや否やも深く疑問とせざるべからず、要之プロバガ
ンダ機關の設置と活用とは時世が吾人に向つて要求しつゝあ
る急務中の急務なるが尙此外に今一つ對外プロバガンダの機關
として必要欠く可らざるものは海外通信なり、抑も通信は最有

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞錄

效なるプロバガンダの手段なるが我國には未だ一の海外通信社も存在せざるなり、歐米各國は何れも大規模の通信社を政府保護の下に有し居り、英の『ルーター』佛の『ハヴアス』米の『アツツシエーターツドプレス』伊の『ステファニー』獨の『ウォルフ』奥の『維納通信』土の『ミリス』等皆是なり、然るに我國には内地向の通信社多數存在し寧ろ通信社の過剰なるに苦しめるが如き状態なるに拘らず海外に對する通信は皆無なるが故に我國に於て發表せらるゝ公報と言説とは一切外國通信社の手を経て海外に傳へらるゝ事となり随つて外國人の見て以て自己に不利益なりとなす通信は全然握り潰さるゝか或は變形捏造を加へらるゝを免かれず、かくては折角のプロバガンダも何等の効果なき

のみか時には却つて悪影響を及ぼす事となるなり、是れ余が我國に海外通信社を起す事を以て實に焦眉の急務なりと云ふ所以なり。

所感第三、第三の所感として挙げむとするものは外交官制度刷新の必要にして是亦今次の講和會議が吾人に與へたる最大なる教訓の一なり、今や時勢は急轉して秘密外交は公開外交に専門外交は國民外交へと推移せんとし隨つて一二外交家の手腕が外交の成否を左右するの力は大に減じたるの觀あり、然れども外交官を以て單なる取次用の蓄音機と心得其人物伎倆の如きは深く問ふを要せずとなすものあらば其誤れる事亦論を俟たず、即ち外交家として有能の士を得るの必要は國民外交

歐米見聞錄

の時代となりても毫も渝らざるなり、然して此必要に應せむが爲に現代の日本に於て最も緊急なる一事は外交官制度の刷新に他ならず。

歐米見聞録

いかにして外交官制度の刷新を行ふべきか、第一には人材登用の門戸を開放する事是也、第二には外交家養成の方針を改むる事是なり。

今日の外交官制度にては採用の人員少なきが故に一旦採用せられたる後は淘汰せらるゝ事なく能不能を擧げて悉く昇級し得る仕組となり居れり、是を民間の事業界に見るに三井三菱の如き大會社に於ては毎年官私立大學の卒業生百數十名を採用すと云ふ、而して材能あり實力ある者は是等の者の中より次

第に拔擢せられて遂に幹部の地位を占むるものなるが其所謂
 幹部の數は僅に十名内外のみ、以て其間に大なる人材淘汰の行
 はれ居るを知るべし、然るに外交官に至りては毎年僅に十名内
 外を採用するに過ぎずしてしかも是等僅少の人々の間より大
 臣次官を始め二十餘箇國の大公使を選ばざる可らざる事にな
 り居れるが故に其間殆淘汰の行はるゝ餘地なくしていかなる
 凡庸の才も鱗上りに樞要の地位迄押し上げらるゝなり、幸にし
 て今日の外交官諸君は何れも有能達識の士なれば其點の心配
 なけれど制度としては甚感心致し兼ねる次第也、由來外務省に
 は一種偏狹なる見解を持する者あり外務省獨特の試験により
 て採用せられ外務省の島に育ちたる人物に非ざれば外交の事

歐米見聞錄

を托するを得ずと爲すが如し、成程外交の一面は事務なるが故に外交専門の技術を辨ふる人の必要なる事勿論なるがさりとて是のみが外交の全部なりとするは甚しき謬見と謂はざる可らず、事務も亦外交の一面なれど外交の大主眼は實に國際政策の遂行に外ならず、故に苟も國際政局につきて見識あり思慮ある練達堪能の士あらば軍人にまれ實業家にまれ學者にまれ擢んで、以て外交の事に當らしむべし、必しも専門的外交技師の手を煩はす要なきなり是を今次の講和會議に見るも英米佛伊等の全權委員は概ね所謂専門の外交家に非ずして政治家なり、國際聯盟も對獨塊講和條約も凡て此素人外交家の手によりて成りし也。

從來の外務省は人材養成につき何等の考慮を費さざりしが如し、抑も外交官たる者は單に外交の事務のみを以て能事畢れりとなすものに非ざる限り須らく任國の國情を審にし更に進んでは一般國際政局に通曉して各種の國際問題を理解し得る能力を具有せざる可らず、然るに今日の外交官の大多數は終日營々として雜務に忙殺せられ殆ど修學研鑽の餘暇なき有様なるが故に外交家としての見識を養ふ事能はざるなり、現在當地にある少壯外交官中志ある人々は何れも現在の境遇に付不平を鳴らしつゝあるが其言ふ所を聞くに是等の諸氏は最初外交官補領事官補の時代四五年間は全く電信事務に服せしめられ夫より以後は繁文縟禮的庶務に忙殺せらるゝ爲研究どころか

歐米見聞錄

大學を出で、十年の後には大概慢性の神経衰弱に罹ると云ふ。思ふに斯の如き庶務雜役は歐米の官廳會社等に於ては婦人のタイピスト位にて間に合せ居る仕事なり、何ぞ其爲に大學卒業の素養を有する青年外交官を使役するの必要あらむ、余はかゝる機械的の勞働を以て前途爲すあるの身を束縛せらるゝ人々が久しからずして年少の意氣を消磨し盡し早く小成の老人と化し去るは誠に當然の結果なりと考ふ、乃ち外交官養成の方針を改め本省たると在外公館たるとを問はず雜役の大部分は庶務員をして之を掌らしめ少壯外交官には與ふるに時間の餘裕を以てし外交家本來の任務たる外部との接觸國情の研究並に語學の練習等に其全力を傾注せしむる事今日に於て特に急務

なりとす。

所感第四、最後に第四の所感として余は日本人が今一層世界的知識と輪廓とを養成するの必要ある事を説かざるを得ず。是を聞く米國の如きは千九百十七年愈歐洲大戰に参加する事となるやハウス大佐を委員長とする幾多の委員會を設け是等の委員會は専門の經濟學者法學者財政家等は勿論人種學者地理學者等をも網羅し分擔を定めて或はシリヤの事情を調査し或はバルカンの問題を考究したりと云ふ、彼等が着眼と抱負の遠大なる以て知るべし、斯くて精密且つ公平なる講和會議資料はウキルソン大統領の手許に集り大統領は之を提げて威風堂々と巴里に乗込み來れるなり、かのフューメの問題について

歐米見聞録

講和會議所感

民族主義の本尊なるウキルソン氏が同じく民族主義を根據とする伊太利の主張に耳を藉さず遂に是を壓倒し去りしが如きはかゝる公平なる資料に本々確乎たる自信を有したりしが故なり。

歐米見聞録

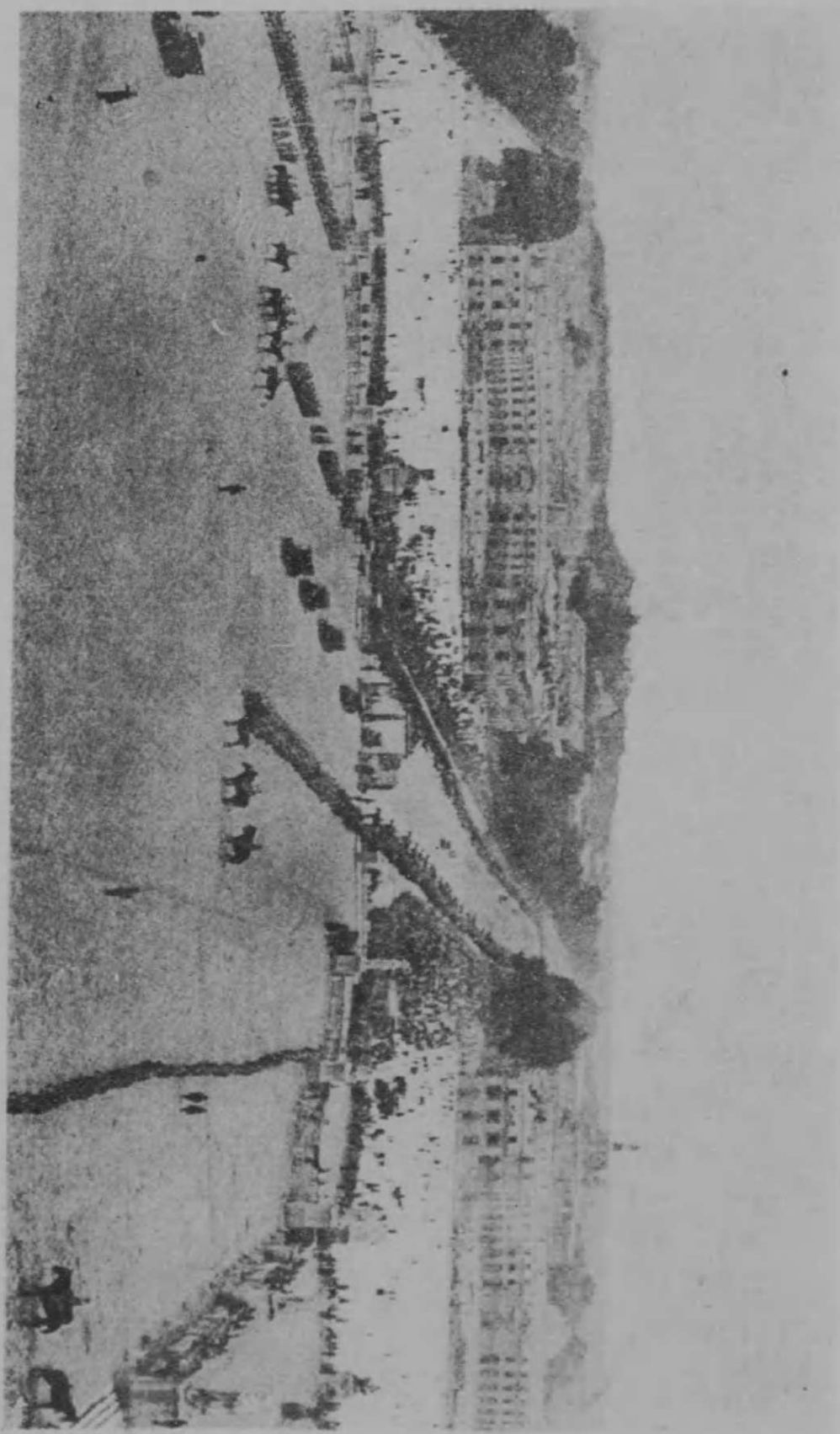
米國人の眼界がかくの如く世界的なるに反し日本人の眼界が今尙甚だ狭小にして僅に極東の一部に限られ居るは吾人の甚遺憾とする所なり、即ち我國民は支那問題等自國に直接利害關係ある場合には非常の熱心を以て騒ぎ立つるも東洋以外の事となれば我不關焉の態度を採る傾きなしとせず、現に今度の會議に關係せる或外人は日本人を評して彼等は利己一點張の國民なり世界と共に憂を願つべき熱心も親切もなき國民なり

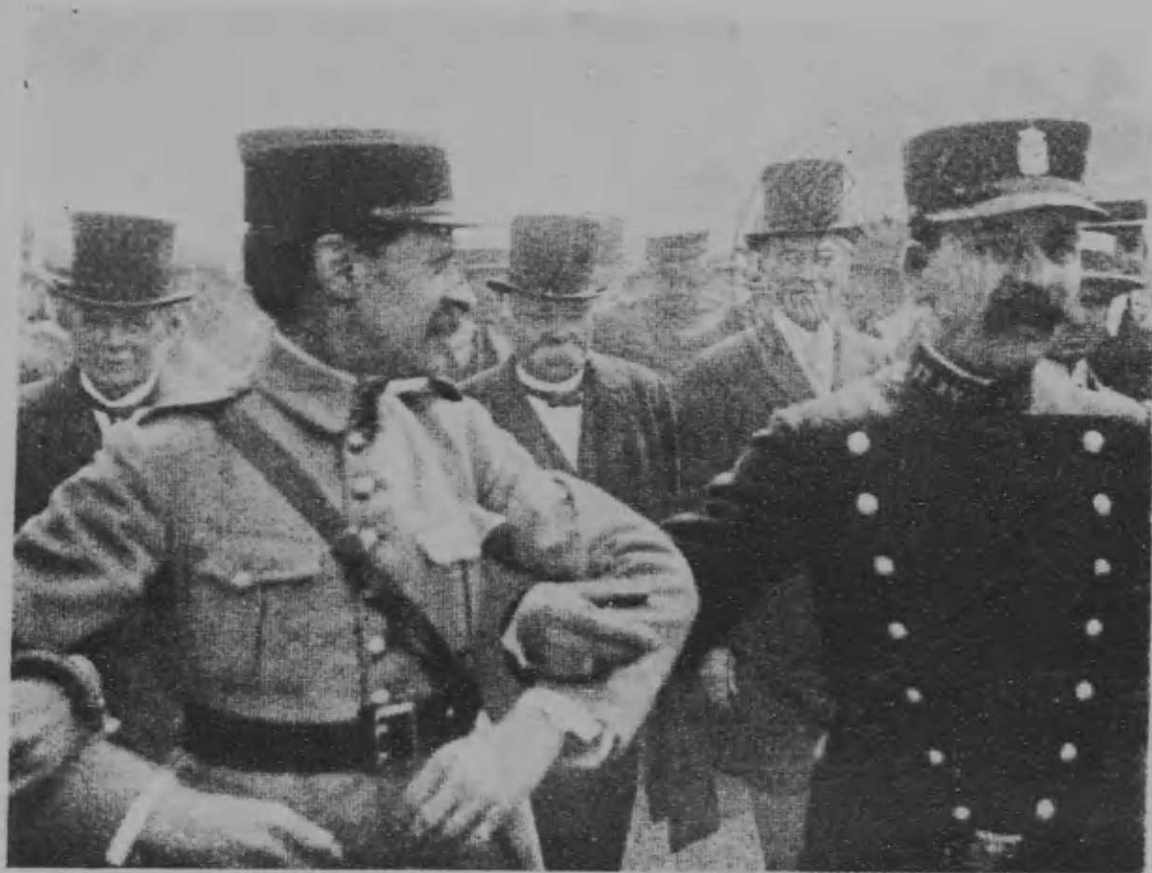
と申したりとか、夫れ利害關係の多少によりて注意の程度に差等を生ずるは人情の免れざる所にして日本人が青島問題に緊張するも波蘭の國境問題に冷淡なるは固より當然の事なり、然れども世間には今日無關係なりとて閑却したる事が他日大影響を及ぼし來る場合往々これ有り、かゝる際に平常の調査足らず豫備知識なきの結果忽ち措置に迷ふて周章狼狽するが如きは決して賢明なりと云ふを得ず、況んや今日の日本は國際聯盟の中軸たる世界の主人公として利害相關せざる國の面倒迄も見てやらねばならぬ地位に達し居る也、現に西園寺侯の最初ホテルモリスに在るや白耳義國王は親しく駕を扞げて侯をホテルに訪問し白耳義の要求の貫徹する様盡力ありたき旨懇請

歐 米 見 聞 錄
せられたり、又同じホテルに在りし黒山國王も其首相及び外相
を侯の許に遣して其要求する所を陳述せしめたり、思ふに白耳
義と云ひ黒山國と云ひ我國とは直接何等の利害關係なきなり
然も今日の我國は從來の如く『歐羅巴の事は我の知る所に非ず』
と云ふて濟しては居られざるなり、是れ余が日本人の心胸を今
一層世界的に開拓する必要を力説する所以なり。

(千九百十九年六月初旬巴里、ホテル、コンチネンタールにて)

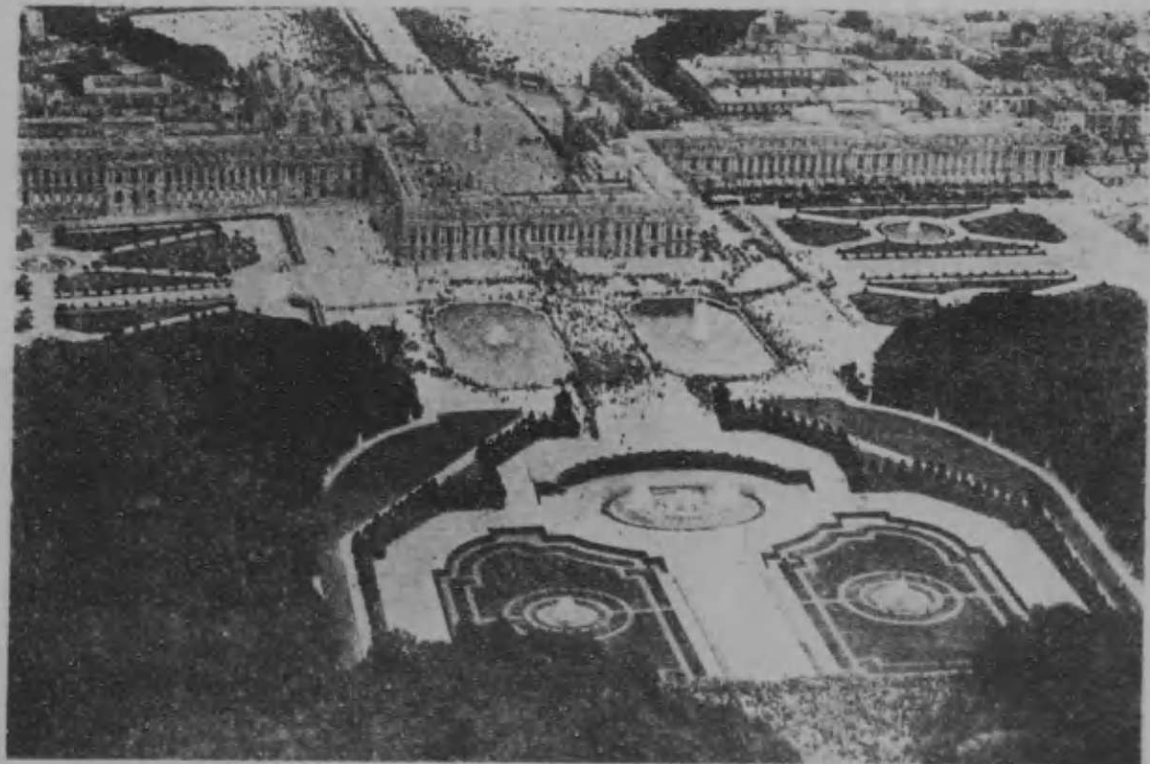
殿宮ユイサルエザの日常式印調





退 出 せ と ん す る 三 巨 頭

(向て右よりウルクソ、マレクソン、イロドヨウジウ)



飛 行 機 よ り 見 ら れ た 日 當 の エ ー サ ル ユ

五、講和條約調印式を見る

獨逸は果して調印すべきや否や。これ回答期限の切迫し來ると共に何人の唇頭にも上りし最多くの話題なりき。勿論獨逸今日の國力を以てしては假令聯合側の過酷なる條件がいかに彼國民の敵愾心を振起せしむるありとするも、再戈を執りて起つが如きは到底あり得べからざる事に屬す。然れども狡猾なる彼等が種々なる辭柄を設けて決定の延期を嘆願すると同時に一方手を廻して聯合側の内部攪亂を企つる虞ある事は、已に最近佛國都市に於ける同盟罷業の背後に獨人の影の潜めりと云ふ風説あるに徴しても知るを得べく、前途必しも樂觀を許

歐米見聞錄

歐米見聞録

さいるの状態なりしが、六月二十二日に至り獨逸に於てシヤイ
デマン内閣仆れパウエル内閣之に代るの報あるや、こゝに始め
て一道の光明を認むるに至りぬ。蓋し是より先獨逸内部の講
和に關する輿論はいかなりしかと云ふに國民自由黨はかの外務
大臣にして首席全權たりしプロックドルフ、ランツァウ伯の強硬
なる意見に動かされて最猛烈に調印拒絶を主張し、首相シヤイ
デマン氏も亦之に傾きつゝありしに反し、社會黨中央黨の多數
は此場合調印を以て止むを得ずとするに一致せるものゝ如く、
而してエルツベルゲル、ノスケの兩氏は此派を代表する錚々た
る者なりしが、今や此兩氏を閣僚とするパウエル内閣の出現せ
るを以て見れば、是れ疑もなく調印に對する前提と解するを得

べければなり。然れども彼等は諦め早き日本人とは大に異れり。結局は調印と云ふ事に決心の臍を堅めしにせよ、尙其特有の粘り強き執着性を以て最後の斷末魔迄至らざれば止まず、即ち回答の前日なる二十二日にはパウエル氏の名を以てクレマソンソー氏に對し(責任者糺彈に關する條項を保留して調印せんと申出で)最早一切條件を附すること罷り成らぬと刎ね付けられしにも尙懲りず、回答當日の朝に至りては更に二日間の回答期限延長を申込み、これ亦拒絶せらるゝなご日本式に云へば往生際の惡き事話にならざるなり。

回答期限なる六月二十三日午後七時に先立つ正に二時間、余はバツサノ街なる西園寺侯の事務所にありしが、慌しきベルの

講和條約調印式を見る

歐米見聞録

音に轟く胸を抑へつゝ、電話口に出づれば先方の聲は牧野男の秘書吉田君なり、曰く只今獨逸は無條件にて調印に決せる旨通知來れり、早速侯爵に傳達を願ふと。余は直に階上に走り行きて侯に之を報ずれば、侯も亦甚満足の態なり。夫より余は自動車を走らせて我講和事務所なるホテルブリストルに急ぎしが恰もシャンゼリゼー大通の中程迄來りし頃、先づセーヌの向岸の方に當りて平和克復を壽ぐ祝砲の第一聲は放たれやがて是を合圖に市の内外各方面より一齊に打ち出す砲聲、耳を聳せむかと思はれたり。ブリストルに來りて全權會議室に入れば、已に新聞記者諸君室も狭しと許りに入り込みて珍田大使を圍み盛んに祝辭を浴せ居たり。先程より最高會議に列して回答を

歌 米 見 聞 録

待ち居たる牧野男も程なく歸り來れり。男は御芽出度うの祝辭を浴びながら、只今の會議に於て回答の來るやクレマンソー氏の喜悅は何物にも譬へ様なく、ウキルソン氏等がまだ早からむと云ふを聞きもあへず早速祝砲を打つべく命令せりなど語らる。ク氏としてはげにさもありなむ、やがて三鞭は運ばれたり。一同盃を舉げて萬歳を叫ぶ。時事の龜井君發議して曰く是よりシャンゼリゼーなる萬國記者俱樂部に至り更に大に飲まむと。乃ち龜井、大西(時事)土屋(朝日)添田(報知)諸君の外、林毅陸氏、小山完吾氏、小村俊三郎氏及松岡書記官以下新聞課の面々大舉して同俱樂部に至り盛に三鞭を抜き、萬歳を唱へ、或は演說迄やると云ふ陽氣に、並み居る外人連も呆氣に取られて茫然たり。

龜井君更に又發議して曰くこれよりクレマンソー氏の邸を訪
 問し祝意を表さむと。乃ち一同自動車數臺を連ねて夕氏の邸
 に至る。邸はフランクリン街にあり見すばらしき其構えこれ
 が一國大宰相の家とは一寸受取れず、只時節柄警衛巡查の物々
 しく警戒し居るにより漸くそれと領かるゝのみ、我々の大擧し
 て押掛くるや巡查共は大に驚き怪しめる態なりしが、やがて祝
 意の外他意なきものと解り始めて安心せる様なりき。其内に
 秘書役某氏玄關に出で來りたれば林氏一同を代表し、得意の佛
 蘭西語にて祝辭を述べ終りて一同萬歳を叫ぶ。此時隣近所の
 女子供等には何事の起りしぞと駈け出し來れるも笑止なりき。
 其夜の巴里は早や歡喜を通り越して狂亂に近き状態なりき。

歌 米 見 聞 録

グランプルバードの大通の如きは満街只人と旗とを以て埋まり、身動きもならぬ其間を英佛米等の諸兵手にくく旗を振り、軍歌を高唱して練り歩けば、群集も亦之に和して歡呼の聲を揚ぐ。或は喇叭を吹くものあり、相擁して躍るものあり、男子にして女装せるものあり、婦人にして軍装せるものあり、偶自動車にて道を横切るものあらば彌次馬連いかで見逃すべき、忽ち車體を取り圍みて前後より之を搖がすにぞ運轉手も乗客も車中にありてコロリくと翻弄せらる、やがて一人は逸早く自動車の屋根に上り、一人は鬨を排して中なる婦人に接吻す、かゝる狂態痴態の限りを盡せる其中にありて余の深く感せし事一あり、そは戦争の犠牲となる憐れむべき負傷兵等が此日の喜を共に頷つべ

講和條約調印式を見る

歐米見聞錄

く、其不自由なる體軀を傷者車に横へ乍ら旗を振りつゝ、喝采し居たる事なり。彌次馬連も此人々には惡戯をせず、道を譲りて敬意を表する様、狂呆の間にも流石に奥床しき所あり。

扱調印は最初二十五日と云ふ噂ありしも、獨逸に於てランツアウ伯辭任に付後任全權の人選に手間取りし爲遷延日を重ねしが、二十六日に至り新外相たるミュラー氏此屈辱の役目を承る事に決定せる旨の通知ありしを以て此歴史的大盛儀は愈二十八日午後三時よりヴェルサイユ宮鏡の間に舉行せらるゝ事となれり。鏡の間は申す迄もなく千八百七十一年正月普佛戰役の後に普王ウキルヘルムが即位式を行へる所なり。當時セダンにナポレオンを降しチエールをして巴里城下の盟をなさし

めたるウキルヘルムが此室に於て始めて獨逸皇帝の帝冠を載
 き、聯邦帝國の成立を宣したりし時の得意はいかなりしぞ。即
 ち鏡の間は佛蘭西にとりては憤恨遣る瀨なき屈辱の記念なる
 と共に獨逸に取りては赫々たる戦勝の光榮を誇るべき場所た
 りし也、然るに爾來僅五十年を隔て、こゝに榮辱全く其地位を
 顛倒し、獨逸は今やその自ら呱呱の聲を揚げし誕生の場所に於
 て破滅の宣告を受けざる可らざる運命となれるなり。然して
 此度の調印は其場所に於て此の如き因縁あるのみならず、其日
 に於ても亦偶然かの奥國皇太子遭難の日と契合するに至りし
 は奇と謂ふべし。即ち千九百十四年六月二十八日に於けるサ
 ラエボ一の凶變が端なくも導火線となりて捲き起したる歐洲

講和條約調印式を見る

の風雲は、夫より滿五年後の同月同日を以て爰に終結を告げんとする也。

歐、米、見、聞、録

二十八日朝來暖烟軽く揚りて曉風夾かなり、市街は各國の旗を以て美々しく飾られ、ビラフランセーを唱へて旗を振りつゝ幾組となき行列市中を練り歩き、自動車の如きも亦裝を凝らしたり、噫過去五年の間砲彈の音に、敵機の襲來に心膽を寒からしめし事幾度ぞ。今や乾坤一轉して祥雲瑞氣巴里の空を包むを見る。巴里人の今日の喜や實に想察するに餘ありと云ふべし。午後二時松岡書記官新聞課の諸君と共に自動車にてホテルブリュッセルを出でヴェルサイユに向ふ。凱旋門よりボア、ド、ブローニユを経てヴェルサイユに通ずるの道は自動車の行

列幾千臺となく打續き、各國全權を見むとて沿道垣をなせる群集は盛に旗を振り、手を拍ちて送迎す、我々の通過するやジャポネーバンザイを唱ふるものも數多かりしが、流石は職掌柄プロバガンダに拔目なき新聞課の諸君の事とて、かゝる際には兼て用意に持來せる日の丸の小旗を群集の中に投げ與へ大喝采を博したり。

ヴェルサイユ宮附近の此日の混雜は名狀すべからざるものありしが、宮殿正門前の大通は一切通行を禁じ、清掃せられたれば一點の塵をも止めず、華麗の服裝せる共和衛兵兩側に整列し、其燦然として日光に輝ける銀色の兜と、白き鹿革の袴下と黒く光れる長靴とは何れも莊重なる此日の儀式と相應しき光景を

講和條約調印式を見る

歐米見聞録

呈したり。是等衛兵の最敬禮をなせる間を意氣揚々として正面の玄関に乗り着くるものは全權諸公のみにして、我々は正門の手前より右に折れ獨逸全權の宿泊せるホテルの隣なる裏門に至りて車を捨て、宮殿の裏口より人波に押されつゝ階上なる鏡の間へと入りし也。時に午後三時、各國全權は皆已に入場し居り、其他に招待を受けし人々及新聞記者等所狭しと許りに詰込みて、さしにも廣き鏡の間も肩々相摩して立錐の餘地なき有様なりしが、流石に今日は近世歴史の最光輝ある瞬間を前に控ゆる事とて咳一つ聞えず、滿場静まり返れるに、余も亦肅然として襟を正しうせざるを得ざりき。見渡せば庭園に面して置かれたる長き卓子の中央にはクレマンソー氏例の如く椅子に深

く腰を下ろして坐し、其向つて左にはウキルソン大統領を始めとして米國委員、次に伊太利委員、次に白耳義委員あり、又ク氏の向つて右にはロイドジョウシ氏を始として英本國委員、次に英植民地委員、次に我日本の委員の順にて居並びたり、何れも黒のフロツクコート姿にて華麗眼を聳てしむるものは一點も場内に見當らざりき。更に眼を轉じて窓外を望めば正面噴水地の周圍には共和衛兵圓陣をなして整列し、其背後には特に今日庭園迄入るを許されし幾千の人々堵の如く並びて調印の了るを今や遅しと待ち構へつゝあり。

午後三時を過ぐる五分、向側の扉は開かれて滿場の視線一時に其方に注がるゝと見る間に、幾多の佛國將校に見守られつゝ

講和條約調印式を見る

歐 米 見 聞 録

二名の獨逸全權は愈入場し來れり。先なるは新外相ミユラー氏にして後に續けるはベル氏なり、何れもフロツクコートを着し稍俯向き加減に極めて物靜なる態を粧ひつ日本委員の隣なる定め席に着けり、爰に於てクレマンソー氏は始めて立ちて、先づ獨逸より調印をなすべき旨を告ぐ。從來の例によれば條約調印の順序は戰勝國を以て先とし、戰敗國を以て後とす。然るに此度は此慣例を破り其順序を顛倒せり。蓋し最近スカパの事件に於て之を見るも近來獨逸が稍自暴自棄となり居れるは明白なる事實なれば、今日も如何なる意想外の行動に出づるや圖り難しとの懸念に出でたるならむ。扱條約の正文はクレマンソー氏の座席の直前なる卓子の上に置かれたり。乃ち獨

逸全權等は靜に起ち上り案内せらるゝ儘に其卓子の前迄歩を運べり。彼等は平靜にして殆何等の苦痛を感ぜざる如く淡々乎たる態度を以て前に屈みつゝ代るゝ署名したり。其間僅に二三分を費せしのみ。嗚呼幾百萬の人命と幾千億の財貨とを犠牲として漸く得たる最後の結果はかくの如く迅速にして簡單なるものなりき。獨逸の運命はかくして定まり了んぬ。見よ悄悄として自席に歸り行く二人の黒き姿の淋しくも憐なるを。これをかの五十年の昔同じ此大廣間に於てウキルヘルム老帝がビスマルク、モルトケを始め雲の如き賢臣名將に圍まれつゝ威風堂々として四邊を壓倒したりし當時と對比し來る。何人か心中無限の感慨に打たれざるを得んや。獨逸全權の座

歐米見聞録

に復するや、ウキルソン氏先づ座を立ち續いて四名の米國全權
之に従ひ、同じ卓子に至りて署名の上復席せり。次にはロイド
ジョージ氏を先登として英本國委員、次に英植民地委員、次に佛
國委員、次に伊太利委員、次に日本委員の順序にて、各一團づゝ代
るゝ其卓子迄行き、署名し、かくして最後のウルグワイ委員
に至る迄時を費す四十三分なり。而して調印したる國々は山
東問題に關する要求の容れられざりしを理由として調印せざ
るに決したる支那を除き、凡て二十六個國なりき。

調印の凡て了りしは午後三時四十九分なり。クレマンソー
氏乃ち立ちて莊重にしかも單簡に平和は今や成れりと告ぐ。

此の時大庭園の噴水は一齋に迸り出で般々たる百一發の祝砲

は宮殿の内外に蝟集せる幾十萬の人々の歡呼の聲と相應じて
新なる世界の出現を祝しぬ。(大尾)

歌 采 見 聞 録

講和條約調印式を見る

六、巴里見聞

歐米見聞錄

○
巴里は世界の遊覽地として各國民の常に蝟集する所なれば
元來コスモポリタン也、況んや昨今の如く講和會議の開かれて
世界各國の代表者及其一行の此地に在るのみならず戰地より
歸還の途にある英米の諸兵數十萬人入り込み居れるに於て殊
に然りとせざるべからず、即ち巴里は佛蘭西の巴里と言はむよ
りは寧ろ世界の巴里なり、故に巴里によりて佛蘭西を知り佛蘭
西人を知らむとするは甚困難の事なり、夫れ巴里が西歐文華の
中心にして世界流行の淵源なる事は申す迄もなき所、人が巴里

の名を聞くや直にかの濃艶なる美人と芳烈なる三鞭酒と華麗なる衣裳とを聯想する誠に道理なり、然れども是を以て佛國の全般を推し佛國民を以て輕佻浮薄なる虚榮の權化なりとなすものあらば誤是より甚しきは無き也。

世に佛蘭西人程勤儉貯蓄の念に富める國民はなし、かの巴里流行界の先驅となりて豪華を極めつゝあるものは大部分外國人にして佛人は甚稀なり、余は此頃毎夕凱旋門より公園に通ずるアベニュード、ボアを散歩す、坦々たる大道の兩側には一面青毛氈を敷きたらむ様なる芝生を植ゑ、蒼鬱たる綠樹の其上を蔽へる背後には或は宏莊なる或は瀟洒なる幾多の大小邸宅薨を列ねたり、此邊は巴里市中にても最贅澤の場所にして是等の家

歐米見聞錄

の持主は何れも千萬長者なるが其多くは佛人に非ざるなり、余は此地到着以來ホテル住居をなし居る爲親しく佛人の家庭生活に立ち入りて觀察する機會無きも或中流の家に下宿せる人の話によれば彼等の質素なるは寧ろ吝嗇に近き程度にして食物の如き頗る粗末なるのみならず其家の娘は帽子等も決して他にて求めず只材料丈買ひ來りて自ら製作するなりと云ふ、余は佛國の眼に見えざる一種の強味と底力とがかゝる些末の一家事の中にも看取せらるゝを思ふ、かの爛熟の國なり頽敗の國なりと言はれし佛蘭西がカイゼルの一撃に脆くも潰えむと思ひの外次第に大勢を挽回して遂に最後の勝利を得るに至りし力の源泉を尋ねれば實にかゝる節儉質素の風と國民的傳來の

愛國心とに歸するを得べき也。

然れども節儉質素の風と云ひ愛國心と云ふが如きは要するに消極的の力なり、新時代に雄飛するの國民としては更に活潑々地なる積極的進取的氣象を具有するを必要條件とす。然るに佛人は勤儉貯蓄して産を治め依つて以て莫大の富を積むに至るも其富を以て事業を起し自ら是が經營に當らむとするが如き積極的の企業心に乏し、アングロサクソン人は事業其物を以て一種の快樂と心得、活世界に處して自らの地歩を開拓するに力むるも佛人は即ち然らず、自己の富を他國人の經營する事業に投下するのみにして己れは其利子に寄生せむとするが如き隱居式殿様式特性を具ふ、これ過去に於て佛國をして世界の資

歐米見聞錄

歐米見聞錄

本國たらしめし所以なれど資本萬能の時代漸く過ぎて甚大なる變革の近づきつゝあるを想はしむる戦後の新形勢に處するに當りては如斯は最不適當なる特性と云ふを得べし、所詮佛人の有する消極的の力は偶今次の戦争を機會に赫々たる光輝を放ちて次第に傾きつゝありし佛國の命運を既倒に回すの功ありしと雖其國民性にして更に大に積極的色彩を帶び來らざる限り佛國の將來は再び頽敗の途を辿るの外なかるべし。

○

今日佛國當局者の最頭を悩まし居る問題は他の諸國に於けると同じく矢張り労働問題なるべし、それ労働問題が戦後の全世界を通じて狂瀾怒濤を起し人類社會の組織に根本的一大變

歐 米 見 聞 錄

革を促さむとする勢ある事は何人も看取する所なり、蓋し過去四年の大戦に於ける労働の最急迫なる需要は労働價値の認識となり随つて労働者の自尊心を増長せしむるに至りし事止むを得ざるの大勢なり、思ふに今次戦争の歴史は英雄武將の名によりて後世に傳へらるべしと雖勝利の月桂冠は一ジョツフル一フオツシユの頭上にのみ捧げらるべきものに非ずして幾百萬の無名の英雄も亦共に其光榮と功勳とを頌たれざる可らず、然して是等無名の英雄は大部分労働階級の出身なるを思へば彼等が過去四年間の辛苦艱難の報償として今其地位の向上を迫るは誠に當然の事理と云ふべく政府當局にして若し彼等に臨むに高壓的態度を以てするあらむかいはなる不祥事を醸成

歐米見聞錄

し來るや實に測り知る可らざる也、英國に於ては本年二月坑夫
 のストライキありて以來勞働不安の聲國內に高くして人心恟
 々たりと云ふ、然るにサンヂカリズムの本場なる佛國に於ては
 却つて事態靜穩にして只今の所何等不穩の兆候として認むべ
 きものこれ無し、これ一には政府當局が禍を未發に防がんが爲百
 方手段を講じつゝあるに由る也、例之兩三日前當市に於て凱旋
 大行列施行せられ空前の壯觀を呈したりしが其行列の通路に
 當りしシャンゼリゼーの大通の兩側には特殊階級の人々に行
 列觀覽の便を供すべく約半月程前より立派なる棧敷設けられ
 たり、然るに此棧敷は愈明日行列があると云ふ其前日の朝に至
 りて俄に毀たれ始めたり、余は不審に堪へず、いかなる譯かと或

人に尋ねしに實は勞働者側より、ポツポツ不平の聲の起り來りしより當局は大統領外交官席以外の凡ての棧敷を毀ち去る事に決したる也と、余は之を聞きて佛蘭西政治家の賢明なるに深く推服せり、日本にては政府の威信杯云ふ事に拘泥し一旦やりかけし事は是が非でも押し通す風習あれど此國の政府は人心の動きつゝある機微を洞察しこれはいかぬと見れば未練氣もなく綺麗にサツト退却する也。

歐 米 見 聞 錄
佛國に於ける社會狀態の案外に靜穩なるは一面右述ぶる如く政府當局の周到なる用意を怠らざるに本くと雖吾人は又是を以て佛國人心最近の歸向如何を卜するを得べし、蓋し歐洲大戰の慘禍が國民的團結の必要を痛感せしめたる事佛國に於け

歐 米 見 聞 錄

るより深刻なるはなけむ、今や戦雲漸く收まりて平和の曙光天の一角より洩れ來れりと雖人類は未だ國家的割據の時代を経過せずして戦後に於ける國民的競争は益激甚の度を加へんとしつゝあるのみならずライン彼岸の民族が臥薪嘗膽して捲土重來を夢みつゝあるの情勢に想到せば佛國民たるもの焉んぞ晏如として太平を謳歌するを得むや、クレマンソー首相が「何物よりも先づ佛蘭西の主義を高唱しつゝあるは現在に於ける佛國民が衷心の叫を代表するものなるべし、彼等に取りての刻下の緊急問題は如何にして國內に於ける分配を匡正すべきかに在らずして如何にして一國の生産を増加すべきかに存す、是れ此國に於て勞働問題の案外に靜穩なる所以たらずんばあら

す。

余は此地に來りて始めて勞働なるものが近代生活に於いて
いかに重大なる要素をなせるかを最痛切に實驗したり、即ち去
る五月一日當市に於て勞働者全部の同盟罷工あり、これは勞働
の威力のいかに偉大なるかを示す爲の一種の示威運動にして
何等直接の目的あるに非ず、極めて靜肅にして穩當なるものな
りしが當日は電車自動車等一切の交通機關は凡て停止し平常
は車馬絡繹して喧囂を極むる街上も寂として人影甚稀に、料理
店は皆閉されホテルの食堂も亦開かれず、余等は前夜より用意
せしパンと水と少量の冷肉とによりて僅に一日の飢を凌ぎた
り、余は實に此時程不便と苦痛と一種の寂莫とを感じたる事な

歐米見聞錄

歐米見聞錄

く恰も太古の世界に歸りし如き心地せり、勞働者は如斯恐るべき有力なる武器を擁して一步一步其地歩を開拓しつゝある也。

○

昨今巴里の物價は頗高くして遙に紐育を凌駕し居れりと言ふ、總じて巴里には二種の相場あり、余等の宿泊せる此近所はホテル街とも言ふべき處なればいかなる物品も所謂外國人相場にして甚高價なり、リュード、ラペイと稱する街などは兩側に裝飾品店軒を並べ好尙家の垂涎措かざる處なるが其價格は何れも法外なり、料理の如きも此邊は流石に美味なれど余はポアザンと云ふ家にて梨子一個十法を取られ一食の支拂百法を超過して一驚を喫したる事あり、然るにセーヌ河を渡りて羅甸街と

稱する方面に至れば物品の品質は前記の場所に於けると多少の相違あらむも値段は遙に低くして約半値なり、余等は遠くに出づるも面倒なりとて常にホテル近傍にて用を足し所謂外人相場に馴れたる爲か時偶羅甸街にて買物をなす時は其餘りに低廉なるに驚く事あり、然れども能く考へて見ればそれすら日本に比して決して廉には非ざる也、かゝる物價の騰貴の爲に最苦しみつゝあるものは中産階級なるべし、労働階級は前にも記せる如く決して現狀に満足するものに非ざるや勿論なりと雖彼等には團結の強味あり同盟罷工の武器あり着々として其地位を向上せしめ得るなり、中産階級に至りては眞に孤立無援なり、労働者は着のみ着の儘にても事済む氣樂の身分なり、然るに

歐米見聞錄

中産階級は少くも紳士として外形上體面を保たざる可らざる
丈内面に於て火の車を廻す實狀にあるなり、街頭の花賣女或紳
士に一枝の花を奨む、幾何なりやとの間に對し五法なりと答へ
しに其紳士は眼を圓くしてこれ憐むべき我々ブルジョアの相
場に非ず去つて勞働者に之を賣れと云ひしと云ふ話は必しも
假構の談に非ざるべし、中産階級の滅亡は社會主義者の予想し
希望する如く此國に於ても最早眼前に迫れる事實なり。

○

是を佛國通に聞くに佛人の生活と思想とは近年殊に戦争以
來甚深なる變化を蒙りつゝありと云ふ、抑も佛蘭西は政體の上
に於てこそ共和政治を採用するも實質は貴族の國なり、コムベ

ンシヨナリズムの國なり、故に宗教の勢力と門閥の觀念とは特に根強き基礎を國民生活の上に有したりき、即ちカソリック教が從來佛國の上中流の家庭を支配し來りし勢力は遠く吾人が想像の上に出でカソリックと分離しては到底佛人の生活と思想とを了解し得られざる程にして其峻嚴なる法規は實に彼等が日常動作の末迄も束縛し居たる也、然るに此のカソリックの勢力も近來大に動搖をなし始めたり、勿論今日と雖表面上祈禱を捧げ教會に赴くの習慣は毫も従前と異なるを見ざれど其宗教に對する一般の考は著しく冷却し來りしものゝ如し、二三の僧侶に就き是を質せしに彼等は何れも戦争が宗教的敬虔の念を増さしめたる旨を力説せり、なる程一面より見ればかゝる傾向

歐米見聞錄

も認め得らるゝならむが大體に於ては反對の方向に向ひて進みつゝある事否定す可らざるに似たり、更に門閥の觀念は如何と云ふに佛國に於ては貴族の特權夙に廢せられたりと雖稱號丈は是を用ゆる事を許され居り公侯伯の存在しつゝあるは勿論姓名の始に *de* を附せる者數多あり、こは獨逸の *von* と同じく貴族の稱號にして日本の士族に比すべきものならむが是等の家に生れし女子は普通士民と結婚するを得ず婿は矢張り貴族の中より選擇せざる可らずとせられ随つて其範圍極めて狭きが故に遂に良縁を得ずして青春の齡を過ごすことあり、かゝる場合には何れも尼となりしと云ふ、然るに此風習も近來は漸く弛み金さへあれば平民でも宜しと云ふ事になり米國人等に嫁

するもの甚多きに至れり。

是を社會風俗の上より觀て最目立てる變化は婦人の服裝の上
上に認むるを得べし、以前婦人は何れも裳を長く曳きしもの
て脚を出す事は(無論靴下を履きたる)決して無く是を露はせば
男子の劣情を挑發すと稱せられたり、故に好事の人々は雨降る
日横町の人目に立たざる所にて婦人が泥濘を避くる爲裳をか
かげて歩くを窓より覗きて恐悦がりしものなりとか、然るに今
の婦人は老人か田舎出の娘に非ざる限り皆脚を露はし居れり、
甚しきは膝より以下を凡て出して輕業師の如き服裝をなし居
るものあれど人之を怪まず、更に最近に至りては流行の本源と
言はるゝロンシャンの競馬にて靴下さへ履かざる婦人を見る

歐 米 見 聞 錄

巴里見聞

に至れり、風俗の變遷と是に對する社會心理の變化とは實に驚くべきものありと云ふべし。

○

歐米見聞錄

巴里の昨今は急速度を以て平時状態に歸りつゝあり、最初當地に來りし時は街上は殆兵士を以て充たさるゝの觀ありしが、近來はカーキ服も俄に少くなれり、又到着當時極めて不足を告げたるタキシードが運轉手の戰地より歸り來ると共に次第に其數を増し今日は何處も自動車の往來頗頻繁となり來れり、カフェーの如きも最初は九時半にて閉店せしかば余等は屢閉め出しを喰ひ閉口したれどやがて其制限は十時半となり最近には十一時半迄延長せらるゝに至れり、思ふに徹宵痛飲して狂態

痴態の限を盡す歡樂の巴里に復歸する事も遠きに非ざるべし、只昨今も依然として欠乏を告げつゝあるは砂糖にして珈琲等飲用の際にはサツカリンを以て之に代へつゝあり。

米國兵は此頃こそ大分數も少くなりたれ一時は盛に巴里を荒らし廻りし者にて彼等は一兵卒と雖日本の將校等よりは多額の給料を受くるが故に金遣も随つて荒くして湯水の如く是を酒と女とに注ぎ込むなり、聞く所によれば米國兵の佛人と結婚して本國に歸り行く者七萬人、其内過半は淫賣婦なりと云ふ、亦以て彼等が發展の程を察知し得べし、然れども彼等の亂暴には佛人何れも閉口し居れり、例之本年二月マキシムなる一料理店に於て一時に二名の死者を出せる椿事出來せり、即ち或佛國

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞錄

將校の婦人を伴ふて飲食し居たりし處に一米國兵入り來り其婦人に對し怪しからぬ舉動に及びしより佛國將校は其無禮を咎めしに件の米兵は直に拳銃を取り出して右將校を一撃の下に射殺せり、爰に於て滿坐總立ちとなり大混亂を呈せしが傍より其有様を見てありし一佛國將校は忿怒の情に堪えずやありけむ、同僚の仇思ひ知れど斗りに是亦拳銃を取り出して其米兵を仆したりと云ふ、爾來此料理店は久しく閉店し居たりしが最近漸く開店するに至れり、かゝる亂暴狼籍は極端なる一例なれど要するに米國兵の粗野不作法なるは事實にして或佛人の如き巴里の風俗を俗惡化するものはヤンキーなりとて憤慨しつゝあり、所謂リファインメントを毫も有せざる彼等が文明爛熟

の都巴里に於て眉を蹙めらるゝは當然の事にして恰も木曾義仲が飛驒の荒武者を引連れて京都に攻入り優雅なる大宮人に嫌はれしと好一對なるべし、然れども一面より見れば是れ彼等の頼母しき所也、彼等は身装等には少しも頓着せず人を人とも思はずに大道を濶歩しつゝあり、余は彼等の所謂リファインメントを有せざる所に彼等の偉大なる將來が横はりつゝあるを信せざるを得ず、又米國の自動車は巴里市中文にても實に數千臺の多きに上るべく何れも米國兵によりて操縦せられ去五月一日巴里市全労働者の同盟罷業ありし際の如き電車は動かす自動車も凡て影を潜めし時に獨り米國の自動車のみは悠々として街道を疾驅し居たりき、其他講和事務の爲に大小幾つとな

歐米見聞錄

きホテルを全部借り切り百有余の病院を建て無数の専用電話を架設する等大仕掛なる米國式は市中隨處に是を見出し得べく此點にかけては英と云ひ佛と云ひ到底足下にも及ばざるなり。

○

講和會議は今も尙セーヌ河畔なる佛國外務省に於て開かれつゝあり、但しウキルソン大統領を始め重立ちたる各國全權は已に本國に引揚げ我西園寺侯も亦來十七日を以て巴里を出發せらるゝ豫定なれば昨今の會議には先月先々月頃に於けるが如き精彩ある場面を見るを得ざるは勿論也、願れば本年一月十八日開會の幕を切つて落してより僅に半歳の間に於て四ヶ年に亘れる前古未曾有の大戦の後仕末を畧附け得たるはとも角

も人類史上に偉大なる功績として永く記念せらるべき事ならむ。

扱此度の會議は日本等では之をヴェルサイユの會議と稱し居る様なれど會議中ヴェルサイユの宮殿を開きしは條約調印の時丈にして平常會議は凡て外務省にて行はれたるなり、又今回の會議は其本質より言へば對獨逸塊太利の講和會議にして獨逸側に交渉して講和條約を締結するものなれど聯合側にては敵國側に對し一切討議を許さざる事となしたるが故に双方の代表者の顔を合せたるは只條約手交の日と條約調印の日との二日に限られ随つて會議は對敵交渉談判たる本來の面目を離れて聯合側諸國の利害折衝を目的とする内輪の相談と云ふ

歐米見聞錄

事を本體とするに至れり、然して其内輪の相談には聯合側の凡ての國が參加したるには非ずして之に與かりしは實は五大國のみなりしなり、勿論聯合側諸國の凡ての代表者が一堂の下に會して協議せる機會は絶無には非ざりき、總會の場合即是也然れども此總會はホンの形式的のものにして一月以來僅に五回しか開かれず條約の骨子に至りては全く五大國の委員の手によりて成就されたるもの也。

委員會には國際聯盟委員會、國際勞働委員會、損害賠償委員會、河川港灣鐵道委員會等あり何れも五大國より各二名宛選出せる委員を以て成る委員會の審査に對し最後の決定を與ふるものは最高會議にして最初は五大國の首相外相都合十人を以て

組織されたるが故に十人會議の名あり、然してウキルソン大統領は米國首相西園寺侯は我國首相牧野男は我國外相の格を以て之に列なりしが三月末に至り此會議は事務の進捗を圖るの故を以て五大國首相のみの會議と變じ我國よりは西園寺侯牧野男交之に出席せり。

歐米見聞錄
我講和事務所はホテルブリストルにしてプラス、バンドウムに面し適好の地を占め居れり、此ホテルはベデカー等にも巴里旅館の部の劈頭最上等の部に掲げ居る第一流のホテルにして珍田伊集院兩大使を始め委員の重なる人々は大抵此處に住居しパッサノ街にある西園寺侯もホテルモリスにある牧野男も毎日此ホテルの事務所に通勤せらるゝなり、かの人種問題青

歐 米 見 聞 錄
島問題が講和會議の議題となりし當時の委員諸氏の繁忙は實に眼の廻る程にして夙に起き夜半に寝ね食事すらもゆつくり取る暇なかりしかば何れも顔色憔悴を極めたり、余は夜更けてプリストルの窓より電燈の光の洩るゝを見る毎に委員諸氏が心身の勞苦を察して深甚なる感謝と同情とを禁ずる能はざりしが一般國民諸君も亦此點に就きては深く諒察あらむ事を望む。

(チウレリ宮の青葉を眺めてつ
つホテルコンチネンタルにて)

セ、ラインの旅

講和の使命恙なく終へし西園寺侯は七月十七日を以て巴里
出發歸朝の途に就かれぬ、予は侯をリオン停車場に見送りてこ
こに半歳の間行動を共にせる同侯一行に別れを告げ翌十八日
單身ヴェルダンに向ひて巴里を去れり、是れより先姉崎博士と
約し佛蘭西が此度獨逸より取戻したるアルサス、ローレン二州
に入り夫よりライン河に沿うて所謂占領地を一周せん計畫あ
り、占領地とは今度の講和に基く獨逸の條約履行を監視する爲
或年月の間聯合軍が占領したるライン左岸の地方を謂ふなり、
而して姉崎博士は佛人ナイト君(佛國政府極東課員)及プロツシ

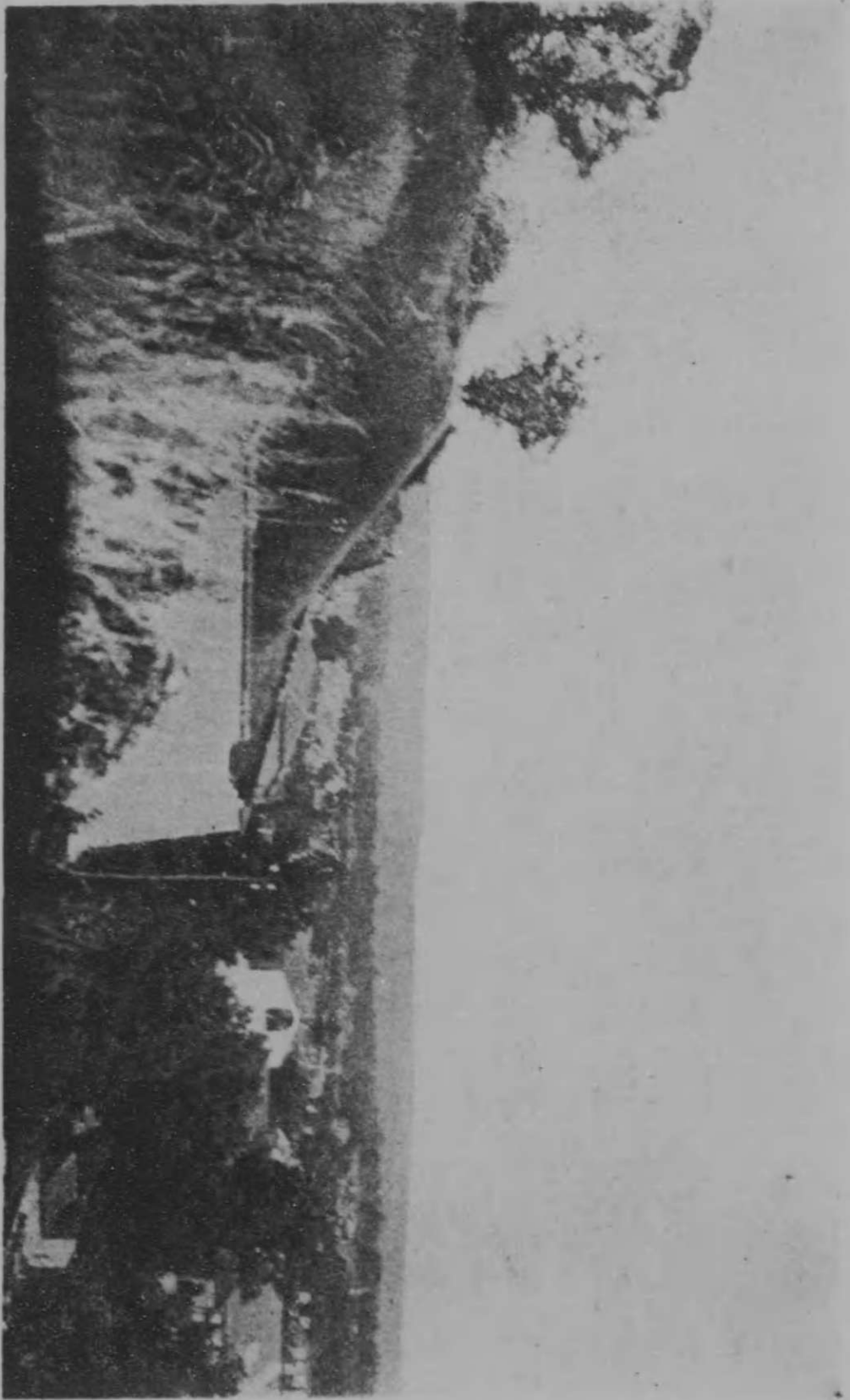
歐 米 見 聞 録

歌 米 見 聞 録

ユ少尉(我々此度の旅行に佛國政府より特に案内として附せられし人)の二君と共にヴェルダン戦跡見物の爲十七日先發したれば余は其跡を逐ひて十八日夕一行の宿舍なるヴェルダン城塞へと赴けるなり。

此城塞はルキ十四世時代の築造にかゝり四周繞らすに數十丈の石垣を以てす、而して士官兵卒等の室は皆地下にあり、煉瓦造の隧道縦横に通じ其中に板圍ゐを爲して各自の室に充つ、予の宛がはれたるも亦其一にして中に寢臺と小さき洗面臺とを備え兵卒等親切に水等運び呉る、予は此室にて一日の汗と埃とを拭ひし後同じ地下室なる食堂に出でしに姉崎氏一行の外これも戦跡見物に來りしと云ふ丁抹人の一行あり、當要塞の司

塞要ソダルエザ





令官某大佐を中に圍みて戦争談に花を咲かせ居たるが佛語なれば予には少しも解らず、大急ぎにて空腹を充たし後己れの室に歸り其夜は薄暗き電燈の下に横たはりながら壯烈を極めしヴェルダン籠城の當時を想ひ浮べつゝ、寢に就けり。

ヴェルダンの戦は今次戦争に於ける二百三高地なり、市街を瞥見するに嘗てランスに於て見たるが如き甚だしき荒廢の状を呈し居らずと雖も市街を中心として東西約四十キロ南北約二十キロの廣汎なる範圍に亘り彈丸雨の如く注ぎて山川草木悉く舊態を一變したりと云ふに至つては只々驚くの外なくペタン將軍の率ゆる佛軍が四十萬の兵を以て百萬の獨軍を支へ四年の久しき間能く堅忍自ら持して遂に此地を敵手に委せざ

りし事は世界戦争史に特筆大書せらるべき最も光輝ある功勳
たらずんばあらず。

歐米見聞録

回顧すれば紀元九世紀の頃全歐の権力を一身に集めたりし
シャルレマン大帝が其領土を三子に分割して與へたる時の條
約は實に此ヴェルダンに於て結ばれたるものにして世にヴェ
ルダン條約と稱せらるゝもの、即ち是なり、此條約は爾來千年を
隔つる今日に至る迄佛獨の間に紛争の絶えざる因をなせしも
のにして此度の戦争の如きも一面其本源を尋ねれば遠く此ヴェ
ルダン條約に迄溯るを得べし、聞く所によれば獨帝は今次の
戦争により幸にして全歐統一の夢想を實現し得たる場合には
シャルレマンの昔歐州分割を定めたる此ヴェルダンの地に於

て歐洲併合の約定をなさん下心なりしと云ふ。

翌十九日朝予等一行四人自働車を驅りてヴェルダンよりメ
ツツに向ふ、市街を出づれば浩々たる平野限りなく展開し來る、
處々に森や林はあれど枝も葉も皆砲彈に振ひ落されて残れる
は唯半焼となれる幹のみなり、幾千幾萬とも數知れぬ丈夫の草
むす屍朽ち果てたる野原には一面に色濃き罌粟の花の咲き亂
れて紅の血汐に染めなせしかと疑はる、我々は此間を疾驅する
事十數哩、沿道無數の鐵條網と塹壕とに當年龍攘虎搏の面影を
偲びつゝ、ヒンデンブルグ線を越えてエタンの村に來る、全村崩
壞して寒草茫々唯一片の斷礎を有するに過ぎず、夫より進みて
鐵の產地ブリエーを過ぐれば獨佛舊國境に達す、國境と雖も街

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞録

道に唯一軒の看守場建てるのみ、今は閉鎖せり、是より先はローレン州なり、一路直にメッツツに向つて斜に下る、遙に望めば雲煙模糊の間に帯の如きモーゼル河とメッツツ寺院の三角塔と夢の如く浮び來る、實に絶佳の風景なり。

メッツツは有名なる要塞地にして高き丘の上にあり、茫々たる平原を一眸の内に收め、脚下にはモーゼル河洋々として流れたり、モーゼルに面せる傾斜地に樹を植ゑ芝を生やして公園となす、綠樹と芳草と碧流を蔽ひて一幅の水彩畫を展げたるが如し、公園の中を大道縦横に通ず、ブルバード、ポアンカレーと云ひペニユー、ジョツフルと云ふ何れも最近附せられし名稱なるべし、處々に獨逸時代の銅像あれど多くは曳きずり下されて今は

臺のみ残れり、予等の公園を漫歩するや一老翁に會す、此翁は千八百七十年ア、ロ二州の獨領と變せし際此地を去り今又佛領となるに及び(五十年振にて)此地に歸り來れりと云ひ喜色を滿面に漂はせり、一般にローレン州は其人民の殆ど全部佛人なればアルサス州とは異り擧つて此度の佛領復歸を喜べるものゝ如し、メッツ市街は狭くして家並も小さし、唯其間に嶄然として頭角を抽んずるものはカトリック寺院なり、此寺院は有名なるストラスブルグ大寺院に比すれば規模小なれど内部外觀共に甚だ壯麗なり、此寺院にて驚きし事は周圍に多く聖者の像を安置せる其中に聖母の像と相並びて獨帝の像を据えたる事なり、いかに獨帝なりとてまさかかゝる事を強要したるにも非ざるべ

歌 米 見 聞 録

く恐らく、阿諛追従の徒の愚なる仕業なるべし、此寺院の長老の邸と云ふは中世紀の建築にして頗る古色を帯び門楣等も甚だいかめし、長老は我等を珍客なりとて喜び迎へぬ、姉崎博士は専門の上より種々質問されしが長老は同行二名の佛人を憚りてか十分に所思を述べざりしが如し、其時の話に此寺院の如きも千八百七十年前佛領當時は佛國政府より莫大なる保護を受けしも其後佛國は千九百七年に至り政教分離を行ひたれば今日再び佛領に戻りても以前の如き厚遇はなかるべく獨逸の治下にあると毫も異らざるべしと云ふ、因に獨逸は宗教に就ては各聯邦に全く干渉をなさずバハリヤの如きア、ロ二州の如きプロシヤが新教なるにも拘らず舊教を奉じ宗教上は羅馬法王に直

屬し居たる也、尙戰爭中羅馬法王は多少獨逸の肩を持ちし形跡ありと云ふが此寺院は如何と際どき質問も出でしが長老は笑つて戰爭中法王廳との交渉は全く杜絶の姿なりきと答へ辛うじて御茶を濁せり。

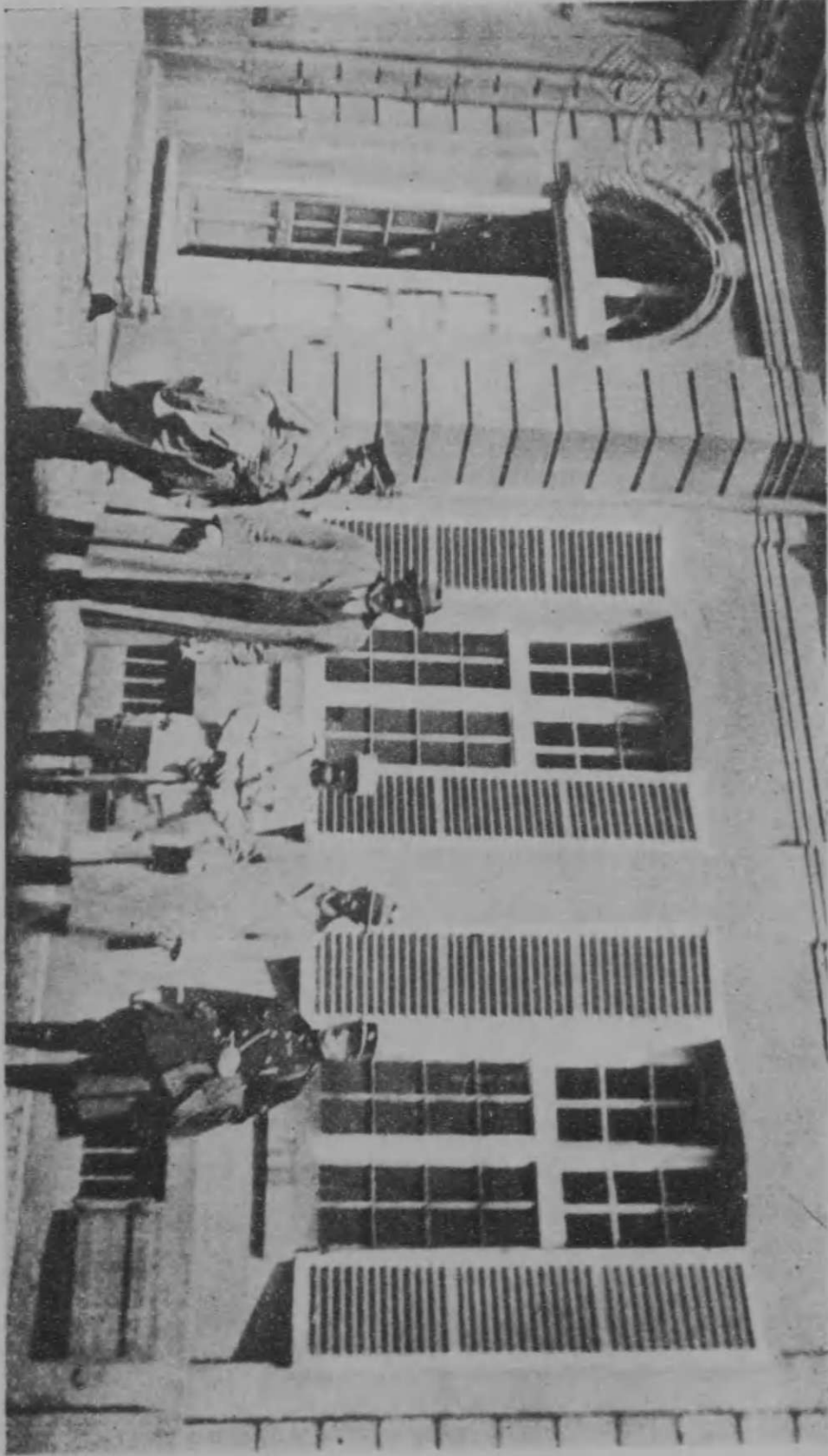
二十日午前メッツ驛より汽車にてストラスブルグに向ふ、汽車は獨逸製なり、構造のいかにも頑丈なる事獨逸式を發揮せり、其他あちこちに注意書の夥しく貼り付ける等獨逸官僚政治干渉政治の面目躍如たるを見る、途中ザーベルンを過ぐ、此地一寒村に過ぎざれどかの有名なるザーベルン事件を惹き起したる所と思へば今となりて一層興味を覺ゆ、ザーベルン事件とは獨逸軍人が此地の人民を虐待したる事件にて當時は此爲めに獨

歐米見聞録

逸全國に亘りて軍閥反對の氣勢揚り社會黨を始め議會の多數は宰相不信任を決議する迄になりしが時の宰相ペートマン、ホルウエツヒは頑として其職に止まり一方軍閥の頭目連は此氣勢を外に轉せんとして遂に此度の戦争を企らむに至りしとまで云はるゝなり、ザールンより鐵道は運河に沿うて走る、此運河は奈翁の作りしものにしてストラスブルグよりナンシーに通ず、蓋し奈翁は大陸封鎖と相呼應して大陸内部の交通運輸に資せん爲此運河及ラインよりエルベに至る運河を利用したるものなり、而して此運河は今日も尙其重要を失はず、佛國政府は更に之を改造擴張せん計畫ありと云ふ、奈翁が先見の明と組織の才とは驚嘆に値するなり。



軍將 - ロ - グ



行一の前部令司ゲルブスラトス

正午ストラスブルグに着き直に軍司令部を訪ふ、此家は昨年
 獨逸革命の際ソビエツトに占領せられ此屋根には革命の赤旗
 翻りしが昨年十一月佛軍の手に歸してよりは此處に軍司令部
 置かれ、かくてアルサス、ローレン二州に對する軍政の中心と爲
 れるなり、我々は其一室に待つこと暫時、やがて、グーロー司令官
 は出で來れり此人はランスの戦ひに雄名を轟かしたる隻腕の
 鬼將軍なり、我等を迎ふる爲特に日本の旭日章を佩用し食堂に
 導きて町重なる午餐の饗應あり、將軍の談によれば此地にある
 獨逸人は少くも表面上温順にして學校の如き凡て佛語に改め
 たれど何等反抗の色を見ずと云ふ、席上種々の日本談出でしが
 將軍は文事にも嗜みありと見え頻りにラフカチオ、ハーンを推

稱して措かざりき。

歐 米 見 聞 録

司令部を辭してストラスブルグ大學に赴く、大學前にゲーテの銅像あり、文豪は國境を超越し治亂興亡を超越するを示す、ゲーテの像と相對したる正面には舊獨帝の離宮あり、其前の石段は獨帝が全盛當時、屢群集に向ひて得意の雄辯を振ひし所なりと云ふ、ゲーテは悠然として立てり、獨帝今何くにある、夫と是とを對比し來つて又一種の興味なきを得ず、大學は此日日曜にして講義なかりしも貼出を見るに教授の多くは佛人と入れ變りしもの、如く法科の如き凡て佛語に改まり居れり、元來此大學は獨逸に於て重きをなせし大學なれば其跡を繼ぎし佛人教授諸氏は大に奮發を要するなり、佛國の大學は巴里里昂等を除き

他は殆ど言ふに足らず、此度此大學を其一に加へて教授諸氏勵精努力せば蓋し佛國學界に大なる刺戟を與ふるや必せり。

ストラスブルグの市街はメッツよりは獨逸式色彩遙に濃厚なり、街頭の看板等獨逸文字多く今其大部分は佛字に塗替中なり、何處に行きても獨逸語は通すれど同行に佛人あれば多くは先方にて遠慮して口にせず、概して當市を始めアルサス州は獨人の數佛人より多けれども其國家的觀念は甚だしく熾烈ならず、佛國に對し敵意を有せしものは己に占領以前當地を去りしものゝ如く今残れる大多數のものは善政さへ施して貰へばどちらでもよろしとせるものゝ如し、市外の公園にては此三箇月間連日連夜戰勝祝賀會催され殊に二十日は日曜の事とて非常

歐米見聞錄

の人出なりしが佛國々旗を以て飾れる大舞踏場に於ては獨人も佛人の中に混りて共に踊り居たりき。

歐米見聞録

此地の大寺院は巴里のノートルダムと併稱せらるゝものにして十世紀の頃始めて建造に着手し十五世紀に至り漸く竣工せるものなり、随つて建築様式も其間に時勢の影響を受けて次第に變化したりと覺しくロマネスクの所ありゴシックの所あり塔の高さは百四十米突にして巍然として半空に懸り世界第二の高塔と稍せらる、此寺には又有名なる時計あり、十九世紀の始め或天文学者の作製に係る、太陽、月、地球等何れも小さき圓球を以て之に現はし時計の動くと共に日月の進行を一目瞭然たらしむるのみならず宗教の年中行事迄も現れ來る、而して作者

は此時計の製作に其一生を捧げたりとの事なり。

ラインの本流は市の東約一哩の所を流るゝも河水氾濫を防ぐ爲之より數條の支流を分ち其支流は市中を貫流せり、本流に架する橋をケールブリツヂと云ひ對岸ケールに通ず、ケールは即ちバーデン領なり、此度の講和條約に於て獨逸が若し忠實に條約履行をなす場合には聯合軍は五年若くは十年を期限として占領地より撤退する旨の規定あれど特に此ケール及マインツの橋頭は十五年の期限を附せられしのみならずストラスブルグとケールとは佛國行政權によりて七年間一個の單位として統治せらるゝ事となり居れり、これ重大なる經濟上の理由存するなり、蓋しケールが從來獨逸によつて經營せられし規模は

歐米見聞録

甚大にして鐵道、船渠、工場等他日の發展をトすべきもの多々あり、且つストラスブルグと異り直接ライン河に面するが故に此地にして獨逸の領有に委せんか河川運輸による此地方の物資の集散(主として石炭、肥料)は此地に吸収せられストラスブルグに取りて恐るべき競争者となるのみならず遂にはストラスブルグの繁榮を奪ひ去る結果となるなり、茲に於て聯合側の懲獨の手は此地にも延びてかゝる規定を見るに至れり、予等は自動車にてケールの町を巡視し一獨人の家の前に車を駐めて獨逸語にて話しかけしに最初は彼等も意外に驚きて家の中に逃げ込みしが後には老母妻女等出て來りて人懐しげに我々を見守る様憫然なりき、聞けば此家の息子は俘虜となりて今英國にあ

りとか、戦争中はいかなりしかと問ひしに只辛かりしと云ふ、今は宜しからむと云へば、然りと肯きされど戦争前は尙一層よかりしと附け加へたり、傍に小さき子供の泥いちりするを指しながら此子も戦争中に生れしが今は此様に大きくなれり早く此様を父に見せたし等と云ふ、我々は慰問の言葉を遺して其處を立出で歸館したり。

二十一日終日雨にして旅館を出です、二十二日早朝ストラスブルグ發の汽車に投ずれば占領地の事とて何れの客室も佛國將校にて充滿し座席に着くを得ず、遂にマインツ迄四時間立往生の憂目を見たり、途中アルサス州と獨逸との境にして普佛戦争の折激戦ありしと云ふウキツセンブルグを過ぎ又ルーテル

歐米見聞録
が獅子吼を以て有名なるウオルムスを過ぐ、此日も亦雨なり、驛路肅條として烟霧に鎖さる、敗退の獨逸と思へば草も木も生氣を失へる感あり。

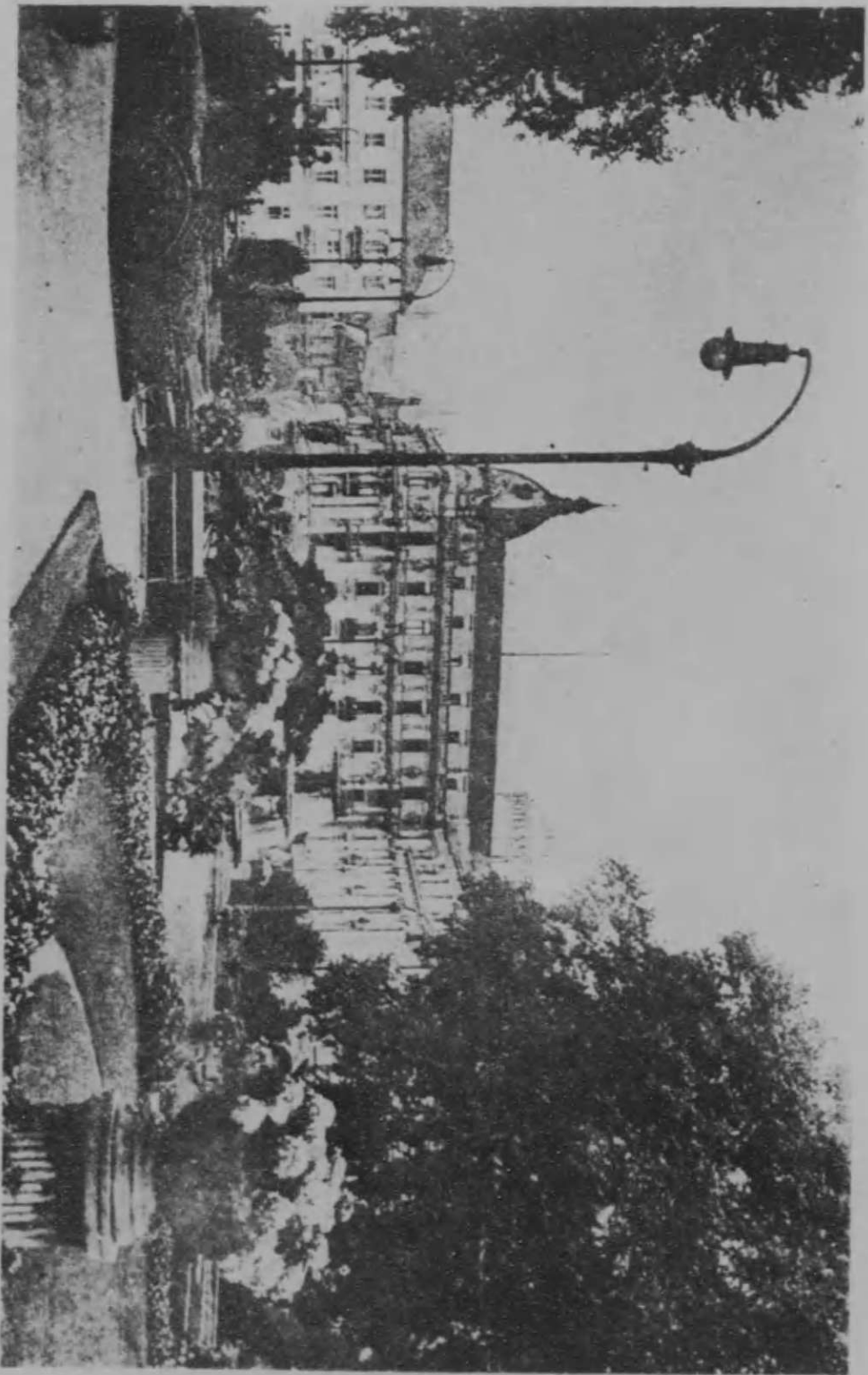
マインツに來れば最早純然たる獨逸市なれども占領地なれば佛國兵意氣揚々として大道を濶歩しつゝあり之に對し一般市民は何となく威壓を感じ居るものと見え氣勢更に揚らず、軍服を纏へる同行のプロツシュ少尉と電車に乗れば乗客は皆何か恐ろしき者でも入り來りし如き面持して尻込をなす、談話も佛人の前にては小聲になし、ごことなく遠慮の風あり、偶我々が獨逸語にて話しかける時は非常に意外の感をなしいかにも嬉し相に何やかやと戰爭中の事等物語る様痛はしかりき、彼等の

言ふ所を綜合するに戰時中最も苦しみしは食物の不足なりしが如し、ストラスブルグにては夫ほど目に立たざりしが此地に來りて明かに認めらるゝは小兒殊に十二三歳位の所が顔色青ざめ發育不充分なる事是なり、蓋し發育盛りの所を四年間も營養の不足に苦しめられしことなれば左もあるべく亦以て封鎖の如何に有效なりしかを知る可し、彼等は食物の點に就きては佛軍の占領を感謝し居れり、聞けば此地方は占領と共に食物の供給甚だ豊富となり人民蘇生の思ひをなせしも占領地以外の他の獨逸諸地方は今尙飢饉状態を脱せざる有様なりと云ふ、彼等の衣服も亦甚だ租末なり、戰時中貧民の子女は紙の衣を着せりとの噂ありしが矢張り事實なりき。

歐 米 見 聞 録

旅館料理店に於ける客の大多數は佛國將校にして給仕人は大方戦地より歸り來りしと覺しき獨逸の青年なり、昨日迄は鎬を削りて戦ひ合へる敵同士今かゝる場所に相會して双方如何なる感かあらむ、マインツにて予等を案内し呉れし佛國士官は西部戦線の各方面にて戦鬪に参加したる人なりしが其人の話に先日或芝居小屋にて隣席に除隊されし獨逸青年ありしかば段々戦争の話をする内、某月某日に於ける戦鬪に従へりと云ふに能く考へて見れば自分も亦丁度其戦鬪に参加し居たりし事を思ひ出し覺えず手を取り合ひて互の身の無事と奇遇とを喜びたりきと云ふ。

マインツの市街を一巡して後我々は汽車に投じてライン河



ウツツナルテホ



士博ンテルド領統大國和共ンイラ

を渡りウキスバーデンに赴けり、此處は占領地以外なり、ウキスバーデンは温泉地として有名なる所、千八百四十年ナツサウ公此地に居を定めてより人口亦大に増加し今は十萬を超ゆ、市街甚た清潔にして家屋輪奐の美、所謂獨逸式の粹を鐘めたりとも云ふべく予等の泊りしホテルナツサウの如きは規模の宏大にして裝飾の華麗なる事巴里一流のホテルと雖も遠く及ばず、ホテルの前は公園なり、鬱蒼たる森林を以て圍まれ中に芝生ありて紅綠様々なる美花を植ゑ又處々にウキルヘルム、シルレル等の白き大理石像を配置す、地域甚だ廣からずと雖も幽邃にして清楚なる市街と相俟ち好個の遊覽場なり。

二十三日午前ドルテン氏を訪ふ氏は所謂ライン共和國の大

歐米見聞録

統領と仰がるゝ人、現に其運動の中心として問題の人たるなり。氏の家は公園裏手の高臺にあり、此あたり幽静閑雅にして瀟洒たる別荘相並ぶ、氏の家も其中にあり門前に巡査二名徘徊し居る外、普通の家と毫も異らず、導かれて應接室に入れば日本の金屏風あり支那の彫刻ありて主人公が多趣味の人なる事を物語り居れり、やがてドルタン氏は極めて快活なる面持にて出で來り我等四人に椅子を與へたる後佛語獨語取り交せにて約一時間、に亘り將に生れんとするライン共和國に付其所信を披瀝せり、氏は打見たる所四十を餘り越えたりとも見え、緒顔無髯にして何處となく米人の型あり、議論の高潮に達するや眉を揚げ、腕を張り飽迄人を説破せずんば止まざらんとす。

抑もライン地方とはナツサウ、普領ラインランド、フアルツ、ウ
エストフアリア等の地方を云ふ、此地方は往昔羅馬人の植民地
として最も早く其文化の餘澤を蒙りし所にして他の獨逸地方
と異り特殊の種族より成り特殊の言語を用ゐ特殊の文化を有
し來りしも未だ今日迄一國を形成するに至らず、ナツサウ公國
の如き夙にプロシヤに併合せられ曾て自由市たりしフランク
フルトも同じくプロシヤ領となり其他或はババリヤに或はヘ
ッセルに併せられて支離滅裂の状態にありしなり、是等地方を各
其主治國より分離せしめたる上、共通の文化を基礎として一の
ライン國家を作らんとする企は餘程以前よりありしも之が具
體的運動となりて表れしは昨年來の獨逸革命の際にして此革

命はかゝる運動の勃興に好個の機會を與へたるものなり。

歐 米 見 聞 録
 ドルテン氏は今日各方面より種々の批評を受け毀譽褒貶相半する有様なるが其非難せらるゝ重なる點は氏が佛國の手先に使はれつゝありと云ふ事なり蓋し佛獨將來の葛藤を防ぎ佛國永遠の安全を圖るべき最大の保證は佛獨間に介在する一國家の新に建設せらるゝ事にあるが故にかゝる非難の起るは誠に當然にして或は事實佛國の裏面的活動が効を奏しつゝあるものなるやも知れず然れども氏自らは之に對して次の如く辯解せり曰く

余は飽迄獨逸人たるを誇りとす此度の計畫も獨逸より分離せんとするに非ずライイン地方に自治獨立の共和國を形成す

るも素より獨逸聯邦の一として其組成分子たるなり、只今日の伯林政府にては到底戰後獨逸の難局を引受くる力なきが故に我等の共和國自ら進んで其大任を負擔せんとす。

ドルテン氏は伯林を以て已にボルシエビキ―の手中に在りとし獨逸を救ふには先づボルシエビキ―と戰ふの覺悟を要すとなせり、又氏は社會主義に對しても全然賛意を表せず、氏に従へば眞正のデモクラシーは人民全體の基礎の上に立たざるべからず、プロレタリアートを本位とする社會主義はブルジョア本位の資本主義と同じくデモクラシーの敵なりとなす、其言ふ所往々にして餘りに純理に走る嫌ひあり、これ氏が一部よりは又空想家なりとて排斥せらるゝ所以なり、然れども氏を中心と

歐米見聞録

する運動は實際に於て着々歩を進め相當の成績を挙げつゝあるが故に或は近き將來に於て若き共和國と共に此若き大統領の出現を見るに至ることなきを保せざるなり、氏は又ライン各地方の市町村長、購買組合長百萬人此計畫に參與し互に連絡を取りて運動しつゝありと云ひ現にフアルツの一部に於ては約十三萬人の人々共和國加入の決議をなせりとて其決議文を示されたり。

更に氏は對外政策に於て飽迄平和主義を執ると云ひ獨逸從來の國家主義、侵略主義を以て誤れりとし國家の物質的繁榮は往々にして其精神的文化の發達を阻害する所以を述べ奈翁戰爭の後獨逸に理想派哲學の勃興を見たと同じく今次戰爭も

獨逸をして其物質的迷夢より醒めしむる動機たるべしと説けり、然れども思ふに奈翁戦争時代に於ける獨逸國民の生活は今日と比較すべからざる程簡單素朴のものなりしなり、従つて國を舉げて奈翁が鐵蹄の蹂躪に委したりとするも其受けし物質上の苦痛は近世人の感ずる如く甚だしきものにあらざりしなるべく却て其爲に自由に對する熱烈なる一種の宗教的憧憬を生じかくてシルレル、フキヒテの理想主義が十九世紀の獨逸を風靡するに至れるなり、然れども今日は當時と事情大に異れり、戦争開始以前外に對しては巧妙なる經濟的膨脹により内にありては優良なる幾多の社會政策的施設により近世的にして濃厚なる物質生活の甘露を吸ひ始めたる獨逸國民が今此大打撃

歐米見聞録

を受けて翻然大悟すると共に物質に於て失ひしものを心靈に於て償はんとし斷乎として從來の針路を捨て精神的向上の途を辿るに至るや否やは蓋し大なる疑問とせざるを得ず、聞く如くんば獨逸に於ても戰爭中所謂成金なるもの簇出せしが彼等の多くは析角出來たる金も國內の不安と聯合國に對する莫大なる負擔の爲に將來はどうなるや知れざれば今の内に思ふ存分使ふに如かずと云ふ如き自暴自棄に陥れるもの、如く現に余もかゝる有様を實見したること屢々あり、一般市民がいかにも見すばらしき粗服を纏ひ意氣消沈せるに反し彼の成金輩は生粹のバリジャンも尙ほ及ばざるが如き裝をなしてカフェー等に陣取り盛んに三鞭酒を抜きつゝ泥酔し居るなり、余は獨逸

の將來がドルテン氏の推測し若くしは希望するが如き方向に進まずして却て反對の方向に進む可能性の多々あるを看過する能はず、要するに精神的にも物質的にも其前途は決して樂觀すべからざるを信するものなり。

二十四日ウキスバーデンを發しライン河に沿ふてボンに向ふ、此行舟航を欲せしも此地方は河川の通運今尙ほ甚だ不便にして二三日の内には到底乗船し得る見込なしとの事に已むを得ず汽車に由れり、船行なればライン兩岸の展望を恣にしつゝ、悠々として一日の清遊をなし得たりしならむも左岸に沿ふて走る汽車中よりは唯右岸を望み得るに過ぎず、且つ速力速き上に屢隧道ありて眺望を妨げらるゝは遺憾なりき、マインツより

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞録

ピングエンに至る間ラインは洋々として平野の中央を貫けり、ピングエンを越ゆれば兩岸の山次第に迫り來りて水勢漸く加はる、流れ愈急にして山は肉を削られ骨を露はし遂に斷崖をなせり、斷崖の上には此處彼處に半崩れかゝりし古城址ありて風雲往來す、此あたり中世の諸侯が浪漫的史劇を演じたりし舞臺なれど駒に鞭うちてラインの流れを亂せし騎士の勇姿は今あらで川波の音昔に咽ぶ許りなり、途中ハイネの詩によりて有名となりしローレライを過ぐ、ローレライは高さ四百三十呎に達する一大巖にして其麓を急流の洗ふに任せて毅然として聳立す、水底も此邊最も深くして約八十呎に達すと云ふ、此地傳説文學によりて一世に喧傳せらるると雖も妙義耶馬溪の奇あるに非ず、風

景として特に稱すべき所以を知らざるなり。

正午コブレンツに下車す、此地は米軍の占領地にして從來經過し來りし佛國占領地とは異り自動車夥しく往來す、ライントモーゼルとは此市の北端に於て分岐す、此地點を稱してドイツチエスエツクと云ひウキルヘルム老帝騎馬の大銅像立てり。

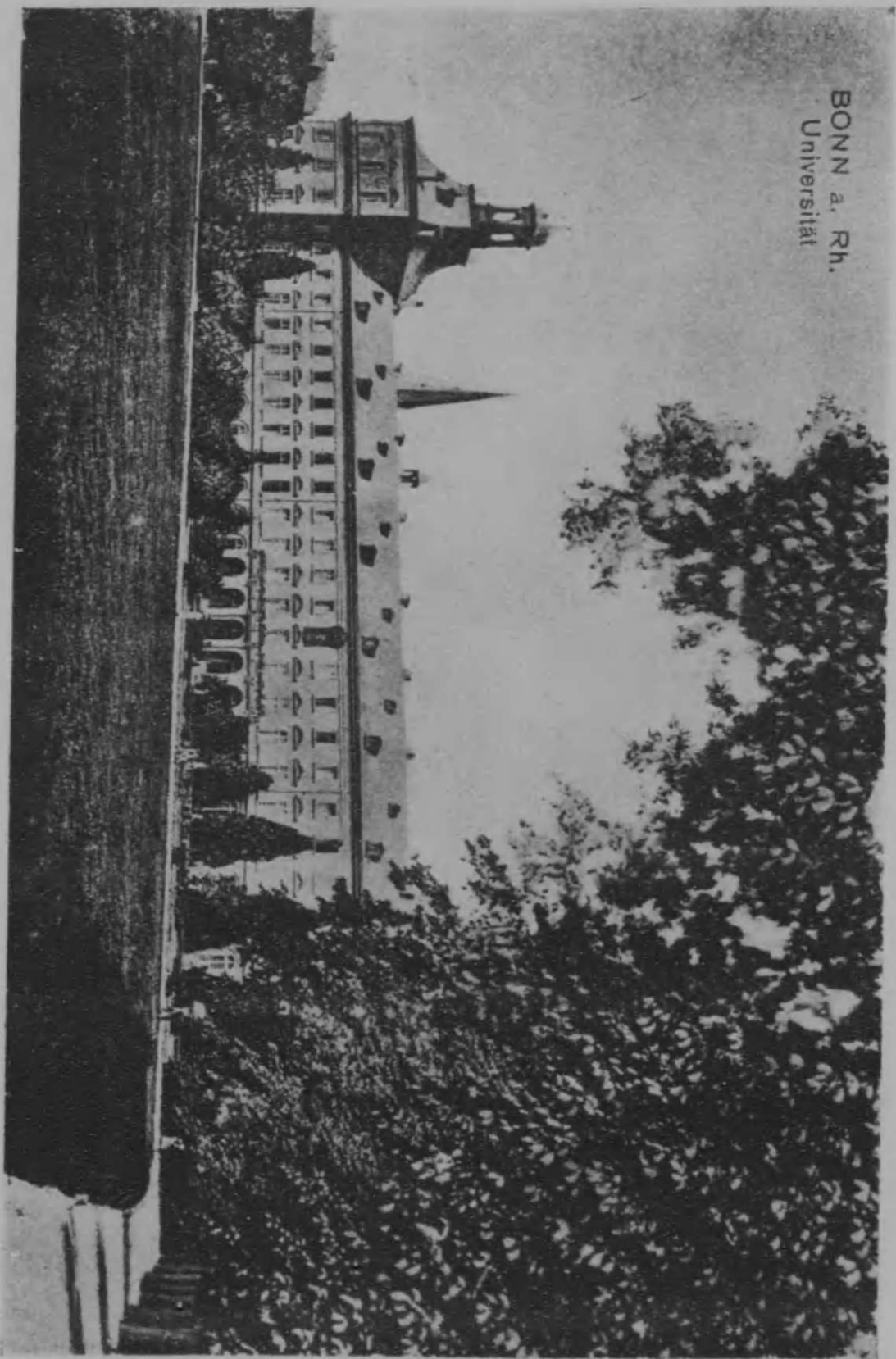
凡そ獨逸に入りて常に目を惹くは國家の威嚴を示さんとして苦心しつゝある跡の歴然たること是なり、此銅像の如きも其一例なるが其他建築と云ひ公園と云ひあらゆる公共的設備に付き之を見るも獨逸の偉大と強勇とをこれ見よがしに表はし居る所、餘りに露骨にして却て反感を起さしむるものなきに非ず、此傾向は戦前に於て殆ど頂點に達し居りしもの、如く國家主

歌 米 見 聞 録

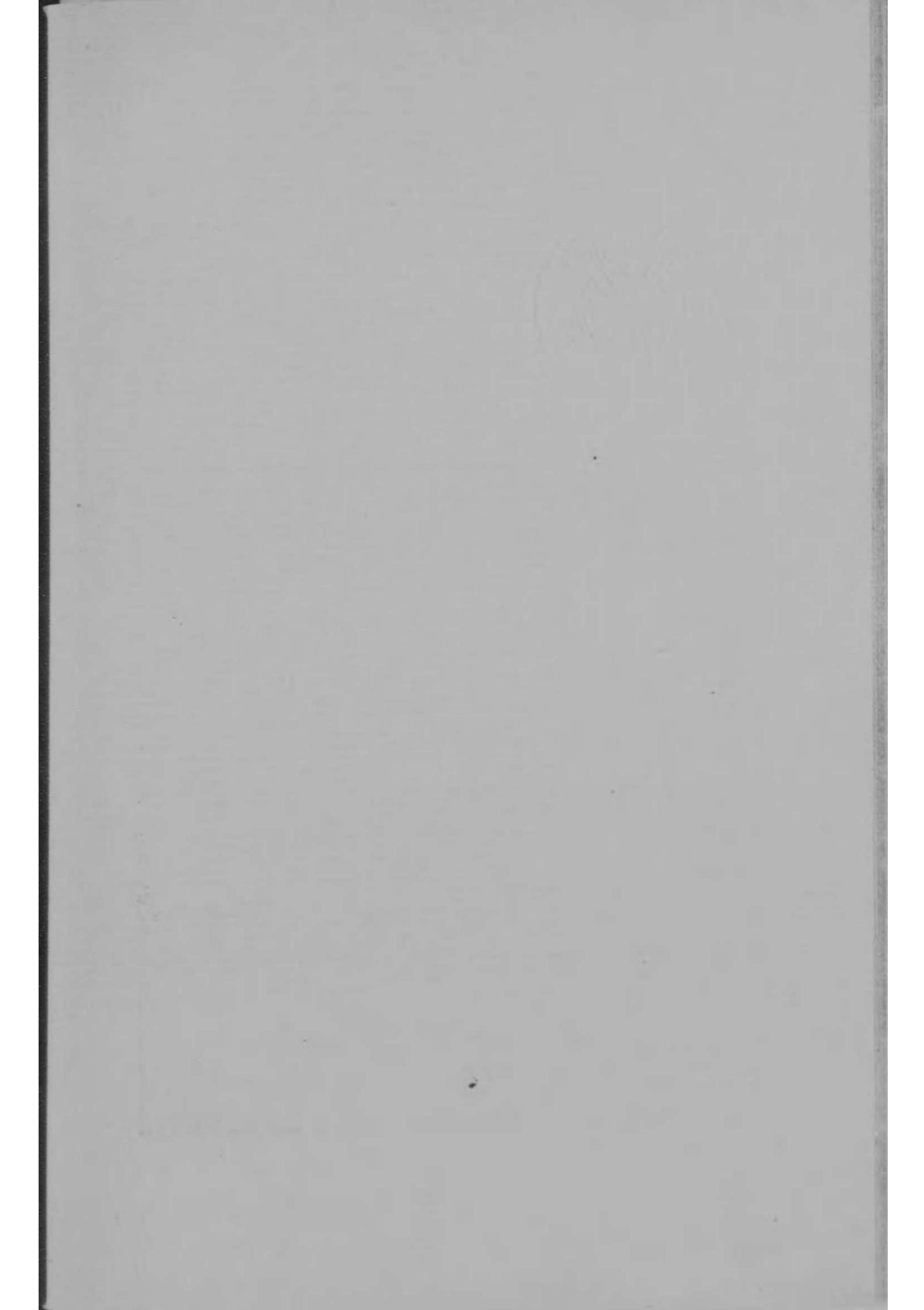
義差別主義を高調するの極は成るべく他國と異なる點多きを以て尊しとするに至り文字の綴りの如きも從來Cを用ゐ來りしをKに改めSをXに改むるが如き事迄なしたるが如し。

ボンに着きしは其日の夕刻なりき、此地は大學都市と謂はるるだけありて他の都會の如く喧騒ならず、静寂にしていかにも落付きたる心地す、學問讀書には實に恰好の處なり、當地の大學は嘗てカイセルも學びたる所、歴代の皇太子は大方此處にて其文事の方面の教育を完成する例なりと云ふ、學生の數は平時三千乃至四千人位なりしが最近劇増して七千人に達せり、其故如何と云ふに占領地以外の獨逸地方は昨今ボルシエビキ運動盛にして政府の威令行はれざる爲め甚だ不安の狀を呈し居り、學生は到

BONN a. Rh.
Universität



ボンの大学の學



底勉學にいそしむを得ず、仍て是等地方の大學に在る者は多く安全なる占領地に逃れ來れるなり、聯合軍の占領が經濟上より獨逸人の不安を救ひつゝある事は先に述べしが之を以て見れば學問上に於ても亦大に利益を與へつゝあるを知るを得べし、尙ほアルサス、ローレン二州が佛領となりてストラスブルグ大學その他の學校が佛語を用ゐる佛法を教ゆるに至りし結果は自然獨逸學生劇増の一原因なるべし、彼等是一種獨特なる帽子を冠り三々五々街道を漫歩しつゝありしが他の市民の如く甚しき意氣消沈の態なくカツンエにては得意のビールを傾けて盛に氣焰を擧げ居るもの多かりき、姉崎博士の談によれば氏が先年留學當時は大學に女學生は皆無なりしが今は婦人にして大學

に通へるもの多々あるを見受く、是も時勢の一變化なるべし。

我亡き父も亦明治十八年の頃其二人の弟故津輕英麿、常磐井堯猷と共に笈を萬里の外に負うて此地に來り此大學に學生たりしなり、爾來三十餘年は一夢と過ぎて父はとくに此の世の人に非ず、津輕の叔父も亦此春突然の訃報に巴里の予を驚かして父の跡を逐へり、當時三人の兄弟が寄寓したりしはライインと云ふ人の家なりき、此人はボン大學の教授にして明治初年日本に來り獨逸語にて日本と云ふ著書を作せり、日本人にして此地に留學せる者は多く此人の世話になりしものにて西園寺八郎氏の如きも其一人なり、予は幼少の頃より屢々ボンの話を聞きて亡き父の師たる遠き異郷の未見の此人に一種の懐しさを感じ

て居たりしかば當地に來るや早速大學に行きて其健否所在を尋ねしに是亦昨年一月病歿せりと云ふ予は之を聞きて心の痛みを覺ゆる事更に切なりせめてはライン氏の未亡人になど會ひて其他しき寡居を慰めんと思ひ立ち二十五日朝花を携へて其家を問へばようこそ尋ね呉れたりとて予を抱かん許りにして客間に導き入れ涙ながらに色々昔の思出を語られ父君の居給ひし頃の家は此家にあらで某々街に在りなど懇に教へられたり予は居る事約半時間の後中心より未亡人が老後の安泰を祈りて其家を辭しぬ。

かくて予は二十五日午後此悲しく懐かしき追憶の地ポンを去りてケルンに赴き一泊の上姉崎氏の一行と別れ白耳義を經

歐米見聞録

ライインの旅

て二十七日には又巴里の人となれり。

(七月二十八日夜稿了る、ホテル、コンチネンタルにて)

ハ、ライン共和國建設の趣旨

此一編は去七月二十一日余が獨逸ウキスバーデンに於て
ライン共和國運動の中心人物たるドルテン博士に面會せ
し折氏の余に手交せられし同共和國建設趣意書の大意な
り。

歐 米 見 聞 錄

ライン共和國建設の要求は今日に始まりしに非ず、然れども
之が具體的運動となりて表はれ來りしは昨年十二月四日ケル
ンに於ける集會を以て嚆矢とす、蓋し昨冬獨逸に於ける革命は
此運動の出現に好個の機會を與へたるものなり、而して同集會
に於ける決議は左の如きものなりき。

ライン共和國建設の趣旨

歐米見聞録

『獨逸の政治的變革の深大なるを考慮し又伯林に於て秩序ある政府を樹立する事の全然不能なる事を認め且ライン地方及ウエストフアリヤは政治的にも經濟的にも文化的にも一國家を形成するに足るの實力を具有する事を確信し此集會はライン及ウエストフアリヤ地方を本據として獨逸國の統一を擁護し新獨逸の再造を負擔せむとす。夫故に本集會はラインランド、ウエストフアリヤ及其他のライン地方の有らゆる黨派に屬する人民一般の意志を代表すべき人々に對し獨逸國に屬してしかも獨立的なるライン、ウエストフアリヤ共和國を建設する道に直に進まん事を要求す』。

ライン地方の獨立は昨冬に於ける伯林革命の影響が全獨逸

に及ばんとする危険を防止せむとする消極的理由の外に次の如き積極的理由を有す。

第一、獨逸國家内部に於ける新離合の必要

革命後に於ける獨逸國家の再造に伴ふ新組織を如何に定むべきやに付きては單一國家制を採るべきか或は聯邦制を採るべきかの問題あれど單一國家制は歴史的理理由よりして到底實行不可能なるが故に聯邦制を採るの外なし、然して聯邦制を採るに就きては國內の調和を第一主眼とし合理的基礎の上に之を樹立せざる可らず、從來の獨逸聯邦は此合理的基礎を缺き隨つて絶えず國內の争を醸せり、ライン地方の如きも亦然り、抑もライン地方は地理上より云へばライン流域を形造る地方にして

歐 米 見 聞 錄

歐 米 見 聞 錄

自ら一區劃を成せり、人種上より云へばライオンフランクと稱する特別の性質を有する一種族より成れり、歴史上より言へば羅馬文化の影響を最早く蒙り爾來此地方のみ同一變化の下に特殊の發達を遂げ來れり、經濟上より言へば幾多利害の共通するものあり、故に此地方は夙に一國家を形成するの資格を備へたりしに拘らず其大部分はプロシヤに併合せられたり、是れ從來の聯邦が合理的基礎を缺けりと云ふ所以なり、元來プロシヤ其物が頗る不自然不合理の寄せ集め物にしてかの有力なる王朝が中心に立ちたればこそ能く其威信を中外に維持し得たるなれ、今や此維持力の中心なる王朝の顛覆と共に之を構成せる各部分が其人爲的不自然の統一を破りて各自の好む方向を採る

に至るは當然の事理と言はざる可らず、乃ち憲法委員會の如きも此新離合の必要を認めたりと見え本年三月二日に可決したる草案の中には次の如き個條あり、曰く『獨逸聯邦の分合は出來得る限り關係人民の意志に本き且經濟的文化的見地より完全を期するの主義に従ひて行はれざる可らず新國の形成若くは領土の變更は人民の意志に由り若くは一般優越的利益に由り要求せらるゝ時法律に依りて之を行ふ』と、即ち憲法委員會は明に獨逸國內に新に起り來るべき離合を是認せるものと云ふべし。

第二、獨逸各聯邦間に於ける和協の必要

憲法委員會は以上の如き決議をなしたるに拘らずプロシヤ政

歐米見聞録

府は飽く迄自己の權力を維持せむとするの目的を以てライン地方の獨立運動を妨げつゝあり、如此にして焉んぞ獨逸國內の和協を圖る事を得む、其の和協は各自が其意志によりて事を處理し以て共同の利益を圖るにより始めて實現せらるゝものなれば也、抑もライン地方及ウエストフアリヤは千八百十五年維納會議に於て強制的にプロシヤに併合せられたるものなり、次でナツサウも亦千八百六十六年人民の意志に反してプロシヤに併吞せられたり、爾來我等ライン人民は何れも忠實なるホーヘンツォルレルン家の臣下としてプロシヤの支配の下に甘んじ居たりしも其關係たるや單に右王家に對するバーソナルのものに過ぎざりき、故にその恭順の的たりし王朝の覆滅を見た

歐 米 見 聞 錄

る今日に於ては吾人に對するプロシヤの支配は何等の意義を有せず、況んや其政府が墮落せる今日の伯林政府なるに於ては到底吾人の堪ふる所に非ざる也、吾人は伯林が現政府治下の危険なる状態を脱却して再舊態に復歸する日の俄に來るべしとは信ずる能はず、現に國防大臣ノスケ氏は自らワイマールの社會黨會議に於て伯林は永久の危険なりと告白せり、要するにライン人民の性質及思想と現今の支配者たる伯林政府との相違を思ふ時は兩者が決して繁榮なる共同團體を組織し得るものに非ざる事を認め得べし、兩者の不和は延いて獨逸全國內の不和を來さしむ、これ吾人がライン地方の分離を以て獨逸國內の和協の爲にも必要なりと云ふ所以也。

第三、獨逸國內改造に對するライン人民の職分

歐米見聞錄

今日の獨逸に取りて最大の危險はボルシエビズムなり、此病毒は東歐羅巴に起りて獨逸に入り今や國內到る所に其怖るべき黴菌を散布しつゝあり、而して吾人の見る所によれば他日ボルシエビズムの襲來を蒙る危險性の最多き地方は現今聯合軍によりて占領せらつゝあるライン地方にして一度聯合軍の撤退する曉には疫病は直に此處に侵入し來りライン一帯は無政府混亂の状態に陥るべし、之に對應するの方策としては速に自治的なるライン共和國を建設するにあり、此共和國にして建設せられむか温和派は其勢力を維持し得て東方より燃え來る大火災を防壓すべし、吾人は獨逸の一隅にボルシエビズムの禍害を

受けざる一地方を存在せしめ以て着實なる國內改造を行はしむるに力めざる可らず、而して此職分を行ふに就き最適當なる地位を占むるものをライン共和國となす、即ちライン共和國にして儼然としてボルシエビズムの大火の外に立ち商工業の繁盛を圖り經濟生活の復舊に力を盡さば戦後に於ける獨逸の前途は必ずしも悲觀するの要なき也、

第四、對外關係より見たるライン共和國の使命

全世界の吾人に對する激甚なる憎惡なるものは獨逸一般に對するものと云はむよりは寧ろプロシヤに對するものなり、故にライン地方の分離によりてプロシヤの勢力弱められ所謂プロシヤ精神なるものが獨逸國內に於ける優越權を失はゞ獨逸の

歐米見聞錄

外政は世界的信用を恢復し獨逸の國際的地位は其安固を加ふるに至るべきや必せり、殊に佛國は其隣邦にプロシヤの在らざる事を以て多大の満足と慰安とを感ずべし、元來ライン地方は往昔のフランク人其大部分を占むるが故に西部歐羅巴の諸國と全然縁なきに非ず、即ち新共和國の現出は歐洲の東西に分れたる民族の間の一連鎖たり得べし、かゝる尊き歴史的使命は此地方が伯林政府の官吏によりて治められプロシヤ流の支配權の下に立たむ限り之を果し得るの望なき也、

第五、占領期間に於ける自治獨立の必要

今日聯合軍によりて占領せられつゝあるライン地方は伯林、ミユンヘン、ダルムスタット及オルデンブルグの四政府の管轄に

跨り居れど占領期間は是等の地方相集りて行政上一個の區劃をなすが故に恰も一種の帝國領の現出したると同様の現象を呈し隨て此地方には特殊の議會を設くる必要あるなり、然るに伯林政府は本年六月此地方に與ふるに自治の權能ある議會を以てせずして議會に代るべき一種の統治機關を以てせり、此機關はプロシヤ人スタルク氏を總裁とし七名の參事之を輔佐す、是等七名の諸氏は何れも此地方選出の代議士にして保守黨一人自由黨一人民主黨一人社會黨二人中央黨二人なり、而して此地方代議士全部の黨派別を檢するに保守黨一人自由黨四人民主黨八人社會黨十六人中央黨三十四人なれば保守黨の重きを措かれ居る事明白なると共にライン地方代議士の半數以上を

歐 米 見 聞 錄

歐 米 見 聞 錄

占め居る中央黨代議士が七名中僅に二名に過ぎざるの事實は此機關が多數人民の意向を代表するものに非ざるを語るもの也、かゝる機關の存在はライン人民に對する一大侮辱なり、故に吾人は占領地方の行政を圓滑ならしむるが爲にも此地方に本據を有する統治機關並に此地方に於ける眞個人民の意志を代表する機關を設くるの必要に會す、即ちライン共和國建設の主義を認めざる可らざる也。

九。英國議會傍聽記

英國の議會は八月二十日より十月迄休會となるべく十九日は今會期最終の議事日にして首相ロイドジョージ氏の財政經濟外交に關する大演説あるべしとの事に余は同日大使館の紹介狀を貰ひ受け開議定刻の午後三時より傍聽に出かけたり。

歐米見聞錄
議事堂はテムス河の畔に臨める宏壯なるゴシック式の大建築にして千八百四十年三千萬圓の巨費を投じて造營したるものなり、これ實にマグナカルタの發布以來英國民が血税を拂ひて贏ち得たる自由の記念物にして之に對すれば眞に英國史の縮寫を見る如き心地せらる、余は幼少の頃より屢寫眞にて

歌 米 見 聞 錄

此議事堂の光景を眺めつゝかのグラッドストーンやヂスレリ
ーが堂々たる論陣を張りて辯難攻撃に火花を散らせし當時の
壯觀を想ひ浮べて坐るに小さき胸の躍るを禁じ得ざりしが此
日始めて其門を潜りて多年の宿志を果すを得中心の喜悅譬へ
む物もなかりき、抑此議事堂内には皇帝着衣室及ヅキクトリヤ、
ガレリーなど泰西の名畫を蒐めし室ありとの事なれど已に議
事も始まり居れる模様なりければ其見物は他日に割愛し、余は
直に議長の秘書室に至り案内を乞ひ懇切なる守衛に導かれて
議場へと入りぬ。

議場は長方形にして北の正面に議長席あり、左右に相對して
議員席を設く、議長席に向つて左が政府黨右が反對黨なり、而し

て國務大臣席は政府黨の最前列にあり、日本の如く別に演壇と云ふものなく各自自席に起立して發言す、議員の服裝は多く背廣服也、以前は格式典禮を重んずる英國の事とて何れもフロッツコートを着せし由なるが近來はかゝる習慣も次第に消滅し只議長のみが燕尾服を着せるのみ。

大臣席を見ればジョージ首相は鼠色のモーニング姿にて中央に座を占めたり、其左には片側眼鏡に父なる老大政治家の面影を偲ばしむるチエムバーレーン氏あり、首相の右には商家の番頭然たるボナーロー氏坐し其又右には軀幹長大にして容貌魁偉とも評すべきオークランド、ゲッデス氏控えたり、是等當局の諸氏は交るゝ起ちて議員の質問に答へ居たるが質問は此

歐 米 見 聞 錄

日丈にても實に百七十餘件あり、其要旨は豫め當局者に提出しあるのみならず活版刷となりて一般議員は勿論傍聽者に迄配付せられ居るが故に議場に於て質問の爲に時間を空費する事なく議長が質問者の姓名を呼び上ぐるや當局者は直に立ちて兼て用意しある答辯を書面に認めたるものを朗讀す、かくて議事は一瀉千里の勢にて進行するなり、然して議場の靜肅にして各員の飽く迄紳士的態度を失はざる所は流石に英國也と感服せざるを得ず、時にヒヤ／＼ノ／＼を言ふのみにして拍手の如きも一切禁せらる、余は日本の下院がかゝる節制の狀態に達するは尙前途遼遠なるべきを思ふて覺えず長大息せざるを得ざりき。

質問の全部終るや議長はジョージ首相を呼べり、首相は原稿を手にしつゝやをら身を起して徐ろに説き出せり、余は巴里にて屢氏の風丰を見しも演説を聞くは此日が始めて也、氏の演説は立板に水を流すが如き滔々たる辯舌に非ず、一句一句に力を籠めて極めて徐々と説くが故に余の如き英語に未熟の耳にも大部分了解せられたり。

首相は劈頭に於て今次の戦争が世界に負はせたる支出の總額四百億磅に達するの事實を擧げ吾人が此創痍より全く脱却し去るには非常なる長年月を要すべしと説きて對外貿易に於ける輸入超過の現況に論及し『英國の繁榮は一に貿易の増進によりてのみ實現せらる可きが故に此際英國國民たるものは、一大

決心をなし輸入超過の大勢を轉回して之を輸出超過に導くの方策を講せざる可らず、然るに顧みて産業の現状を見れば眞に慄然たらざるを得ざる次第なり』とて労働者の時間短縮の要求が生産を減退せしむる虞あるを戒しめ『大英國を危険に陥るゝものは實に昏睡と怠惰に外ならず』と疾呼して労働黨席を睥睨し更に進んで労働問題の解決法に就き論斷を下して曰く『吾人は正義と友愛の精神を以て僱主被僱者雙方の要求を考察するを要す、かの矯激なる無政府主義的手段の如きは吾人の極力排斥せんと欲する所也、英國民の傳統能力は單に常識を以て古來幾多の難局を切り抜けたり、吾人は今や此能力を全世界に向つて示すべき時機に際會したるなり』と。

夫より首相は坑山の作業經營費輕減の爲にする炭坑の統一及改造の必要、通商制限の廢止、ダンピング防止の有効なる處置等に關し其所信を吐露したる後外交問題に入り先づ明快なる宣告をなして曰く『大英帝國の將來は一に土耳其問題の解決如何によりて定まる』と次で英國政府が今日各方面より高加索に於ける英國軍隊を撤退せざる様要請せられ同地方の住民亦之を懇請し來れる旨を述べて『此事實を語るは余の最誇を感ずる所なり』と云ふや滿場大喝采をなせり。

最後に首相の國際聯盟に言及するや其言葉は著しく熱烈の調を帯び來れり、曰く『最大の經費節減は國際聯盟の成立に努力せる強國が國際聯盟を信賴する事によりて始めて實現せらる

歐 米 見 聞 錄

べし、若し是等の諸國にして依然として軍備の擴張を爲さんか
 聯盟は遂に一個の虚偽に化し終らむのみ」と此時喝采湧くが如
 し、首相は更に語を繼ぎて曰く『國際聯盟をして眞に世界平和の
 保障たらしむる爲には先づ第一に之に信頼せざる可らず、英國
 は直に之に信頼すべし、冀くば他の列強をして均しく之に倣は
 しめよ』と大喝采は再起りて首相は靜に其座に復せり。

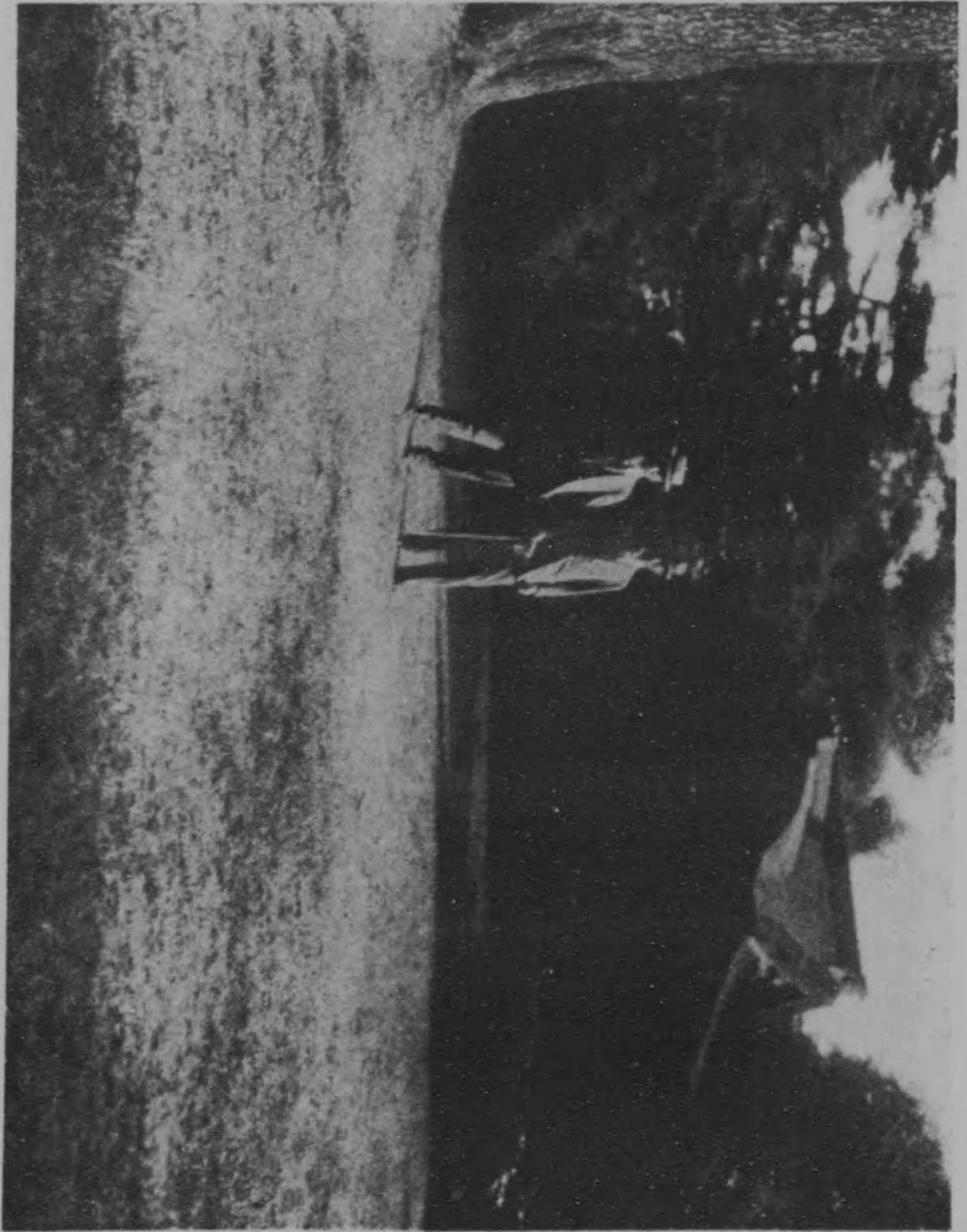
ロイドジョージ氏此日の演説は財政經濟に關するもの其大
 部分を占めたりしが故に數字多く出で随つて氏獨特の精彩あ
 る雄辯を振ふ餘地は甚少かりしものゝ如けれど時々牛乳を飲
 みて咽喉を濕すの外些の休息を取る事もなく前後實に三時間
 半に亘り大聲を張り上げて説き去り説き來り飽く迄も其論旨

を徹底せしめざれば止まざる絶大の精力と眞摯なる意氣とは眞に驚嘆に堪えざる所なり、是をかの禪坊主の問答の如き不得要領を並べて御茶を濁す日本の國務大臣と對比し來る其差只に霄壤のみには非ざる也、首相の演説終りしは七時に近かりき、夫より又右の演説に關して幾多の質問出でし様子なるが英國議員の國務に熱心なる時には夜を徹する事もありと云ふ、余は時も餘り遅くなりたれば中途にして退場歸館したり。

十、倫敦雜記

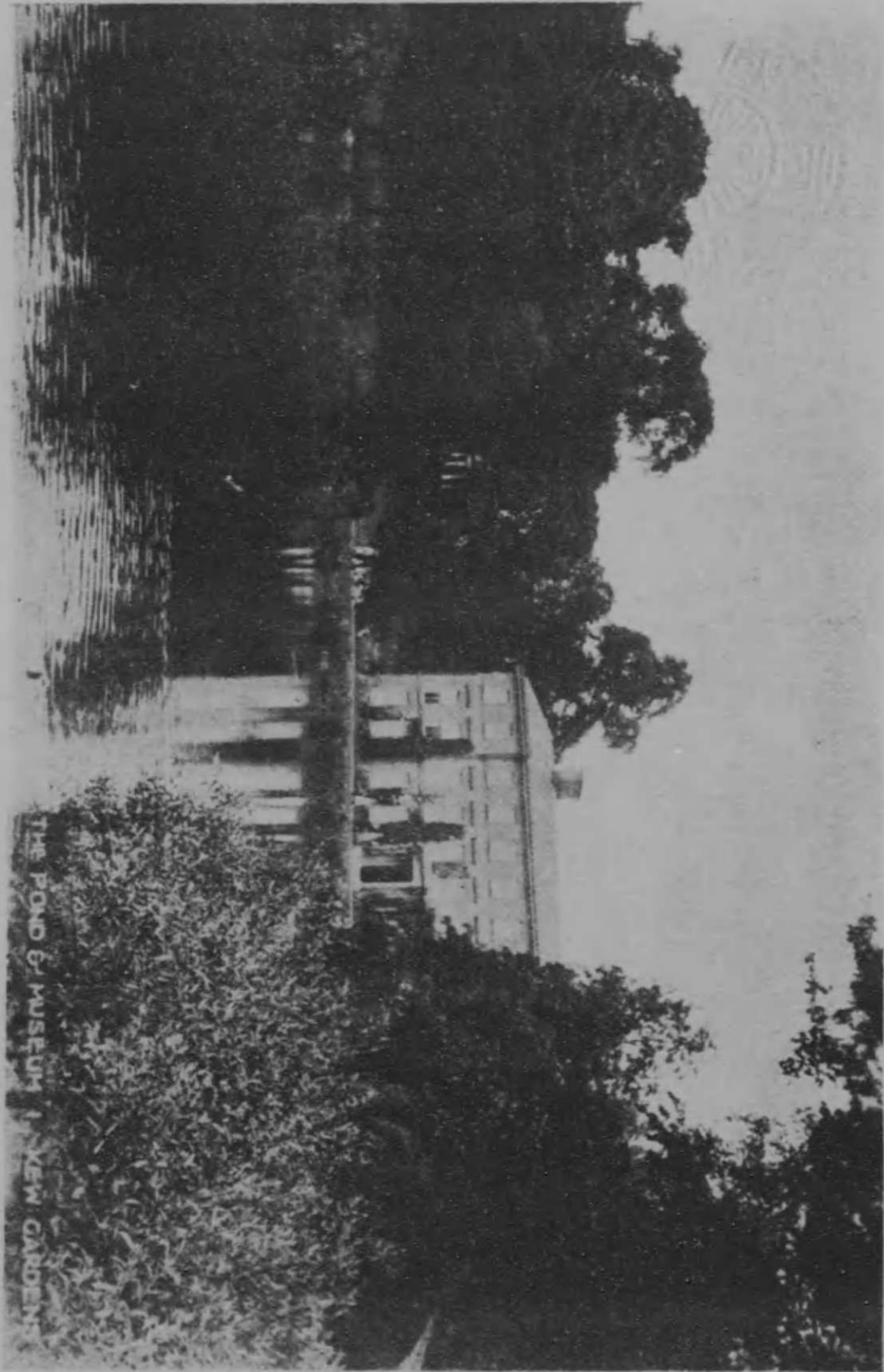
歐米見聞錄

一衣の帶水を渡りて足一度英國の土を踏めば山川風物凡て大陸とは著しき相異をなせるを認め得べし。倫敦の郊外一步を出でむか、彼處に丘あり此處に谷ありてかの浩茫たる大陸の平原を見馴れたる眼には何となくせゝこましき箱庭に入りたる如き心地せらる。然れども斯の如き海上の一小島國の中に大陸的景趣を求めむとするは無理なる註文也。英國の自然は人をして親しましむべく馴れしむべく造られたり。仰ぐべく畏るべき雄大嚴肅の趣を缺けるも、慈母の懷に抱かれたる如き温さを感じしむる點に於て世界何れの處にかゝる好風景を見



影撮てに前門本日ソデーガーユキ

ソデーガーエキ



出し得べき。もし夫れ春より夏に亘り滿天滿地緑の色に包ま
るゝに至つて英國の美は遺憾なく發揮せらる。即ち平和の色
と緑の美とは英國の自然の最誇るべき二大特長也。

平和の色を見むと欲せば秀麗の佳日を選びてテームスの上
流に溯るべし。兩岸の野邊は見渡す限り芳草の緑に蔽はれて
一面に軟き茵を敷ける其の上に牛羊の群は靜に穩に眠り居れ
り。川に臨みて建てられたる所々の別莊は庭園に芝生を植ゑ
配するに美花を以てし、紅花と緑水と上下相映じ、白鳥二三悠々
として其前を游泳せるなど眞に恍然として桃源夢裡に遊びた
るの感あらしむ。緑の美を味はんと欲せばキューガーデンを
訪ふべし。幾抱へもあらむ老樹巨幹の木立水々しく繁り合へ

歐米見聞錄
其間には目も覺めむ許りなる芳草の萌え出で、濃翠淡緑あ
らゆる色彩配合の妙趣を表はし盡せり。詩人の所謂『綠蔭幽草
勝花時』の句は實に此地に於て始めて是を見るを得べき也。

○
英國の田園は眞に世界の樂園と稱して妨なけれども、倫敦の
市街は巴里に比して著しく不愉快の感を催さしむる事を告
白せざるを得ず。巴里の天は清く高く澄みて白雲蒼穹に搖曳
す。倫敦の空は朦朧として晝も尙室内に燈火を要する事屢な
り。巴里の街道は兩側に並樹を植ゑる區劃整然として頗美觀を
呈するも、倫敦には並樹なく且道路狭くして迂餘曲折せり。若
し倫敦よりハイドパークを始め二三の公園を除き去らば其殺

風景なる事、想像するに堪へず。巴里にては煤烟の爲に衣類の汚れる事等は滅多に無きも此地にては然らず、殊に冬期は煤烟濃霧に閉されて四散せず下層に鬱積する故にカラーカフスは一日に二三回も取り代へねばならずと云ふ。只夫れ交通機關に至りては倫敦遙に巴里に勝れり。タキシ一の數も多きのみならず地下線も二重三重に通じて便利なり、尙其他に巴里にて見るを得ざる乗合自動車あり。動搖烈しくして餘り乗心地よきものに非ざれど屋根の上にも席を設けある故、田舎漢の見物には恰好の乗物にして階上に座を占め乍ら街道を見下しつゝ、乗り廻るも亦一興也。是等の交通機關が錯綜して最繁劇雜踏を呈しつゝ、あるは英蘭銀行前にして、自動車に乗りながら時に

歐 米 見 聞 録

は十五分位立往生させられる事もあり。巴里の如き半遊覽地
と異り兎も角も世界商業及金融の中心たる丈に、此銀行を中心
として、*Q.T.A* 全體の活動振は流石に目覺ましきものある也。

○

歐米見聞錄

英國民の氣質は第一にはサブスタンスヤル也。彼等は名を
捨て、實を取る國民也。内容にして豊富ならば外見は如何に
ても宜しとなす國民也。第二にはコンサーバチブ也。彼等は
何事も在來の物にて間に合せ、萬止むを得ざる場合に立至らざ
る限り改良を施す事なし。かゝる特性は此國に於ける萬般の
制度文物に於て是を認むるを得れど、手近き例は家屋也、倫敦の
家屋は巴里の夫の典雅優麗なるに反し何となく無趣味にし

て薄汚き感を起さしむ。然れども仔細に點檢すれば其建築の如き大理石を用ゐたる處數多あり。室内の裝飾も贅澤を極めたるもの甚だ多し。即ちサブスタンスナルなる所以也。然るにコンサーバチブなる彼等は是等の家屋に對しても殆ど近代的設備を施さざる故に不便此上もなく、折角の豪奢なる建築も大に其價值を減せらるゝなり。今日倫敦に於て第一流と稱せらるゝホテルに於てすらランニング、ウォーターの設備を有するは僅に數室に限られ、多くは舊式なる水甕に水を汲みて用を便ずる始末なり。米國より來りし人が此國の設備に就き不平を鳴らすは尤にして、今日は是を日本に比するも大に劣れるなるべし。勿論昨今は戦争の影響にて萬事に手が届き兼ねると

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞錄

云ふ事情もあらむが、英人の保守的なる只にかゝる享樂的設備に對して改良を施さざるのみならず、戦後經濟競争の武器として必要なる諸種の生産器具に對しても更に改善を圖る事なし故に我國の實業家に於て此地の工場炭鑛等を視察せる人々の中には英國恐るゝに足らずてふ感想を抱きて歸る人もあるが如し。夫丈け英人の方では又日本の商業的發展を怖るゝ事甚しきものあり。近頃のタイムズを始め諸新聞には屢々英國對外貿易に關する悲觀的論調を見るも、米國に次では日本の市場侵略に對して尠からず焦慮しつゝある事明瞭に看取し得。或若き英人の如きは余に向ひて絶望的口吻を洩して曰く「近來の英人はコンサーパチブと云はんよりは寧ろレージー也、自分の

如きは米國人の旺盛なる活動振を見て羨望に堪えず、家庭の事情さへ許さば大西洋の彼岸に移住したく思ふ、所詮英國も最早下り坂也、遠からず日本にも先を越さるべし』と慨然是を久しうしたりき。

○

昨今英國への入國手續は頗る面倒也。何人も到着後四十八時間内に宿泊地の警察署に届出でざる可らざる義務を有す。

歐米見聞録
余も倫敦に入りてハイドパークホテルに投宿するや直に近所の警察署に出頭したりしが、警官は單に余一身の國籍、職業、年齢、入國目的に就き問ひ訊すのみならず、兩親如何、妻子は如何と微に入り細を穿ちて詳細なる取調をなし、余は其煩瑣なるに一驚

歐米見聞錄

を喫したり。何故かゝる嚴重なる調査をなすやと云ふに、一にはボルシエビキ運動の蔓延を防がん爲也、二には此國に職業を求め來る外國人の入國を制限して、戦後の復員に伴ふ失業者の簇出を緩和せむ爲也。此の制限は今日嫉妬の眼を以て見られつゝある日本人に對しては特に甚しきものあり、余等の如き通り掛りの旅行者は難なく許可せらるゝも、銀行會社等に在勤の人々は此地に來るに非常なる面倒を見る由にて或人の如き紐育より倫敦に轉勤を命せられたるに入國を拒まれ、暫らくの間宇宙に彷徨するの憂目を見たりとの事也。

○

『アングロサクソン優越』の著者は述べて曰く、英人は最極端な

る利己主義者也。社會も國家も彼等に取りては自己の利益を擁護する機關たる以外、何等の意義なしと。しかも彼等は世界各國民中最政治を解し政治に興味を有する國民也と稱せらる。是れ彼等にありては政治の問題は即ち自己の問題に外ならざれば也。彼等は政治を以て直に自己の問題となすが故に随つて政治に對し眞面目なる考慮を拂ふに至る也。黄昏の頃ハイドパーク公園を散歩すれば彼處に一團此處に一團と黒山の如き人の群り居るに、何事ならんと近付き見れば中央に小高き壇を設けて一人の辯士口角泡を飛ばせつゝ政談演説をなし居れり。斯の如きは巴里の公園等にて未だ嘗て見ざりし所也。其多くは労働者らしく或時の如きはInternational Direct Action等言

歐米見聞錄

ふ極端過激の演題を掲げて論じ居りしも警官は敢て之を制止せむとはせず。聽集の中には立派なる紳士も澤山雜り居れるが、何れも手を拱きて熱心に傾聽し居れる様、言論の自由を尊重することを知らざる日本等にては到底夢想だにするを得ざる光景と云ふべし。總じて労働者の知識の程度の進歩し居れる事は右の演説を聞きてても容易に認め得らるゝ所なるが、尙チャーリングクロス街にあるボムブショップと稱する社會主義の書籍販賣店に絶えず労働者の入り込み居れるを見ても、彼等の平素の教養を窺知し得る也。

○ 労働問題は愛蘭問題と共に英國政界の前途に横はる大暗礁

なり。抑も勞働問題が賃銀勞時に關する純然たる經濟上産業上の問題として取扱はれしは既に過去の事に屬し近來は著しく政治的色彩を帯び來れるの事實は特に吾人の注意を逸すべからざる點なりとす。先づ經濟的方面に就き是を見んか、此問題は今年二月中旬に於ける石炭坑夫の同盟罷業を手始として一大進轉を見たり。當時彼等は(一)鑛山を國有とする事(二)勞働時間を六時間とする事(三)勞銀を三割増加する事の三ヶ條を要求し、形勢險惡にして朝野爲めに震撼せり。巴里の講和會議に出席し居りし首相ロイドジョージ氏は急遽倫敦に歸り來れり。然して首相の發案に基き設けられしものを鑛山委員會となす。此委員會は政府任命の裁判官サンケー氏を議長とするが故に

歐米見聞錄

又サンケー委員会の名を以て呼ばる。資本家側労働者側より各同数の委員を出し以て協議せしむ。雙方互に激論を闘はせしが或時などは資本家側の某公爵と一労働者との間に火花を散らす如き舌戦行はれ、兩々相對峙して下らざりきと云ふ。

又以て此國の貴族なるものが必ずしも凡庸の器に非ざる事を證すべし。かくて此委員會は三月二十日に至り審査の結果を報告せり。此報告は全然妥協的にして労働時間は七時間労働銀は一割半増加とし、二年間實施の後結果良好ならば労働を更に六時間に減すべしと云ふにあり。政府は此報告に基きて此七月より七時間労働を採用したる也。鑛山國有の問題に付きては異論百出して容易に決定に至らず漸く六月二十日に至りて

報告を發表せり。其報告は四通あり。第一種は議長の報告にして先づ第一着手として地主の地上權を買上げ、三年の後國有とすべしとの案なり。第二種は資本家の報告にして全然國有に反對するものなり。第三種は労働者中極端派の報告にして鑛山は無報償に資本家より沒收すべしと云ふにあり。第四種は妥協案にして鑛山は國有とせず石炭丈政府に於て買上ぐべしとの案なり。政府が其何れを採るかは久しき間の問題なりしが最近に至り遂に國有案は是を葬り去る事に決定したる如し。

○
右述ぶる所は純然たる經濟的方面に於ける労働問題最近の

歐米見聞錄

變遷なるが、労働者が一般政治に容喙するの端緒も亦今年三月の交を以て開かれかくて労働問題は益紛糾を重ねるに至れり。當時露國に於てボルシエビキと戦ひつゝある英兵に援兵を派遣するの議あり、又戦時英國に於て始めて實施せられし徴兵制度を、千九百二十年十二月迄延期する事となりしに對し、鑛山、鐵道、運輸の三角同盟は反對の決議をなし、越へて六月二十五日サウサンプトンに開かれし労働大會に於ても(一)徴兵制度反對(二)露國援兵撤廢(三)労働組合の取締に兵力を用ひざる事の三ヶ條を議決せり。此三角同盟は以前より存在せしも從來は單に經濟上の問題に付き相提携するに止まりしに今や政治問題に對しても其脅威の鋒先を向くるに至り、かくて労働者は著々とし

て政治上に於ける自己の地歩を開拓し始めたり。然るに彼等の中極端なる一派は尙ほ之を以て満足せず直接行動に訴へんとするの議論盛にして、スミリー氏、ウキリヤム氏の如きはかゝる極端派中の錚々たるものなりき。彼等はパーリヤメンタリズムの如き生温き方法を以てしては到底目的を達せずとし、直接行動により總同盟罷業の武器を政治上に利用するに如かずとなせる也。かゝる政治的直接行動の當否に就きては労働黨出身の國會議員を始め労働者中にも反對者多く、遂に最近ユニチーハウスに開かれし三角同盟の總會に於ては是を否決するに至れり。

歐米見聞錄

英國は議會政治の本家本元なり。英人は如何なる場合にも沈著冷靜にして常軌を逸する事なき國民也。其英國に於て直接行動と云ふ如き極端過激の運動の漸く頭を擡げ來りしは戰爭に伴ふ時勢急轉の結果ならむも又一面より見れば昨年末の總選舉が大に崇りをなしたりとも觀測せられざるに非ず。昨年十一月休戰の報一度傳はるや全英國民は津々浦々に至る迄抃舞雀躍して四年振の平和を祝福せり。機を見るに敏なるジョージ首相は實に此時に於て突如議會を解散し、民意を總選舉に問ひたりし也。是れ戰勝の美酒に酔うて冷靜なる政治的判斷力を失ひ居たる當時の國民に取りては眞に不意打ちなりき。戰爭に於て赫々たる勝利の光榮を擔へる政府は國民の此不用

意に乗じて一舉にして選舉場裡に大勝を博したり。反對黨勞働黨の各將は枕を並べて皆討死せり。ヘンダーソン然り、ウエツプ然り、スミリー然り、マグドナルド然り。斯の如くにして成立したる議會が國民の真正なる輿論を代表するものに非ざるや論なく、随つて直接行動と云ふ如き運動の起り來りしも亦止むを得ざる也。所詮英國の政界は今年中に再び一大波瀾を起して總選舉を餘儀なくせらるゝに至るべく、其結果として勞働黨の勢力加はるに至らば極端なる過激論も自然影を潜むるに至らむか。

○

英國の人心は今や漸くジョージ内閣に倦まんとするの兆あ

歐米見聞錄

り。ロバートセシル卿は數日前某所に於て演説して曰く、平和は古來いかなる國民によりても歓迎せらる。然れども平和の條約の歓迎せられたる例は未だ嘗てこれ有らず。條約は畢竟妥協の上に成立すれば也。然して條約の締結者たる時の政府は調印後間もなく更迭を餘儀なくせらるゝ事、殆古今に亘るの通則と稱して可也と。ジョージ内閣も亦此通則に洩れず、遠からず最後の運命に遭逢すべきか。かくて政界人氣の中心は絶えず變轉して止まる所を知らず、獨り此間にありて永久不變に人民親愛の標的となりつゝあるものはジョウジ皇帝也。帝が戦時より今日に至る迄或は戦場を訪うて兵卒を勞はり、或は病院に赴むきて傷病者を慰め、其他社會事業教育事業の各方面

歐 米 見 聞 錄

に亘り東奔西走せられし活動振は、實に帝王としてのレコードを破りしもの也。労働者の労働時間は七時間に短縮せられたり、皇帝の労働時間に至りては始ご寧日なき也。故に昨今の人望は素晴らしきものにして、活動寫眞等に帝の像一度表はるゝや満場の拍手喝采鳴りも止まず。巴里の活動寫眞にては人々クレマンソー氏の出づる毎に大喝采をなせご大統領に對しては冷々淡々たりしと記憶す。佛國は共和民主と稱すれご其の大統領の官邸は高塀を廻らし警戒甚だ物々し、反之英國のバツキングラム宮殿は直に大道に面し、呼べば應に答へんとするの位置を占む。倫敦の市民は何事かある毎に此宮殿の前に蝟集するを例とす。かくて彼等は Come on, George を叫ぶ。やがて帝

歐 米 見 聞 錄
が其莞爾たる笑顔を正面立關の上なる窓口に現せば、群集は熱
狂して歡呼の聲を揚ぐ。此國に於ける帝室と人民との關係は
實に斯の如く親密也。立憲君主政治の理想と妙用とは正に爰
に存すべし。

十一、米國の印象

●戦争の創痍尙癒えざる英佛獨伊の諸國を巡視したる人が大西洋を渡り來りて一たび紐育の盛大に接する時は必ずや心中秘かに歐洲の時代の最早去れるを感ずるなるべし、實に今日の紐育は世界に於ける最偉大なる驚異の一なり、かの四十階五十階と數へらるゝ摩天の高樓の碧空を貫いて林の如く立ち、城廓の如く聳ゆる大觀が巴里倫敦をして後へに瞠若たらしめつゝあるは言はずもがな、茫洋海の如きハドソン河に臨みて八十方哩の投錨區域を有し何萬噸と稱する無數の大船巨舶を導き來りて其棧橋に横付となし得る宏大なる築港を設備するなど紐

歐 米 見 聞 錄

歐米見聞録

育は實に天惠の地利と人間非凡の技巧とを兼ね具へて現代文明の恩澤を最多く享受しつゝありと云ふも過言に非ざる也、若し夫れ第^{フサアベニユー}五街に至りては其街衢の壯麗豪華なるに於て其店頭フサアベニユーに陳列せられたる商品の豊富潤澤なるに於て買物に出かけ來る貴婦人等の服裝の華美優雅なるに於て倫敦のボンド、ストリートも巴里のリュード、ラ、ペイも遠く及ぶ所に非ず、更に歩を轉じて商業の焦點たるウォール街に出でむか、狭き道路の兩側には幾十層の巨閣高塔軒を並べ舗道より仰ぎ見るに屋根と屋根の間より僅に蒼穹の一端を覗ひ得るのみにして日光も影薄く晝尙暗き其下を富の探求に熱狂せる人々は目も眩まん計りに來往して肩摩穀擊の大雜踏を呈しつゝあるの狀亦倫敦に於

ける英蘭銀行前の比に非ざる也。

●凡ての點に於て世界第一たらむとするが米人の無邪氣なる理想なり曰くウルウオースの建築は世界最高の建築なり曰くブルツクリンの長橋は世界最大の鐵橋なりと斯の如く數へ來らば紐育丈にても無數の世界第一を發見し得べし、然るに米人は近年に至り自己の世界的地位の優秀なるを自覺し來ると共にかゝる小供らしき理想より更に一步を進め紐育を以て世界の金融を掌らしめ華聖頓をして國際政治を支配せしめむとするの意氣込を示し來れり、而して吾人は米人の此理想が今や着々として實現せられつゝあるの事實を否認する能はざる也。

●余の米國に在るや連日天晴れ風清くして滿目の紅葉火の如

歐米見聞録

く秋空に輝けり、余は米國の空を仰ぎてそが實に能く米人の氣象を代表しつゝあるを思はざるを得ざりき、凡そ自然風土が國民性の上に及ぼす影響の少からざるを事實の上に示して好個の對象をなすものは英米兩國なるべし、かの絶えず不機嫌にして曇り勝なる面持せる重苦しき英國紳士を産み出せるものが霧と煙に包まるゝ濕潤なる倫敦の氣候なりとすれば快濶にして天馬空を馳するが如き米人氣質は四時拭ふが如く澄み渡れる米大陸の自然の所産なりと云ふを得べき也。

●英國は今や全盛の絶頂に上りつめし老大國なり、米國は日進月歩の勢を以て勃興しつゝある新進國なり、英人も米人も共に奮闘努力の國民なるは世界の均しく認むる所なりと雖前者の

努力が已に得たるものを失はざらむとするの努力なるに反し
 後者の奮闘が更に進んで何物かを獲得せんとするの奮闘なる
 に於て其間に大なる逕庭の存するを認めざるを得ず、米國の社
 會が活氣躍動せるに對して英國の社會が稍沈滯の色を呈する
 は誠に止むを得ざる也、然して英米の此對比は思想的方面に於
 ても亦之を認め得べし、蓋し英人は之を個人に譬ふれば老成の
 人也、老成の人は論理よりも心理を尊び歴史を尙ぶを其通性と
 す、故に英人の思索は常に實際を離れずして穩健中正なり、隨つ
 て彼等に思想上の意見を叩けば何れも大同小異なるを免れず、
 是れ英國の思想界の一見貧弱の觀ある所以なり、然るに米人は
 之を個人に譬ふれば青年也、青年は心理、歴史に拘泥せずして論

歐米見聞錄

理に徹底せずんば止まざるの傾向あり、故に米人の思索は動もすれば常識の埒外に逸出して矯激に流るゝの嫌なきに非ざれど一方より見れば是れ却つて米國の思想界をして波瀾萬丈ならしめ生氣潑瀾たらしむる結果となる也。

●活躍せる米國の思想界には多種多様な思想雜然混然として存在し居れり、一方には敬虔なる基督教主義の上に立ちて平和人道を説く者あると共に他方には力の福音を信じて帝國主義に共鳴するものあり、ブライアン氏を以て前派の使徒なりとなさば故ルーズベルト氏は後派の代表者なるべし、故にいかなる思想が今日の米國に於て最有力なりやと云はゞ正に群雄割據の状態なりと答ふるの外無からむ、我國には米國を以て正義

の理想郷の如く有難がる人もある様なれどかくの如きは一部の宣教師等の話を聞きて直に米國の全般を推斷せる迷信なる事申す迄もなし、さればとて又一部の人の如く米國を一概に黃金宗の本山なり物質萬能主義の國なりと貶し去る事も一を知つて十を知らざる短見たるを免れず、故ルーズベルト氏の如きは力の信者なりしかど決して物質萬能主義者に非ずして熱烈なる正義の愛護者たりし也、所詮米國人は今尙偉大なる未成品なるが故に一定の思想上の型を持ち來りて是が米人の思想也特質也と斷じ去る事は不可能なり、況んや戦後の今日世界を通じて思想界の最動搖を起しつゝある時に於てをや、

●米國に統一的思想を見出す事は困難なれど米人の氣風の中

歌 米 見 聞 録

に多量の好戰的尙武的素質を含有する事實は吾人の否認するを得ざる所也、例之紐育に於ては今日カーキ服の幅が利く事日露戰爭當時に於ける我軍人の持て方の比に非ず、彼等の中には汽車電車等無賃にて乗車し居る者さへある位なり、又活動寫眞等にて艦艫船艦相啣みて堂々波を蹴りつゝ進航するの映畫現はれむか満場の觀客は極度迄熱狂し分別盛の四十男迄が足踏み鳴らして歡呼すると云ふが如き有様なり、勿論如斯は戰後日尙淺きが故の現象かは知らねど巴里倫敦に於て一度も如此光景に接したる事無かりしより考へ回らせば是れ儘に米人の好戰性を物語るものと云ふべきなり。

●余は華聖頓に於ける癡兵院を一覽して米國に於ける軍人優

歐米見聞錄
待方法の完備せるに驚嘆せり、十萬坪と稱する其敷地の中には
王侯貴人の別荘かとも思はるゝ計りなる蕭洒なる幾棟かの寄
宿舍彼處此處に散在し別に廢兵慰安の目的を以て建てられた
る宏壯なる劇場、圖書館の設備あり、又廢兵中勞働に堪え得る者
の爲には廣濶たる農場及牧場を開きて彼等をして自ら樂みつ
ゝ耕作搾乳の業に従はしむる等眞に到れり盡せりの觀あり、然
して余の更に驚嘆に堪えざりしは是等の設備が凡て富豪の寄
附によりて完成したりしてふ一事也、總じて米國の富豪が各種
の教育事業慈善事業に莫大なる巨費を惜まず投出す事は珍ら
しからず、我國にては金さへ出來れば直に一廉の紳士に成り濟
まし總理大臣の宴會に呼ばれても人之を怪しまざれど米國に

歐 米 見 聞 録

てはいかなる大富豪と雖國家公共に對して直接何等の寄與をなさない人は紳士の仲間入が出来ず士人は之と共に齡するを耻づるの風習あり、故に彼等の寄附行爲は一種の名譽心より出づと稱しても差支なけれど夫にしても是丈の立派なる仕事をなしつゝある以上其動機が純正なる公共心に出でたるや否やは深く問ふを要せざる也。

●米國近時の政策が著しく帝國主義的色彩を濃厚ならしめつゝあるは其陸海軍擴張計畫に於て明白也、米國海軍が今後十年にして大英帝國の海軍を凌駕すべしとは海軍卿の親しく言明せる所なるが陸軍に於ても戦前には僅に十七萬の兵士と五千の士官とを有するに過ぎざりしに戦争参加となるや大々的徴

募を行ふて一躍四百萬の大軍を編成し内二百萬を歐洲に送り戦後も亦約三十萬の兵數を存し且全國の壯丁に六ヶ月の軍事教育を施す計畫なりと云ふ、今日國際聯盟に於ては如何なる標準により軍備の制限を行ふべきかに付未だ具體的の方策確定せざれど目下の處人口に比例せしめむとするの説最有力なるが如ければ結局は米國の右兵數と全米人との比例を以て制限の基準となすに至るべし。

●米國の帝國主義的傾向を示す他の一例は昨今に於ける旺盛なるルーズベルト熱なり、殊に余の滯米中は米國全土に亘りルーズベルト記念碑建設基金募集の大宣傳行はれし際なりしかば旅館店頭汽車電車到る所に氏の肖像掲げられ巴里に於ける

歌 米 見 聞 錄

クレマンソー氏以上の素晴らしき人氣なりし、蓋し時艱にして偉人を懷ふは人間普通の心理也、ル氏の晩年は恰もウキルソン氏の勢望隆々として天下を壓倒したりし、當時に際會し對照上甚しく孤影落莫の觀を呈したりしと雖其後間もなく講和會議の開かれてウキルソン氏の不評判となるや此地下の英雄は再び蘇り來りて米國一の人氣者となれる也。

●余は秋晴の一日自動車を驅りてオイスターペーに臨めるルーズベルト氏の墓を訪へり、墓は群松と浪の音と相争へる一小丘の上に在り、灣を距て、遙かにル氏の舊宅と相對す、此日は日曜ならざりしかど尙自動車にて來り弔ふ者引きも切らざりしが墓番の言ふ所によれば日曜日には參詣者踵を接して集まり

非常の雜踏を呈すと云ふ、參詣人名簿の中には後藤男を始め日本人の署名數多あり、亦以てルーズベルト氏が如何に我國民によつて敬愛せられつゝあるかを知るに足る、蓋し多くの米人中ルーズベルトの名程日本人の耳朵に親しき響を傳ふるものはなかるべし、而してオイスターベリーの名も亦ル氏の名と共に日本國民の永久忘るゝを得ざる所也、何となればル氏が大統領として仲介の勞を取りし日露媾和談判の舞臺は實に此灣に於て其最初の幕を切つて落したる因縁あれば也、即ち明治三十八年の夏日露の干戈收まりて愈ポーツマスに談判開始と決するや兩國全權は先づ此地に避暑中なりし大統領ルーズベルト氏に敬意を表すべく來訪しかくて平和の握手は此灣に碇泊せる大

歐米見聞録

統領乗用のヨットの中に於て行はれたりし也、爾來僅か十餘星霜を距て、當年の花形役者たりしル氏を始め小村ウキツテの諸氏皆此世に在らず、余は松の露夕に落ちて汐風秋草を吹くあたりに佇みつゝ、無量の感慨に沈まざるを得ざりき。

●余が紐育滞在中十月二十四日は偶ルーズベルト氏の誕生日に相當せるを以て氏が生前會長たりしロツキ、マウンテン、クラブはホテル、ワールドルフに於て盛大なる宴會を催せり、此日はかの歐洲戦後の食料管理に於て非凡の行政的手腕を表はし次期大統領候補者として昨今共和民主兩黨より引張旗となり居れるフーバー氏並にルーズベルト大統領時代の國務卿たりしル―ト氏を始め多數知名の士列席せしが余も亦日本最負の老

人クンツ君の好意にて鶴見祐輔君と共に參會するを得たり、當日會場に宛てられし大食堂は天井と言はず周圍の柱と云はず一面星條旗を以て蔽ひ包まれ濃厚なる米國主義的色彩を呈せり、宴酣なるの頃唳曉たる國歌の吹奏起るや正面に懸けられたる三大國旗の背後よりワシントン、リンコルン、ルーズベルトの三大肖像代るく表はれ出で滿場の大喝采を博せしが就中ル氏の肖像は氏がロッキー山麓の原野を駿馬に鞭ちつゝ疾驅するの雄姿なりければ衆皆之を仰いで歡呼の聲堂を撼がせり、やがてデザートコースに入るや列席の名士交ちて故人の人格と功業とを稱へ何れもル氏を以てワシントン、リンコルン以來の名大統領なりとするに一致せるものゝ如かりし、佛國大使亦流暢輕快の辯を

歐米見聞録

振つて故人との交遊を追懐し最後に至り余は只今入手せし佛國首相クレマンソー氏の祝電を諸君の前に御披露するの光榮を有すと云ふや満場總立となりて熱狂し、樂隊が此時隙さず吹奏し初めし佛國國歌の曲に連れて一同聲を合せてマルセーユを歌ひぬ、かくて氏の誕生日宴會は非常の盛況裡に散會したりき。

●今日米國に於てサタデー、イブニング、ポストと共に最賣行の多き雑誌コリエーの主筆チャイルド君は文學者として有名な人なれど又一面には卓抜なる政治的見識を具へルーズベルト派中の錚々たる活動家也、然して故ルーズベルト氏が終生渝らざる日本の友人にして常に日本の武士道を自身に體得せるを誇どしたりし如くチャイルド君も亦日本の國民性を最も能く

理會し日本の立場に對し深大なる同情を有する人なり、氏の家はワシントン、スクエーヤに在り、此邊は昔町外れにして富豪の住宅地なりし故今も尙當時の厩殘存せり、此厩は其後内部に修理を加へて畫家美術家等一風變りし人々の住家となりしが氏の家も亦此厩の一部にして余が氏夫妻より午餐の饗を受けしも亦此厩に於てなりき、氏は二三年前東洋を漫遊して以來東洋民族中最現實的經世的なるは日本人のみにして支那人印度人露西亞人等は抽象的思索的なれども政治的能力を缺如すとの確信を抱くに至り過般山東問題の起るや米國上下に排日の氣勢磅礪たりしにも不拘氏は獨り敢然として日本の爲に辯し東洋の事は日本に一任するが結局東洋の爲にもなり世界の幸

歐米見聞録

福ともなると迄極論し大反對を受けたりと云ふ、現今米人中には随分日本最負と稱するものあれど其多くはセンチメンタリズムの範圍を出でざるが故に往々にして最負の引倒しに了る、然るにチャイルド君に至つては稍是と趣を異にし其所論は概ね實證的經世的根據を有す、故は余は氏を目して日本に取り最頼母しき友人の一人なりと斷言するを躊躇せざるなり。

●クンツ老人は紐育一の寶石商タイプアニーの顧問にして寶石の鑑定に於ては米國のオーソリテイなりとの事なるが此人亦非常なる日本最負也、氏は又大の世話好きにして各方面に關係を有するものから其多忙なる事眼が廻る様なり、ルーズベルト氏の誕生記念會に余は同老人と席を同じうしたりしが氏

は其晩丈でも三個處に宴會の約ありと云ひ宴半にして一旦退席し他の二個處に一寸顔を出して再び舞ひ戻り來れり、思ふに此世の中に米人程多忙なる人種はこれ無かるべし、時は金なりとの諺は實に米人によりて始めて實際生活の上に體現せらるゝ也、かの悠々閑々たる倫敦巴里に於て屢痼癢玉を破裂せしむる氣短の日本人も紐育に來りては其生馬の目を抜くが如き快速敏捷に只々呆然として自失する斗りなり。

●米人は多忙なるが故に隨つて時間の利用には頗妙を得たり、而して余は其一例をニューレバブリック社の諸氏に於て是を見たり、ニューレバブリックは急進的なる社會評論雜誌にして其執筆者にはクロリーの如きウエイルの如き頭腦明晰なる

歐米見聞録

思想家を有し論壇一方の勇將なるが余は或日クローリー氏に面會せんとて其希望を通せしに何日午食に御出被下度しどの案内を受けたり、仍つて余は當日鶴見君と共に正午頃其社を訪ひしに一人の受付出で來りて食事時間迄は尙三十分程あれば暫らく應接間にて待たれよと云ふ、やがて定刻となるやクローリー氏始め編輯同人は二階の編輯室よりドヤ／＼と降り來り別に初對面の挨拶とてもなく直に余等を案内して食堂に入れり、客は余等の外に最近埃太利より歸りしと云ふ一紳士ありて頻りに戦後中歐諸國に於ける疲弊の著しきものあるを物語り居たり、かくて食事了ればクローリー氏等はサツサと再び階上なる編輯室へ退きぬ、如此此連中は食事時間を面會時間に充て

共に食事しつゝ各方面の人々の土産話やら感想やらを聞きて以て自己の智囊を肥やしつゝあり、日本に於ては時を定めずして人を訪問し無駄話に貴重なる時間を空費せしめて憚らざるが如き悪習あれど如此は米人の時間利用に鑑みて一日も早く改め度きもの也。

●多忙にして迅速を尙ぶ米人は身邊の修飾に頓着する邊なし英國人は鏡に向ひて身装を整ふるに三十分を要すれど我々は朝起きて顔を洗ひ髪を梳り着物を着替へ了る迄十分間あれば足れりとは米人の屢誇らかに語る所なり、歐洲に於ては紳士は外出の際必ず手袋とステッキを欠かさぬ風習ありて手ぶらで歩くは労働者か何ぞに限られ居れど米國に來て見ればステ

歐米見聞録

ツキを携帯し居るものは殆無く是を用ふるは只夜間若くは散步の時丈なり、蓋し倫敦巴里とは比較にならざる程繁華般賑を極むる紐育の市街はステツキを振り廻はすべく餘りに雑踏しつゝある也。

●米人は巧運よりも拙速を尊ぶ、故に粗製濫造の譏は米國品に於て免る可らざる所也、是を自動車に就きて見るも一日の製作高三千臺の多きに上ると云ふフォードは勿論一般に米國製自動車の粗惡なる事は歐洲製の比に非ず、然れども米人の粗製には相當の申分あり、即ち絶えず改良の工夫を運らすを怠らざる米人は同一の機械を十年以上も使用するを以て却つて進歩の妨なりとなすに似たり、故に彼等は英人が堅牢にして數十年間

の使用に堪ゆるが如き機械を製作するを冷笑しつゝあり、新を逐ふて走る米人と舊に泥みて捨てざる英人との相違は此邊にも表はるゝ也。

●更に米國の英國と異なるは諸般の設備の組織的系統的なる事是也、例之余の佛國より倫敦に到着せし晩の如き乗客の荷物はヴィクトリヤ停車場のプラットフォームに山の如く積まれ余は出迎に來りし小山芦澤兩君と共に其中より自分の荷物を捜し出すに約一時間を費し夜は益更けてホト／＼閉口したり、然るに紐育に上陸の際は乗客の荷物に豫め姓名の頭字を貼り付け置き、A、B、Cの順にて之を棧橋に陳列する仕組となり居りし爲何等の手數を要せざりき、又倫敦の書肆にありては各方面

歐米見聞録

の書物雜然として排列せられあるが故に所望の一本を捜し出すにも尠からざる時間と勞力とを費さざるを得ざりしが紐育の書肆殊にプレントナーの如きにありては書物は皆部類別けに整へありて一目瞭然たるのみならず地下室には世界各國の雜誌年月順に揃えあるなど研究者に便益を與ふる事鮮少ならざる也。

●米國に於ける婦人の勢力は至りては男女同權を通り越して寧ろ女尊男卑に近し然して番に社會上の不文律若くは道德律としてのみならず法の明文の上に於ても女子に有利なる規定甚多しこの事なるが特に目立ちて奇異の感に打たるゝは婦人が昇降器に入り來りし時器中に在る男子は脱帽せざる可らざる

習慣是也、故に薄汚きエブロンを胸に掛け洗濯籠を背負へる見
すばらしき婦人に對して並み居る紳士が一齊に脱帽敬禮をな
すの喜劇も時、演出せらるゝ也、勿論婦人に對して相當の禮儀を
守るを主義とする以上其婦人が貴婦人たると洗濯婆たるとに
よりて待遇に差等を催くる謂はれなければ、只昇降器内の脱帽
に至つては其何の故たるやを解するに苦しまざるを得ず、然れ
ども翻つて思ふに米國婦人の如斯尊敬せらるゝ所以のものは
單に美的崇拜の偶像たるが故に非ずして其目覺ましき活動振
に負ふ所少しとせず、歐洲に於て婦人が自動車を操縦する事は
極めて珍らしければ、紐育の婦人に取りては如此は朝飯前なり、
余は或日郊外に一友人を訪問せしが其人の借家の主婦と云へ

歐米見聞錄
るは最早五十の坂を越えたる老婆なるに拘らず余等を自動車に載せて自らは是を操り往復七十哩のドライブをなし更に歸宿後は自ら調理せる夕餐を余等に饗して款待頗る力めたり、出でゝはハンドルを握り入りては包丁を取る、因循姑息なる日本婦人の如きは米國婦人の此活動に對して正に慚死すべき也。

十二、米國の排日

余の滯在中米國政界に於て萬目注視の焦點たりしは實に山東問題なり。此問題は本年四月巴里に於て解決を告げたりし當時より引續き喧囂を極め九月十月に至るも尙終熄せず、日刊週刊月刊の新聞雜誌等何れを擴げ見るも大見出しを附して是を論じつゝありき、然して其要旨は大部分日本に對する惡口なる事申す迄もなし、曰く日本は第二の獨逸にして支那を併吞せんとする野心を有す、曰く山東は支那の咽喉にして此地を日本に與ふるはこれ東洋の平和延いては世界の秩序を紊す所以なりと讒謗罵詈を恣にせしのみならず或上院議員の如きは日本

歐米見聞錄

米國の排日

歐米見聞録

を以て盗人なりと放言し又ロツヂ氏の如き老巧の長者さへも其上院に於ける演説に於て約二時間に亘り日本の野心を詳述し日本政治家の聲言は凡て信を措くに足らずと迄極論せり。

此種の言論は一面より之を見れば共和黨が大統領攻撃の爲にする手段にして深く意に介するの要なきに似たり、某氏の如きは一上院議員が石井大使に對し「今度の日本攻撃は全く黨略上止むを得ざる次第にて他意なければ其點御諒承被下度し」と語りたる事實を擧げて樂觀的口吻を洩らし居れりとか聞く、然れども翻つて思ふに苟も或問題を提げて之を政争の具に供せむとする以上其問題は必ず國民一般の輿論と共鳴する所なる可からず、輿論と共鳴せざる言論を楯として政權を争ふも到

底目的を達する能はざればなり、即ち今度の青島問題の如きも日本を侵畧の國也、武斷の國也と誹謗する事が米國一般の人氣に投ずればこそ彼等は之を取つて以て政争の問題となせるなり、故に吾人は彼等の排日的言論の動機が政争に在るの故を以て安心すべからず、宜しく米國人心の機微を探りそこに動きつゝある排日の暗流を捉へざる可らざる也。

我國の人々は多く米國に於ける排日の聲を以て只太平洋岸に限らるゝと思惟するものゝ如けれど東洋問題が米國朝野の注意を惹くに至りし今日にありては西部輿論の東部に及ぼす影響甚大なるを知らざる可らず、前加州知事にして現加州選出上院議員なるジョンソン氏の如きは西部地方に於ける日本人

歐米見聞錄

の發展の怖るべきを説き此儘にして推移せば太平洋岸は遂に日本の領有に歸すべしなど、警告的演説をなして到る所に米國人の神經を刺戟しつゝある始末なれば、今や排日的氣運は澎湃として米國全土に蔓延しつゝありと云ふも過言に非るなり。かゝる排日の原因は種々あるべく人種的偏見の如きも其一ならむ、總じて白人殊にアングロサクソン人種が有色人種を嫌惡するの事實は米國に於ける黒人の待遇に就き見るも明白に看取し得らるゝ處にして余等は巴里よりも倫敦に於て一種の人種的壓迫を感じ更に紐育に來りて益其意識を高めたり、此偏見を除くは決して短時日間に成し遂げらるゝものに非ず氣長に徐々と取り掛るの外なかるべし、次に日本に對する嫉妬も亦一

原因なり、蓋しペルリの開國以來日露戦争の頃に至る迄自ら手を取りて導き來りし日本が急速の發達を遂げて今や太平洋の彼岸に儼然たる大勢力を扶殖するに至れる事實は米人に取り非常なる脅威たらずむばあらず、思ふに日米の關係がかのポーツマウス談判を限界として從來とは打つて變りし如き險惡の相を示すに至れるは何人も否認する能はざる所なるべし、更に又他の原因は日本人の側にもあり、即ち日本人の非同化性はなり、余は今度の巡遊中到る處の大都會にて日本俱樂部の大入大繁昌なるを見たりしが是は一面日本の發展を意味するものにて喜ぶべき事かは知らねど又他面より見れば此事は日本人の非同化性を最能く示し居る也、素より海外にある日本人が協力

歐米見聞錄

一致して相互の利福を増進するに力むる事は結構にして其爲の機關としては日本俱樂部も亦必要なり然るに米國殊に西部にある日本人等は互に嫉視反目して嘗て何事にも團結合同したる例なく彼等が日本俱樂部に集るは只單に米の飯を食ひ牛鍋をつゝく爲なりと云ふかくては折角の俱樂部も日本人をして益日本式衣食住に對する執着心を起さしめ西洋人及西洋生活への同化を困難ならしむる以外何等の意義なきものとなるなり其他或は加州方面にて偏狹なる國家思想の見地より日本兒童に日本語を強ゆるが如き或は本願寺別院を建て、宗教迄も區別する如き或は又索性怪しき酌女を聘して夜更くる迄三絃の音に近隣の安眠を妨害するが如きこれでは排日を喰ふも

無理ならずと思はるゝ點多々あり、如此欠點は實に日本帝國の膨脹發展の爲に深く惜むべき所なりとす。

右述ぶるが如く排日の原因は數多けれど其最近に於ける最有力なる動機は日本を以て軍國主義の國なりとなす支那側のプロバガンダが米國の智識階級を動かしたるにあり、余は米國に於ける最近の排日的傾向が彼の國の資本家階級よりも勞働者階級よりも智識階級に於て著しく認めらるゝの事實を見て益々米國に對するプロバガンダの必要を感ぜざるを得ず、蓋し資本家階級の排日の因て來る處は多く利害關係なるが故に經濟事情の變動と共に利害の相一致する場合を生ずれば排日を轉じて忽ちに親日となす事を得ると共に利害相反する場合には

歐米見聞錄

何如に筆舌の力を籍りて日米親善を彼等に説くも必竟馬の耳に念佛也、随つて資本家階級に對してはプロバガンダは餘りに有効なりと云ふを得ず、此點に就きては勞働階級もまた同様なり、然るに智識階級の排日に到つては其基く所利害關係の相違に非ずして道德的理想の相違なり、即ち支那側のプロバガンダの巧言令色に酔はされし彼等は日本を以て一圖に武力的侵略を國是とする利己本位の國也、米國とは建國の精神に於て相容れざる國なりと頭から決めて居る也、如此利害に基かずして道德的理想に基く所の排日に對してはプロバカンダの力によりて其誤解を釋くを得、然して余は今日此方面のプロバガンダが何よりも急務なりと信ずる也、何となれば彼等知識階級は與

論の指導者たる地位を占むるが故に其思想は論説となり著作となり演説となりて瞬く間に廣汎なる範圍に亘りて影響を及ぼし何時の間にか一般人心に抜く可らざる先入主的排日感情を植ゑ付くる危険あるを以てなり。

思ふに如斯結果を來したるは全く日本の立場が彼國の智識階級に知られ居らざる故にして支那側の誇張的プロバガンダは彼等の日本に關する知識の空虚に乗じて其跳梁を逞しうせる也、これには在米日本人にも責任あり、即ち彼等の重立ちたる人々は大抵會社銀行等より出張し居る人々なるが是等の人々は取引關係と彼國の實業家資本家階級の人々とは多少の往復交渉をなすならむも日本人の常として商用以外に廣く一般人

歐米見録聞

士と交際するが如きは減多にこれ無きが故に彼國知識階級の
人々の如きも日本を知るの手段と機會とを有せざる也、知識階
級中にては大學の教授連のみ僅に留學生を通じて日本を知る
位也、然るに米國に在る日本の留學生は概して其品質に於て優
秀ならざるもの多く支那留學生の方遙に勝れりと云ふ、隨つて
留學生を通じてのみ我國を觀察する知識階級の諸先生が日本
よりも支那に同情するに至るは當然の事と云ふべし、余は米國
に對するプロバガンダとしては實業家同志の交歡もさる事な
がら更に一般知識階級の方面を開拓する事一層必要なりと信
ずるもの也。

米國人をして日本は侵略の國也盜人の國也と誤解せしめ

しは支那側が我從來の對外政策を針小棒大に言ひ觸らせし結果に相違なければども元々火の無き所には煙の昂る道理なし、此點に就きても我國民は一步退きて深く自ら戒むる所なかる可らずと信ず、かく申せばとて余は決して所謂軟弱外交を讚美するものに非ず、かの米國の鼻息をのみ覗ひて我國權の伸張を甘じて阻止するが如き態度は余の斷じて與みする能はざる所なりと雖今日の世の中に於て戰國策其儘を實行せむとするが如き軍閥一味の人々に對しては余は疾呼して其不謹慎を鳴らさざるを得ず、西比利亞の出兵に際して最初七千の兵を出すと聲明して置き乍ら何時の間にか七萬の兵をしかも狐鼠くくと送り出したる事はいか斗りウキルソンの感情を害せしかいか

歐 斗り帝國の不信を中外に曝露せしか實に計り知る可からざる
ものあるなり、余はこゝに西比利亞出兵の是非を論せんとする
米 ものに非ず、又米國の顔色を見て恐をなし居るものにも非ず、只
見 帝國が出兵に就きて米國其他と充分の了解を遂げ居らざりし
聞 事を深く遺憾とする者なり、抑面積狭くして人口溢れつゝある
録 我國が外に向ひて膨脹するは誠に自然の勢にして我國民たる

者は宜しく正々堂々と自己の生存の爲に其發展の地を要求す
れば可也、然して我國の此立場を米國人其他に篤と了解せしむ
る爲にプロバガンダの必要起り來る也、然るに何等の時代錯誤ぞ、
彼の軍閥の徒輩は我帝國發展の策を講ずるに當りて此近代的
なるプロバガンダの方法に依る事をなさず大昔支那に流行せ

し戰國策を借用し來らむとす、思ふに今日の如き公開的民本的時代に於て舊式なる權謀術數を弄する事は智に似て反つて智に非ず目的に達するの捷徑たるが如くにして實は反つて目的を誤るものなり、故に米國等に對してはプロバガンダの方法に依り公々然と最も率直に我帝國の膨脹の止むを得ざる所以を述べて我立場を了解せしむると同時に道德的理想に於ては日本人も米國人も何等異なる所なしといふ事をよく彼等の腦裏に徹底せしめ且つ事實に依りて之を立證する事が最も賢明なる方法なりと思惟す、余もシャトルを出發する前日此趣意を以てある新聞記者に談話を試みたりしが其記事を見たる鐵道企業家サミュエルヒル氏は翌朝余の出發間際に態々ホテルまで訪

ね來りて君の説は全然賛成なりと温き握手をなしたりき、要するに米國及米國人に對する要訣は包みかくさず何事も能く語るにあり、希望も之を語り不平も亦これを語る、さすれば排日の妖雲も遂に一掃せらるゝの時ある可き事余の信じて疑はざる所也。

歐 米 見 聞 錄

十三、米國に於ける種々なる解放運動

米國に於ては戰後に至り種々なる意味に於ける解放運動が一齊に其芽を吹き出し始めたり、即ち白人の壓迫に對する黒人の解放を目的とする人種運動強國の支配を脱して獨立を完うせんとする愛蘭人印度人朝鮮人比律賓人の民族運動及び資本家に對して勞働者の地位の向上を要求する勞働運動等は其主なるものなり。

歐 米 見 聞 錄
英領殖民地時代に奴隸五萬頭と稱せられし黒人が獨立戰爭の頃には五十萬頭となり南北戰爭の時代には五百萬頭に上り現今に於ては一千萬人を數へられて米國總人口一億の一割を

米國に於ける種々なる解放運動

歐 米 見 聞 錄

占むるに至りし事實は人種問題が如何に米國に於て容易ならざる大問題となりつゝあるかを想像せしむるに十分なり、況んや彼等は其人口の繁殖に於て以上の如き優勢なる數字を示せるのみならず、其教養と財力とに於ても近來著しく上進して中には白人の壘を摩せむとする者さへ生ずるに至れるが故に此問題は益重要なる意義を帯び來りたりと謂ふべき也、即ち公平に見て今日の黒人は最早野蠻人を以て目すべきに非ず、彼等は彼等の教會を有し、彼等の大中小學を有し、彼等の新聞紙を有し、其文學と其理想と其經濟的生活とは優に白人と對抗すべき一大勢力を築きつゝあるなり。

黒人の如此發展に對する米國白人の態度は飽迄も壓迫なり

排斥なり凌辱なり然して黑人待遇の方法は地方により多少程度に差等あれど其最峻酷を極むるものを南部地方とす、即此地方に於て黒人は投票の權を有せず、法律を以て白人との結婚を嚴禁せられ教會學校公園其他公共的設備を利用するを得ず、ホテル料理店に賓客となるを拒まれ電車汽車中には白人と同一の價を支拂ひ乍ら全く之と隔離せらるゝ也、北部及西部にありては其制限南部に於けるが如く甚しからずと雖白人の對黑人感情に於ては前者と甲乙なく黑人にして會社なり工場なりに雇はるゝ場合には多く最下等の仕事を宛がはれいかに熟練の技能あるも昇進の望は殆是なしと云ふ、これ黒人中材能あるものをして自由職業に走らしむる所以にして紐育市俄古等に

米國に於ける種々なる解放運動

ては黒人にして或は辯護士となり或は醫師となり或は新聞記者著述家となりて活動しつゝある者尠からざる也。

歐 米 見 聞 錄

白人の壓迫と凌辱とに對する黒人の憤怒が今正に沸騰點に上りつゝあるは昨年中華聖頓市俄古に於て黒白人間に劇烈なる大衝突を惹起したりしに徴しても之を知り得べし、余が歸朝の途次市俄古より乗車するや余のコムバートメント付の黒人ボーイは市俄古の鬭争に参加せしと云ふ屈強の若者なりしがシヤトルに至る三日間暇さへあれば余の許に來りて兩眼に悲憤の涙を湛へ切齒扼腕して白人の横暴を罵り居たり、米國の汽車ボーイは多く黒人なるが彼等は旅客中に日本人を見出す時は必ず其窮狀を訴ふるものと見え余は滯米中同胞諸君より同

様の話を開く事屢なりき。

民族の解放運動も亦今日米國に於て一種の流行となれり、蓋し今次の講和會議に於てウキルソン氏の正義人道論が海山千年の歐洲外交家に幾千の影響を及ぼしたるや頗る疑問とせらるゝ所なりと雖そが世界の弱小民族に對して與へたる感化の甚大なるものありし事實に至つては吾人の到底否認するを得ざる所なり、即ち歐洲の各國が恰も瘠犬の餌を漁るが如く最淺間しき國民的利己心を曝露したりし其際に獨り米國のみが何等の報償をも要求せず其學者大統領の口を籍りて永久平和と云ひ民族自決と云ふが如き高遠なる理想を天下に鼓吹したり

歐米見聞錄

米國に於ける種々なる解放運動

し事は多年強國の壓制に苦しめる民族に對し絶好の機會と口實とを與へたるものにして彼等が米國の力に縋りて其解放の目的を達せんとするに至れる亦怪しむを須ゐざる也。

然れども是等の獨立運動は愛蘭人の運動を除くの外殆言ふに足らざる也。朝鮮人は昨年三月の暴動を機會に上海なる假政府と相呼應して費府なる自由の鐘の下に獨立の氣焰を擧げたりしが其後は杳として音沙汰なし印度人は恰も余が華聖頓を訪れし際頻りに政府上院の重立ちたる人々を歴訪し我大使館にも來れる模様なりしが是亦何等の反響なかりし如し。

もし夫れ愛蘭人に至りては其米國に移住し居る者四百萬人を以て數へらる、即ち其數に於て前二者の比に非ざるのみなら

す其米國の政界に於て有する勢力は頗偉大なるものあり、今彼等が政治上にしかく重きを成すに至りし所以を考ふるに(一)愛蘭人は天性政治に狂奔するの國民にして政治運動には頗巧妙なる手腕を有せり(二)タマニーホルの實權を握る者は紐育州の政治を支配し紐育州の政治を支配するものは全米國の政治を支配すとは米國政界の情偽に通ずる士の均しく認むる所なるが其タマニーホルの牛耳を執るものは實に愛蘭人也(三)今や勞働運動は單なる賃銀勞時に關する經濟上の問題を離れて政治上の大問題となれる次第なるが其勞働者中最勢力あるものは愛蘭移民也(四)舊教は政治上に侮る可らざる勢力ありて大統領の選舉にはカソリック教徒の投票を無視するを得ずと云

米國に於ける種々なる解放運動

はるゝ程なり、然して舊教徒と云へば多く愛蘭人なる事申す迄もなし。

歐 米 見 聞 録

かくの如く愛蘭人は天性政治的資質を有し合衆國政治の關鍵を握れるのみならず其勢力は更に勞働運動舊教運動を通じて益伸張しつゝあるが故に吾人は米國政治家が愛蘭人を度外しては到底其地位を保つ能はずと云ふが如き時代の遠からず來るべき事を豫想せざるを得ず、己に今日と雖かの勞働者間に賣行最多きハースト系新聞の如きは勞働者の歡心を買はんが爲には愛蘭人に同情を表するの要ありとし盛に反英熱を煽り延いては排日にも及びつゝあるが之に伴ひて全國の輿論も亦近時著しく反英的色彩を呈し來り愛蘭の獨立に左袒するの傾

向を生じつゝあるは吾人の明に看取し得る所也、思ふに愛蘭問題を中心とする英米今後の關係は國際政局の上に於ける最興味ある見物なるべし。

比島の獨立も亦漸く一部米人の話題に上りつゝあるが如し、然れども最近華聖頓を訪れし其獨立運動代表者に對する米國政府の取扱振に徴すれば未だ此問題が眞面目なる考慮を拂はるゝ時期に到達し居らざるを思ふ、蓋し朝鮮愛蘭の尻をつゝきて其爲には對英對日の國際的關係を犠牲に供するも敢て辭せざる程の民族自決主義の大本尊が御自身の御膝元より起り來れる此要求に對して如何の態度に出づべきかは世人の注目する處たりし也、然るに代表連の華聖頓に著するや參謀次長は之

米國に於ける種々なる解放運動

歐米見聞錄
を停車場に迎へて懇懃なる挨拶をなしたる後一行を陸軍卿の官邸に案内し愈會見の幕となるや陸軍卿は先づ自ら進みて比島の獨立は正義人道を重んずる米國の最熱望する所なりと告げ但し今日は未だ其時機に非ざる旨を婉曲に諷し代表者をして一言半句をも吐かしめず直に之を食堂に招して饗するに山海の珍味を以てし終りて一行を自働車に乗せ市内外の名所舊蹟を巡覽せしめかくて二日間下にも置かざる歡待振を示したる上見事に華聖頓を退去せしめたりといふ。

米國に於ける勞働運動亦輓近に至り甚しく險惡の兆を呈し來れり、由來奇激突飛なる社會運動はサンヂカリズムの本場な

る佛國を始めとし歐洲大陸に於ては往々之を見たりし處なり
 と雖英米兩國にありては勞働者の要求概ね常識の軌道を離れ
 ず極端に走る事なきを常としたりき然るに戦後の今日にあり
 ては全然其地位に顛倒を來し佛國の如きは事態頗る靜穩の觀
 あるに反し英國に在りては昨年休戦より本年七月末迄に九百
 餘件の罷業を見米國にありては本年一月より九月迄に三千餘
 件の罷業を數ふる始末にして紛々擾々未だに完全なる解決を
 告ぐるを得ず殊に其罷業は交通機關に多きが故に余等の如き旅
 行者は屢々豫定のプログラムに支障を生じ迷惑此上もなかりき。
 余が滯米中特に重大視せられたりしは鋼鐵工の罷業なりき、
 抑ゲーリー氏を社長として全國五十萬の鋼鐵工の約半數を包

米國に於ける種々なる解放運動

歐米見聞録

有する米國製鋼會社は從來勞働組合を認めざるを以て方針となし來りしが昨年セントポールに開かれし鋼鐵工會議及本年六月の全米勞働大會が何れも鋼鐵工團結の動議を成立せしむるや此處に鋼鐵工結束の機運は漸く熟し來り終に米國勞働聯合會長ゴンバース氏を通じてゲーリー氏と勞働條件の協定をなすべき運にまでなりたりし也然るにゲーリー氏は勞働者の團體を認めざるを理由として再三の申込ありしに拘らず斷乎として面會を拒絶したりしのみならずゴンバース氏の依頼に基くウイルソン氏の面會斡旋に對しても亦是を峻拒したりが故に鋼鐵工側は九月二十二日を以て終に同盟罷業の舉に出づる事を決心するに至れり。

當時ウイルソン大統領は講和條約批准に關する上院反對派の挑戦に應じ太西洋沿岸遊說中なりしが此報に接して大いに驚き直に電報をゴンバース氏に送りて罷業を十月六日迄延期せん事を乞へり、蓋し十月六日はウイルソン氏が豫め合衆國內に勞働問題の漸く紛糾し來れる形勢に鑑み勞資間に協調を保たしむる目的を以て召集したる會合の當日に相當すればなり、然るに右電報を接手したる鋼鐵工側はピッツバーグに於て大會を開き二日に亘りて激論を闘はしたる後終に大統領の勸請を斥けて大舉同盟罷業に突進するの決議をなしたりしを以てこゝに兩者は協議不調の儘にて十月六日の勞資協調會を迎ふる事となりしが愈開會となりてゴンバース氏が團體契約を認

米國に於ける種々なる解放運動

歐 米 見 聞 錄

むる件及び鋼鐵工罷業を仲裁々判に附する件を提議するやゲ
ーリー氏は又々敢然として之に反對し『今日の勞働爭議はもは
や經濟上の争に非ずして主義上の争なり、經濟上の争は互讓の
精神に依りて或は之が解決を見む、道德上主義上の争に至りて
は斷じて妥協を許さず』と言へり、こゝに於て勞働者側は席を蹴
つて連袂退場しかくて鋼鐵工罷業の解決は無期限に延期せら
るゝの止むなきに至れり。

思ふに米國勞働者の中心團體たる米國勞働聯合會は一切政
治問題に關係せずと云ふゴムパース氏の信條に則りて其運動
方法も亦着實穩健を旨としたるものなりしが戦後勞働者の
鼻息の荒くなるにつれて會内の空氣次第に過激化し老練なる

ゴムパース氏の手腕と聲望とを以てするも到底之を駕御し得ざる程度に進みつゝあるのみならず近來ゴムパース氏自身も亦此急流の渦中に捲き込まれんとしつゝあるが故に彼等の要求がゲーリー氏の云へる如く經濟の境域を越えて政治上道德上の問題にまで進轉し來るは誠に止むを得ざるの大勢なりと云ふべし、しかも一方資本家側は如何と云ふに其勢力は政治行政の各機關に普く行き渡りて牢固拔く可らざる根柢を有する事申す迄もなし、故に米國に於ける勞資の對抗は今後益熾烈を加ふべしとなすを至當の見解とすべく之が解決は決して容易の業に非ざるべし。

戰後 歐米見聞録終

米國に於ける種々なる解放運動

11. 11

大正九年六月廿七日印刷
大正九年六月三十日發行

(正價金壹圓八拾錢)

不許
複製

著者 近衛文麿

東京市麴町區下二番町六十八番地

發行者 上原好雄

東京市麴町區下六番町十七番地

印刷者 松澤瑠三

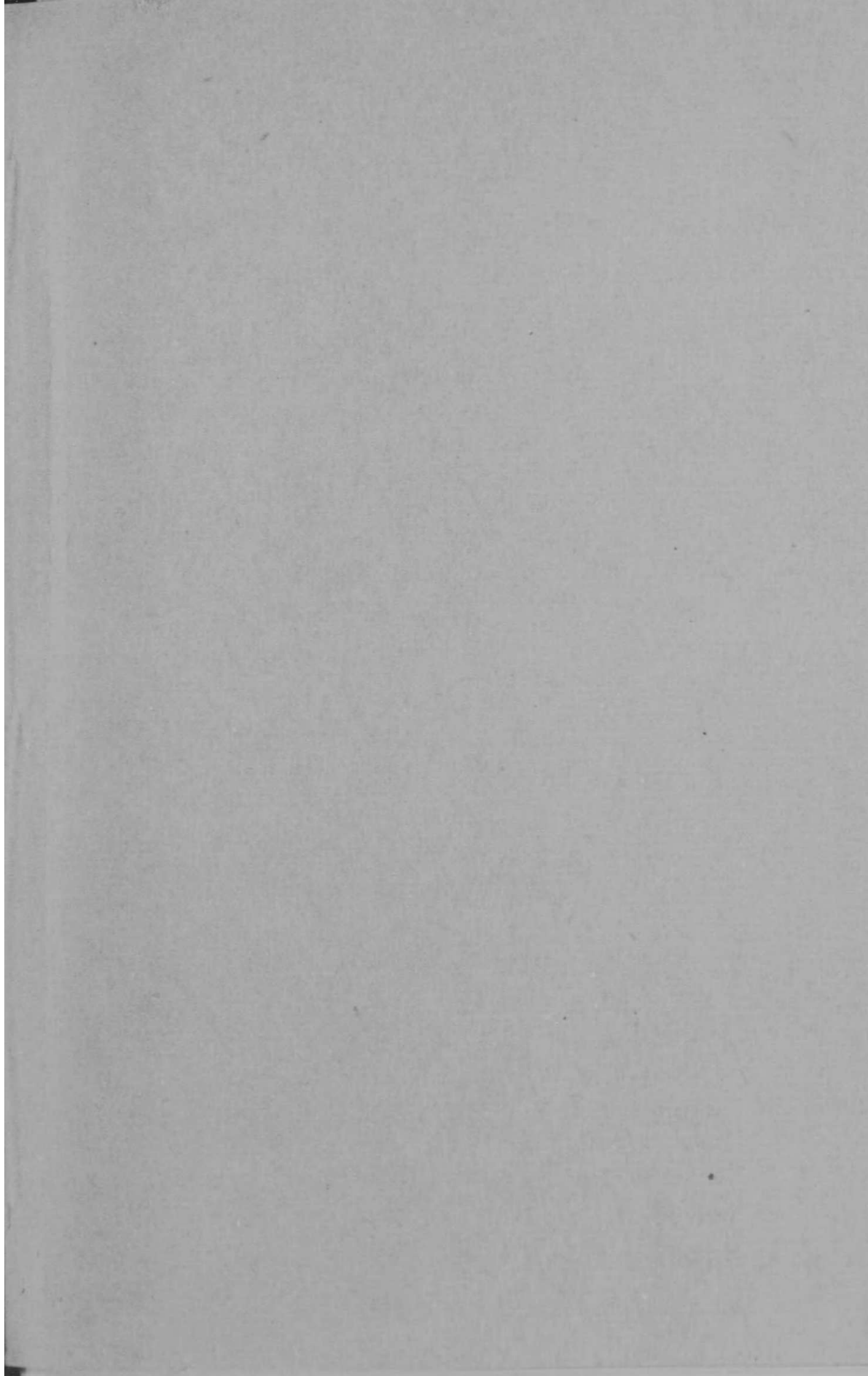
發行所

東京市麴町區
下二番町六十八番

外交時報社出版部

振替東京六〇二〇番
電話九段一〇二九番

(所版活舍勞同 地番七十町番六下區町麴市京東 所刷印)



384
212

